滿洲日報 夕刊
發行人 本村武盛
編輯人 橋本代治
印刷人 南里顯生
大連市東公園町三十一番地
發行所 株式會社滿洲日報社

優先諮問の重要國策 來月早々實質的審議

內閣審議會準備を急ぐ

【東京十三日發國通】內閣審議會は十一日の委員任命で手續完了十七日正午首相官邸で初總會を行ひ國策樹立に一歩を踏出すこととなつた、當日は岡田會長、高橋副會長を始め各委員、各閣僚、吉田調查局長官、金森法制局長官出席、白根內閣書記官長の挨拶後午餐を共にする程度に終るが既に明年度豫算編成に當る時期なので審議會諮問の重要國策を明年度豫算に計上するとせば遲くも暑中休暇以前大綱決定の必要あり、政府もこれを考慮し吉田、白根、金森の三幹事をして準備を急がしめ、月末迄に諮問案を發し來月早々實質的審議に入る方針に決した諮問案件中、中心問題は地方財政調整、交附金制度で、他の諸問題に優先審議する、これに次いでは

一、中央、地方を通ずる財政整理
一、農村對策確立殊に負擔整理を中心とする救濟方策
一、國防と財政、國民生活の調和
一、產業政策の確立と經濟外交政策の樹立
一、議會制度の改革と政府との關係

この外政府が前議會で審議會にて審議を行ふと答辯せるものは

一、中小商工業者救濟
一、對外貿易機關の調整
一、職能代表制度問題
一、司法制度改善問題
一、行政經濟機構の改革外數十件に及び貴族院側委員は政教刷新の建議案の實現策を審議會で發見すべしと主張し居り、吉田長官は電力統制方策附議の私見を抱き居りその他多數の案件があるが、政府はその成果を期待してゐる、なほ審議會と調查局の效果に關して政府部內でも疑問を有する者あり、松田文相の如きは審議會で調查停滯してはやり切れぬから文政審議會は飽くまで存續すべしと主張し高橋藏相、町田商相も何も彼も審議會持込みには反對してゐる

一、各省の廢合
一、各省大臣制を廢し、各省には長官制を設け別に無任所國務大臣を置き、國務大臣は國政運用の根本方針を定め、一般行政は各省長官がこれに當る
一、內閣に豫算編成機關と人事を司る機關を置く

等の問題についても調查研究を行ふ、一方には財政の建直し、農村對策の根本問題等實際問題についても結論を得るやう努力することになつてゐるから、內閣調查局今後の活動は凡ゆる角度から注目されてゐる

重要國策を再檢討

內閣調查局の重要任務

【東京十三日發國通】政府は二十日までに內閣調查局の陣容を整備し直に調查準備に着手することになつてゐるが、調查局の調查も凡ゆる方面の人材を網羅し卅名の參與、百名の專門委員には相當數を貴衆兩院議員、民間當業者より任用して職能代表の精神を取入れて專門的且つ綜合的重要國策の調查立案を行ふことになつてゐる、最も注目すべきことは國策審議の重點を內閣調查局に置くことであつて自由に行財政の凡ゆる部門に對し調查檢討を進め、明日の日本に備へるためには

一、新日本の國防方針はかくあるべきこと
一、新日本の外交方針はかくあるべきこと
一、新日本の行政機構はかくあるべし

と可なり大膽に國防、外交、行政等の諸問題について再檢討を行つてそれぞれ結論を得んとしてをり例へば行政機構の改革については

無敵空軍整備を急ぐ米國

(上) 空軍擴張案に從つて最近ジユリーブポートに完成された米國空軍の新鋭第三攻擊機及び第二十追擊機兩聯隊の格納庫、飛行場及び全飛行機の全景で巨費を惜しまず建設されたこの種の空軍根據地が有事の際發揮する威力こそ實に怖るべきものであらう (下) 下院の海軍委員會委員が去る四月二十日紐育フロイド・ベンネツト飛行場において具さに米海空軍の現狀及び海軍機を視察した

勇退する參議官と將官級の主なる進級

陸軍異動 下馬評

【東京十三日發國通】陸軍では八月の定期異動に關し林陸相が來る二十一日東京出發渡滿する事となつた爲め、その出發前閑院參謀總長宮殿下並に眞崎教育總監と協議の上、大體の

異動方針 を決定し銓衡を急ぐ事となつたが、八月の異動においては軍事參議官から二名又は三名の勇退者を出し、後進に途を拓く事は部內一致の要望でもあり結局勇退を見るものと豫想されるその場合はこれに伴ひ朝鮮軍司令官植田謙吉大將は在職僅か一年であるが當然軍事參議官に轉補し、その後任には杉山參謀次長が轉補される見込みで、參謀次長の候補としては第一師團長柳川平助中將、第十師團長建川美次中將、第十四師團長畑俊六中將等が補せられるものと見られてゐる、師團長の更迭については第十六、第二、第七各師團長が噂に上つてゐるが

師團長の 候補としては教育總監部本部長林桂、關東軍參謀長西尾壽造、陸軍航空本部長堀丈夫、支那駐屯軍司令官梅津美治郎士官學校長末松茂治、參謀本部總務部長山田乙三の各中將が銓衡に上つてゐる、此等の異動に伴ひ中央部の局課部長を始め全國旅團長聯隊長に相當廣範圍に亘る大異動が行はれるものと見られてゐる、なほ將官級の進級の主なるものは次の如く豫想される

大將に進級
臺灣軍司令官 中將 寺內壽一

中將に進級
關東軍〇兵〇〇隊長 蓮沼蕃
關東軍憲兵隊長 岩佐祿郎
陸軍技術本部第三部長 村井勝
第四師團司令部附 平松英雄
旅順要塞司令官 川岸文三郎
兵器本廠附 田中稔
陸軍省整備局長 山岡重厚
近衞步兵第一旅團長 高田友助
陸軍砲工學校長 永持源次
所澤陸軍飛行學校長 德川好敏

林陸相旅程

吉野商工次官も同行

【東京十三日發國通】林陸相は愈々來る二十一日東京出發滿洲視察の途に上るが、新京にあつては滿洲國皇帝陛下に謁見を賜りたる後、南軍司令官、鄭國務總理を始め滿洲國大官と會見、次いで關東州附屬地の在滿各機關並に各地派遣軍の實情を視察すると共に將兵を慰問し、更に大黑河、山海關等のソ滿、滿支國境方面第一線部隊の實情を視察し歸路は吉林から北朝鮮に出で京城を經て六月十三、四日頃歸京するが、隨員としては永田軍務局長、大木戶滿蒙班長、成瀨秘書官等十數名で、この他商工省吉野次官同行する事になる豫定である

同次官が一行に加はる事は陸相の今回の渡滿が兩國間の重要案件である產業の開發日滿經濟の融合統制日滿工業の分界確立等に關する方策決定についての現地の實情を視察すると共に、各方面の要路者の意見を聽取する事となるので陸相渡滿の目的を一層有意義にするものと見られてゐる

"閥意識"を排擊

滿洲國官吏の態度に關して

長岡新總務廳長訓示

【新京電話】國務院新舊總務廳長の事務引繼は十三日午前九時四十分總務廳長室において行はれた、午前十時遠藤舊廳長は國務院會議室において國務院官吏に告別挨拶を述べ、阪谷次長これに對し送別の辭を述べ、次いで長岡新廳長の就任挨拶並に訓示あり、一同國務院前にて新舊廳長を中心に記念撮影を行つたが、長岡廳長はそれより廳長室において出入記者團に對し新任挨拶をなす所あつた、而して長岡新廳長は右訓示において具體的施政方針等には全然觸れなかつたが、滿洲國官吏の今後の方針態度について注目すべき重要訓示を發表した、卽ち廳長は聖業の大成、事務の能率增進、庶務の刷新は實に人の和にあることを強調し今後官吏が公務における場合は絕對に自己の出身學校、本籍地別、出身會社官廳等を念頭より沒却すべきこと、一切の閥閥を放棄すべきことを言明したが、これは從來から兎角非難され勝ちの滿洲國官吏の閥意識、閥爭ひに對して痛烈な批評を加へたもので、時節柄極めて時宜に適した訓示としてこの第一聲は各方面から極めて好評を以て迎へられてゐる

日滿警務會報

けふ軍司令部で開催

【新京電話】中央警務機關を始め全滿の日滿警務關係各機關を網羅する日滿警務會報は關東軍司令官主催の下に十三日午前十時から軍司令部三階大會議室で開催されたが同會報は滿洲國皇帝御卽位の盛儀を無事完了の慰勞の意味を兼ねこの機會に日滿警務機關の協同精神を強調すると共に、今後の治安確保の上に一層の緊密化を計らんとするもので、關東軍憲兵隊司令部、大使館、關東局各警務部、新京署、關東州廳警察部、民政部警務司、京司憲兵司令部、首都警察廳等中央警務關係代表の外、各省警務廳長等日滿警務各機關代表者八十餘名出席

午前十時から開催、先づ皇帝陛下の聖旨を傳達、南軍司令官の訓示に次いで滿民政部大臣及び岩佐憲兵司令官の挨拶あつて盛大裡に終了した、出席者一同は正午ヤマトホテルにおける滿民政部大臣の招待宴に出席、午後は引續き二時から大同自治會館において日滿警務機關の協力一致について意義ある成果を收めて午後四時過ぎ散會、夜は官邸における南司令官主催の招待會が盛大に催される

營口領事館昇格

愈よ近く實現せん

營口領事館を總領事館に昇格せしめることになつたこれが爲め太田營口領事は本省との打合せに十三日出帆たこま丸で東上した、同領事はこれを機會に內地の主要商工都市を視察し內地商工業者の滿洲進出に關し業者並に當局者と忌憚なき意見の交換を行ひ、積極的對策を講ずることになつた、同領事は更に歸途南支北支一帶を視察歸任の豫定であるが、同領事の東上によつて營口領事館の昇格問題は

最後的の 決定を見るものと見られる、出發に際し太田領事は船中デツキにて左の如く語つた

營口の貿易港としての發展は實に素晴しい、營口を經て滿洲へ流れこむ日本商品は驚くべき多量に達してゐる、從つてこの情勢に適應するには現在の機關ではどうしてもその完全な任務を遂行することは困難である、ただ昇格の時期ははつきり判らない

醫院長會議

十五年振りで復活された滿鐵醫院長會議は十三日午前九時より大連社員俱樂部において開會、守中大連醫院、松井奉天醫院、澁織十八病院各院長及び關東軍々醫部長、滿洲國民政部衞生司長等の來賓出席、千種滿鐵衞生課長議長となり午前中は準備打合せを行つたが、十四日本會議に入り既定議題について討議される筈である

北鐵退職金問題

滿洲國側の好意的讓步で 近く解決の見込み

【新京電話】舊北鐵從業員の退職金支拂問題の紛糾を解決するため九日來京したソ聯駐哈總領事スラウツスキー氏は滿洲國外交、交通兩部代表者と會見、隔意なき意見を交換し、更に近く開かれる北鐵直通連絡協定交涉の下打合せを行つて十二日哈爾濱に歸つた、退職金支拂問題について滿洲國政府としては

條約文の 理論的解釋によれば明かに議論の餘地なき條約の精神的解釋の範圍を廣め、折角今日まで順調に進んで來た實績をこの問題に依つて停頓せしめる事は日滿蘇間の和平に禍根を殘す事となりこれを遺憾とし、一種の妥協案を提出しソ聯側の反省を求める事となつた、妥協案の內容は極秘に附されて居るも仄聞する所によれば

協定文第十一條第一項の備考の解釋によれば餘りにも明白なる事で、この儘ソ聯の言ひ分通り承認するは條約そのものを無視した事となり、斷然滿洲國側の意思を通す事になつたが、子女年金の支拂方法に依ると解釋する年金支拂額從來の原則に依る二點で、既に諒解が出來、以上の方法を講ずる一種の妥協案を提出したもの丶如く

スラウツスキー總領事も滿洲國側の主張を諒解し歸哈の上直に本國政府に

請訓する に決定したもので、結局滿洲國側のこの好意的讓步に依り同問題も近く解決するものと觀られてゐる

八田副總裁

八田滿鐵副總裁、郡山理事は北鮮三港視察のため十三日午後八時發列車で赴京、京圖線經由北鮮に出で京城を經て二十日頃歸連の豫定であるが、杉本秘書役、穗積鐵道建設局囑託等が隨伴する

奈良女師生

奈良女子師範學校生徒三十四名は小西美良、森本俊夫、奧田秀男の三教諭に引率され朝鮮經由來滿、吉林、新京奉天各地を視察、日滿各學校を見學し十三日出帆たこま丸で離滿した

關東州利得稅令適用範圍

【新京電話】今回勅令を以て公布された關東州臨時利得稅令は關東州にあつても時局の好影響を受け收益を增大しつゝあるものに對して、當分のうち臨時利得稅を課し內地の稅制と統制を計る必要あるため昭和十年一月一日を含む事業年度分より關東州內の法人に對しても適用することゝなり、十三日公布されたが、關東州にあつては法人の利益についてのみ課稅するものであつて、この課稅標、稅率は內地のものと同樣であるが、唯法人に非ざる社團も稅令上法人と看做して臨時利得稅を課することゝなつてゐる

波蘭獨裁者

ピ元帥十二日逝去

獨政府衝擊

【ワルソー十二日發國通】ポーランドの獨裁者ジヨセフ・ピルスヅキー元帥は過般來腎臟病に黃疸症を併發し治療中であつたが十二日午後九時三十分遂に逝去した享年六十八

【ベルリン十三日發國通】ピルスヅキ將軍逝去の報道に接し、ドイツ政府は多大の衝擊を受けポーランド政府今後の外交政策に多大の疑念を示してゐる、ポーランド共和國建國當時以來の行掛りを顧みず、ヒツトラー總統との間に不可侵條約を締結したのはピルスヅキ將軍一流の外交政策に基くものと見られてゐるだけに、同將軍の逝去でポーランド政府が再びフランス外務省の傀儡に還元する懼が濃厚だが、ドイツ政府當局としてはドイツ、ポーランド兩國の親善關係は國際情勢の本體に基く必然の結果で個々の政治家の方針で動かし得ないとの見解を表明し、强ひて樂觀を裝つてゐる

江西省視察團

本月下旬渡日

【東京十二日發國通】最近支那の留學生並びに各方面視察團激增の折柄今度はいよいよ江西省政府の高官連から成る最初の正式視察團が日本を訪れるとの報が外務省に入つた、視察團は省政府の局長乃至科長級の有力者八名で此の程政府主席熊式輝氏は西田領事を通して外務省對支文化事業部に視察團を派遣するからよろしく頼むと申込んで來た、視察團一行は差支への起らぬ限り今月下旬には上海を出帆して日本に向ふ手筈になつてをり約一ケ月間滯在東京を中心に全國を歷遊して行政、教育、產業鐵道その他を視察する豫定である

林滿鐵總裁一行

【哈爾濱十二日發國通】林滿鐵總裁一行は十一日午後一時發飛行機で濱綏線視察中であるが歸哈の上は濱洲線視察の途に上る豫定

小林侍從武官着奉

【奉天電話】在滿海軍部隊實狀視察のため七日大連を出發駐滿海軍部、哈爾濱部隊の視察を終へた侍從武官小林中佐は午後一時三十分あじあで三毛司令官、蜂谷總領事、土肥原特務機關長、于上將、奉省長他日滿官民多數の出迎へ裡に着奉、市內各方面視察の上ヤマトホテルに入つた、なほ十四日午前市內視察の後、同十一時[illegible]同地視察[illegible]午後六時五十分歸奉の豫定

張檢閱使歸任

【奉天電話】在奉中の張特命檢閱使は十三日午前七時三十分ヤマトホテル出發、第一教導隊に赴き直ちに隊員の軍裝檢閱を行ひ、次いで騎兵隊の戰鬪教練を檢閱、十一時より將校の圖上戰鬪を檢閱し午[illegible]行事を終つた、午後は一時より全員に對し訓示を與へはとで歸京した

吉林丸

十四日午前七時二十分大連港外着豫定

人事

▲古川達四郎氏(滿鐵々道部新京出張所長) 十三日午前八時四十分着列車にて來連
▲羅振玉氏(滿洲國監察院長) 十三日午前九時大連發あじあにて歸任
▲藤田讓氏(明治生命專務) 同上新京へ
▲薛道文藝氏(愛國生命專務) 同
▲金光義邦氏(大正生命專務) 同
▲寺田新之助氏(大正生命滿洲支社長) 同上
▲網本淺吉氏(奉天關東倉庫長) 同上歸任
▲矢田秀一氏(大連副稅關長) 同上新京へ
▲藏田康明氏(學徒軍議會常任委員陸軍砲兵少佐) 十三日正午大連發はとにて新京へ
▲橋本傳左衞門氏(京大農學部長農學博士) 同上
▲住江金之氏(東京農大教授農學博士) 同上
▲應崎龍雄氏(熱河省滿鐵診療所長) 同上北行
▲李嘉麟氏(滿石監查役) 同上新京へ
▲池田京治氏(大連中學校々長) 全國中等學校々長會議へ列席の爲十三日出帆たこま丸で內地へ
▲太田知庸氏(營口領事) 同上
▲奈良女子師範生徒一行三十七名同上離滿

蛇角

◇ 各省大臣制を廢して長官制にするとの說、理事部長を廢して社員部長にしたのと同じ。

◇ 國務大臣と官吏、責任重役と社員、その職分を明かに區別しやうといふのだらう。

◇ 合理的且つ斷然的改正として賛成だが大臣病患者の多い日本で早急に實現するかどうかは疑問。

◇ イタリーが「こんな黑い紐一本位何んだ」と一摑みにしやうとしたら、それが生憎毒蛇だつた。

◇ エチオピアの反擊、イタリーをして驚愕を脫退せしむ。――と來たら大いに痛快である。

◇ 關東州廳が大連の道路清掃に乘り出すといふ、誠に結構。

◇ 序に人事の清掃も如何、新興保守部式の汚物が他にもなしと誰が保證し得やう。

愛戀十字街 (68)

淺原六朗
橋本八百二 繪

青春の人生 (六)

紅屋をでゝ、坂下の見付附近迄にきたとき、青柳は街子をかへりみて、

「街子さん、どうする?」

「さあ、あたしどうしてもいゝのよ」

青柳が彼女を何處かにさそつてくれるのかと、微笑しながら云ふと、

「僕、ちよつと森君と話したいことがあるんです」

「そう。ぢや、あたし失禮するわ」

街子は急にさむさうに肩をすくめると、それでもにつこりして省線の方に歩いて行つてしまつた。

「森君、失敬した」

「いや、何んでもない」

「實は君に相談したいことがあるんだ。聽いてくれるか?」

「うん。聽く」

今迄の青柳とちがつた態度なので、森はさては明子さんのことだなと想つた。

「そこの土手にのぼつてみようか」

濠を見下ろした土手の上に二人はのぼつて行つた。五月のかるい夜風と、波を愛するらしい人々が、幾組かボートを漕いでゐた。

大江戶をしのぶやうな老松の根本の青草に二人は腰を下ろした。青柳は煙草に火をつけて、しばらく水面にゆらぐ紅い紐のやうな灯や、樂しさうに聲をあげて漕いで行くボートをながめてゐた。森も自然それにさそはれたやうに煙草に火をつけて、幾つかのボートと灯のゆらぐ水面を無感覺に眺めた。

「森、怒るな」

青柳はとつぜんから話しかけた。

「實は明子さんが何處にかくれてゐるか、僕は知つてゐるのだ」

かねてそれは豫期したことであつたが、現實に青柳にから云はれたとき、森は深い穴に墜ちて行くやうな失望に襲はれた。やつぱりさうだつたのか、と、自分の心に呼びかけて、あの美しい、こまかな情緖をもつた人が、やつぱり青柳の毒手に冒されてしまつたのかと、くりかへして、苦惱にちかいもので、心をぴつたりとざされてしま[illegible]。それは森が、かすかながら實に明子に感じはじめた愛情の歎きでもあつた。

「森、僕は嘘をついてすまなかつた」

「いや、そんなこと考へちやゐない」

「俺は一切を打ちあけて相談したいのだ。街子さんがゐたんではそれが出來なかつたんだ?」

「どんな相談なんだ?」

「君も知つてゐる通り、僕はいろんな女をあさつてきた男だ」

「さうだ」

「處が、明さんの場合にはこまつたんだ」

「家出をしたからか?」

森の聲は少しかたくなつてゐた。そして青柳への反感が、內部で凝した塊のやうになつてくるのを感じた。

「君は斷じて責任のある態度をとることが必要だね。行家さんの場合には」

「僕もさう想つてゐるから君に相談するのだ」

「いつたい行家さんのやうな純潔で、誠實な感じのする女を、ほかの下らない無貞操な女と同一な觀內で籠絡したことは怪しからんと想ふよ」

汚れ切つた大連を壯麗な昔に還す

竹下長官が視察の結果　官民合同で對策協議

曾てはその綺麗さにおいて内地人は勿論外人をさへ感歎させた國際都市大連は今は汚いこと第一番の折紙が附けられるに至り心ある人々をして寒心せしめてゐたが、竹下州廳長官は去る十一日の土曜清水土木課長、石橋保安、衞生課長を帶同親しく汚い大連の姿を隈なく視察したところ、塵埃箱は一杯に溢れて路上にはみ出し

荷車 は折重なつて交通を妨げ鋪道を倉庫と心得るものや、不潔な塵埃が積上げられ馬糞は點々黄金の花を道路一杯に咲かせ一陣の風にこれ等の塵埃は四方に飛散するといふ異常の汚らしさに長官もすつかり呆れ返つてしまひ歸廳と同時に清水、石橋兩課長に命じて至急大連市内の清淨化について具體案を作るべく奮勵する所あつたが兩課長においてもこの點を

痛感 すること久しく長官の督勵にあつて對策案の作成に着手することになつた、大連市の清掃については警察當局や土木課、民政署、市役所等と實行方法について打合せを行ふ必要あり近く各關係者の協議會が催される、その結果實行案を練つた上で今度は大連市民の協力を求めるため各區長町内會とも諮り官民一致を以て汚れた大連を元の美しさ淸さに

引戻 すこと、なつた、右について竹下長官は語る

全く恐れ入つてしまひました、全力を擧げて大連を清潔にする必要があります、大連には驚く程多くの結核病患者が居るといふのはあの狀態では無理はない實に寒心すべきことです、大連の清掃は私に取つても重大な任務です、斷乎として行ふ積りです、しかし官廳だけでは到底行はれませんから市民諸君の御協力を是非ともお願ひしなければなりません、中には倉庫代りに道路を使用して居る人がゐますが、それ等の人々には少し犧牲を覺悟して貰はなければならぬかも知れません、一日も忽せに出來ないことです、民衆衞生の上からも國際都市の大連から云つても官民一致徹底的にやりたいと思つてゐます

と非常な意氣込であつた

出動の消防自動車　眞逆樣に顚覆大破

地方法院前で圓タクと側面衝突　重輕傷者數名を出す

十三日午前十時五十五分ごろ大連消防署小崗子出張所の消防自動車が（消防曹長因藤寿七、班長藤部慶作、消防手補佐長隈敏彦、消防手補佐連伎、千治藏の五名同乘し消防手峰義男（二）が運轉）濱家屯大佛山の山火事に出動すべくサイレンの音勇ましく東薬町一番地關東地方法院前を

疾走 電車道路に出た刹那星ヶ浦から四人の乘客を乘せて大連方面に向ひ進行して來た吉野町九六番地大正自動車「大一五六九」＝運轉手青井力雄（二）＝乘客西公園町二〇一測量建築設計監督清水潔（四九）惠比須町七三古賀弘人（三）長生街一七七番地濱崎鹿造（四）惠比須町七三、川井彬博（二九）＝がアツといふ間に側面衝突し消防自動車ははづみを食つて眞逆樣に顚覆大破し圓タクは車の前部側面を滅茶々々に破壞した、負傷者は直に赤十字病院に

擔込 み手當中であるが消防自動車に乘組中の隈學毅は頭部打撲重傷を負ひその他の人々は輕傷圓タクの乘客中濱崎氏は胸部を強壓されて重態であり、川井氏は肋骨骨折してこれも重傷である尚消防自動車の損害は約七百圓の見込である

目擊者語る

消防自動車は火災現場に急行すべくフルスピードで疾走したが衝突現場は法院の建物で見越し

一目擊者は衝突の刹那を語る

つかず、これが爲め圓タクはアツと思つてブレーキを掛けたのですが間に合はず、電車の軌道に差しかゝらんとする消防車の後部側面に衝突したのですが、超スピードであつた爲め、はずみを食つて顚覆したのです、その際消防自動車の班長らしい人が一番ひどい傷を負うてゐながら、終始指揮監督に當り、負傷者を全部病院に收容してから自分も赤十字病院へ行かれたがその態度は立派なもので目擊者一同感激しました

顚覆した消防自動車（右上は側面衝突の圓タク（左上）は官僚の消防手隈學毅）

ミナト大連へ　修學旅行團

十三日午前奧地より來連の修學旅行團は左の如くである

▲愛媛縣八幡濱商業生三十六名引率者代表山根貞雄氏▲三重縣師範學校生七十六名午前八時四十分着連、春田旅館へ、引率者代表立松哲二氏、何れも十三日市中見學、十四日旅順見學、十五日の定期船で離連

▲…午前七時二十分着連、東旅館へ

人質日本人の慘殺死體發見

＝四十四、五歳の二等乘客＝　哈爾巴嶺の山中で

【新京電話】哈爾巴嶺における列車顚覆事件に際し人質として拉致された日滿鮮人に對しては我が軍隊が極力これが奪回並に共匪の討伐に目下急追の形で哈爾巴嶺の山奥にある松井〇隊より十三日哈爾巴嶺驛長への入電によれば哈爾巴嶺山奥において去る十日

拉致 された日本人の慘殺死體一個を發見した、この男は推定年齡四十四、五歳の二等客で細毛ラクダのシヤツ及びズボン下を着し身長五尺四寸位で頭髮は左分けにして白髮をまじへ眼は二重瞼で鼻高く死後數日を經過して居り追擊軍の士氣頗に昂り目下急追中である、なほ死體は鄭重なる土葬に附し所持品は隊に保存してゐると

靖國神社の女神　映畫となる

川添夫人の事績をロケに　合同映畫一行來滿

滿洲事變の生んだ非常時日本の典型的烈婦關東廳巡査川添忠治郎氏夫人しま子＝當時（三）＝さんの映畫作製に當りロケーションのため合同映畫社責任者中川紫朗氏に引率されて小川國松（二九）川島奈美子（二）平野吉美（二）竹久廉久（二）の一行が十三日入港あめりか丸で來連した、この映畫は關東州廳警務部の原作案に依るもので「靖國神社の女神」と題し全音發聲として太秦發聲の配給になるものである、一行を代表して中川紫朗氏は語る

映畫は八卷乃至十卷程度のもので、滿洲のロケーションは夫人が來滿上陸の樣子から鐵道沿線の和やかな風景をうつす位のものです、その他は内地でセットによつて撮影することになつてゐますが、范家屯では全署員の應援を得て大々的に警察官の警備狀況を撮します、音響の錄音にしますが、完成して上映するのはどうしても九月頃になると思ひます

尚一行は市内東郷旅館に落着き午後旅順に要塞司令部を訪れたが、十四日午前埠頭において川添夫人上陸の樣子をロケーションする筈である（寫眞は小川と川島）

南滿陸上競技

州内爭霸……州内外對抗豫選　十九日大連運動場で

南滿洲陸上競技聯盟では來る十九日午後一時より大連運動場において州内選手權大會兼州内外對抗選技を開催するが今十三日を以て申込みを締切ることになつて居るから參加希望者は至急滿鐵本社地方部衞生課體育係氣付南滿陸聯宛申込れたしと

無期懲役

チチハル强盗殺人犯人

使込みの發覺を懼れ昨年四月七日深更チチハル永安街六三山田商會出張所主任西馬男氏を慘殺した上現金一切を馬賊の所爲の如く見せかけるため、自分で自分の頭を傷つけて警官の眼を晦まさんとした同商會員新潟縣生れ地濃英二郎（二）にかゝる强盗殺人被告事件は十三日午前十時から關東地方法院中里裁判長係開廷、前公判において立會池内檢察官から死刑の求刑があつたのに對し裁判長は無期懲役の判決言渡し被告は感激に滿ちて退廷した

傳統二百年　『青年宿』の漁船

海洋上でスパルタ式敎育　大戎、小戎大連へ

青年宿の漁船――來連した二隻――

連綿と續く傳統二百年漁民の道場として萩が誇る「青年宿」の漁艇大戎丸、小戎丸の二隻が珍しくも十三日早朝、青葉に薫る五月の海風を切つて颯爽と大連港に入港した、山口縣萩市の西隅玉江浦の青年宿とは青年漁民のスパルタ式敎育實習所で有名であり、禁酒、禁煙は勿論

妻帶 も許されず、漁業日本の名に恥ぢず海に生れて海に育つ彼等は獨特の延へ繩漁法によつて遠く北は關東州沖合の山東高角、南は臺灣沖まで乘出してその水揚げ高は年産百萬圓を下らぬといふ仲よく二隻が二十一區に繋留された上には赤銅色に日燒けした青年漁民が新水の補給に立働いてゐる樣は全く初夏に相應しい若鮎のやうな

潑剌 たる生氣を與へ初夏の感覺を一杯に撒いて、新水の補給が終るや午前九時半一休みする間もなく再び下關に向つて出港した

坐漁莊侵入の怪青年捕はる

背後關係嚴重訊究

【清水十三日發國通】十二日午後六時二十分靜岡縣庵原郡興津町所在西園寺公在住の別邸坐漁莊裏手の海岸から石垣を乘越え侵入せんとした怪少年があつたのを警備の警官が發見、大格鬪の末取押へて訊すと本籍愛知縣愛知郡下之一色町太田爲吉（一七）（假名）と云ひ五・一五事件等に刺戟され、若槻男のロンドン會議の失敗を指摘、政界の腐敗墮落は園公にも責任の一半がある旨の血書斬奸狀を所持、順當に會見を申込んだのでは面會出來ぬため庭内に侵入、公に直接面會を强要せんとしたもので、係官は身柄を清水署に移し、目下背後關係を嚴重追究中

磐城町の火事

三戸を燒いて鎭火

十三日午前三時五分市内磐城町六十三番地大連纖維貿易洋服部河野小七郎方階下一室より發火、折柄通りかゝつた市内春日町五十四番地自動車運轉手藤幸藏君が發見消防署及び西廣場派出所に急報され、大連、沙河口、明治町等各消防署員が消火に努めた結果、火元並に隣家料理店さゞなみ事小石ユリ方及び右隣菓子製造業金華堂こと石渡政次郎方を燒いて午前三時五十分鎭火した

損害は總計二萬四千圓で、河野方約一萬圓小石方八百圓、石渡政次郎方三千圓、建物所有者奧村福次郎三千圓の内譯であるが保險金は河野方では一萬五千圓小石方では一萬三千圓、建物所有者奧村福次郎氏は一萬五千圓を何れも三井火災保險に契約して居る、なほ同建物は何れも奧村氏所有で一棟になつて居る、原因は目下取調べ中であるが漏電若しくは火鉢の火の不始末の結果と見られてゐる

日本庭園研究團

【横濱十三日發國通】米國庭園倶樂部員二十名の一行は、日本庭園研究と日本觀光を兼ねて十三日秩父丸で來朝した、

原篠機關士の遺骸と判明

【安東電話】十一日大孤山領事館警察分署へ届けられた「首無し死體」は過般の遭難旅客機の機關士原篠喜久郎氏の遺骸であることが確定した、同遺骸は此日、大孤山南方六粁里、揚家灣村の入江に打ち揚げられたもので、飛行服の内側に「原篠」と記されてあつたので判明するに至つた、原篠氏は機體と共に叩きつけられた際、頭部を分離して波間に漂つてゐたものらしく航空會社では、十三日午前中に遺骸を引取り殷も鄭重に葬つた、清水飛行士の遺骸は未だ不明である

吳清源君歸化

日本人となる願望成就

"吳泉"と名乘り

【東京十三日發國通】棋界の麒麟兒吳清源六段は昭和三年十五歳の時、時の駐支公使芳澤謙吉氏に連れられて、日本に來たものであるが高段者連をころり／＼と打ち負かし、今では木谷六段と共に棋界の双璧と謳はれてゐる、同君は好きな棋道研究の爲め、日本に骨を埋め度いとの希望から、切に歸化を望み、日本在留五ケ年、自立自治の生活を營む事、滿二十歳を超えた等々歸化に關する一切の條件が整つたので、先頃歸化の手續を執り、愈々近く正式に日本人になる事になり「吳泉」と名乘ることゝなつた（寫眞は吳清源君）

東京夏場所　五日目取組

【東京十三日發國通】東京大相撲五日目取組左の如し

（幕内以下の取組表：越の海・鏡岩・光・甲・出羽嶽・磐城・中入後・金湊・三熊山・太刀岩・九州山・駒の里・伊達花・大浪・土州山・瓊の浦・和歌島・射水川・綾華山・筑波嶺・大八州・笠置山・防長山・玉の海・磐石・能代潟・富の山・出羽湊・香瑞山・綾昇・出羽花・綾川・大邱山・幡瀨川・巴潟・松前山・海光山・双葉山・高登・武藏山・大潮・鏡岩・玉錦・旭川・清水川・男女川・新海）

東京外語十五日會

來る十五日正午吉野町大連亭において例會開催の筈に付多數會員の出席を希望してゐる（會費は八十錢）尚會員の異動、消息等一切はその都度濱日田口（電二―六三四八）か埠頭事務課寺田（電二―六〇〇五）迄報告を煩したいと

天氣豫報

南の風　曇（十四日）

滿潮（午前七時五〇分・午後七時五五分）
干潮（午前一時一〇分・午後一時三五分）

各地溫度（十三日午前十一時）

大連	一八	奉天	二一
旅順	一六	哈爾濱	一六
營口	二〇	承德	一六
新義州	一九	新京	一〇

第二十回　關東州庭球大會

來る十九日午前九時より

北公園コートで擧行

申込締切……十五日まで

親鸞聖人 (210)

女人篇　吉川英治作　山村耕花畫

嵐（一）

この邊りは仁和寺の十四宇の大廈と四十九院の堂塔伽藍が御室から衣笠山の峰や谷へかけて聚落や甍丹の殿樂美をつらね、市塵を離れて又ひとつの佛教都市を作つてゐた。

かゞみの池には鴛が群がりに、宇多野には秋を紅葉きに、洛中の人は四季にかこつけてよく杖をひく所であるが、わけても今年の秋から冬へ、また冬から年を越えての正月まで、仁和寺をはじめ、化藏院や、圓融寺や、等持院、この邊りの佛都市へ心から參詣になつて詣でる者が非常に多いと云はれだしてゐた。

「自ら世の推移が、人の心をかういふ方へ向けてきたのぢや」

と佛都市の人々は、それを佛教の繁榮といひ、興隆といひ、又復興といつた。

さういへばさう云はれないこともない。戰が生活であり、戰が社會の常態だつた一時代はもう大きな波を通つた船から振顧るやうに後のものだつた。鎌倉幕府といふもの丶基礎や、質の如何にかゝはらず人心はもう戰に倦み、こゝらで本然の生活に回つて靜かな生活をしてみたいことの方に一致してゐた。すでに國政の司權が武門の手に左右されてからは、それが平家でなければ源氏であるし、兩者を不可としたところで姑息な院中政治が却てそれを復興にするぐらゐなもので、どつちにしろ民衆の望みとは縁遠いものが形になるだけのことだつた。民の心の底ではほんとに渇くやうに望んでゐる國の王道といふやうな明るい陽ざしはこゝ暫く現れさうもないと覺者は見てゐる。覇道を倒して興るものは又覇道政治だ。それならば何を好んでか全國土を人間の修羅土にして生き心地もなく生きてゐる要があらうか。さういふ疑問が當然疲れた人々の寺への中に芽ざしてゐる。武士階級ほど旅にそれがつよい。公卿はいつでもなるべくは現在のまゝで安易にありたいのだ。天皇の大衆民といはれる大本の農民は殆どこういふ興亡からは無視されてゐるのでこれは幕府が鎌倉に興らうが何うしようが今日の天氣と明日の天氣のやうに見てゐる——

建仁元年の一月はめづらしい平和な正月だつた。四民がみな王道樂土を謳歌しての泰平ではなくて疲れと、混迷から來たところの無風狀態——無力狀態なのである。

さうした庶民たちが、

「寺へでも詣でようか」

とか、

「說教でも聽いたら」

と、洛外へ出るのだつた。

從つてかういふ人々が佛法へ奉じる行作は決まつて形式的だつた、遊山氣分だつた、派手だつた。

山内の修復を勧進しませう、塔を寄進いたさう、丹を塗らう、瓔珞を飾らう、法筵には能ふかぎり人をよび、後では世話人たちで田樂を舞はう。さういふ風に佛教を享樂するのでなければ、彼等の空虚は滿されなかつた。求めて來る者に對して満し與ふものを、この十四宇と四十九院の堂塔伽藍も實は何も持ちあはせてゐない。

しかし形の上では、佛教復興は今や顯然たる社會事實だつた。時代思潮は何ものかを熾に求めてゐた。

東京發聲のモダン・スタヂオ

小田急沿線千歳船橋の東洋發聲スタヂオでは二千坪の隣接地に二百坪のトーキーステーヂを建設してこれを重宗監督一黨の東京發聲に貸與すべく準備中のところ、同スタヂオが新興キネマによつて使用されてゐる關係上、日活系の東京發聲がその隣接地で仕事をすることは種々と不便の點があるといふので、改めて同所の北方に五千坪程度の敷地を物色し、此處に二百坪のトーキーステーヂ、俳優部屋事務室、配電所、浴室等あらゆる設備を施したモダン・スタヂオを起工し、これを東京發聲スタヂオに當てるべく、竣成までには相當の期間を要するので東京發聲第一回作品「乾杯！學生諸君」のみは日活多摩川の新トーキーステーヂを借用して製作する事となるだらう

新興記錄映畫『赤道を越えて』

初夏の銀幕を飾る

新興東京撮影所が初夏のエクランに送る大作二つが完成した——一つは上砂泰三監督らが今春神戸商船學校の應援を得て、遠く南洋方面に實地ロケーションした記錄映畫伸びゆく日本「赤道を越えて」——二は高田稔第一回オールトーキー牛原虛彥監督、伏見信子主演「男・三十前」である

私語線

パラマウントの超特作ヨセフ・フオン・スタンバーグ監督、マレーネ・デイトリツヒ主演の王宮映畫「戀のページエント」がRKOの特作「コンチネンタル」と組んで日活館に上映される▲「戀のページエント」はロマノフ王朝華やかなりし頃のロシア宮廷の物語りで、原作はカセリン二世の日記といはれてゐる▲ロシアが持つた最も偉大にして最も不幸な女帝カセリン二世の繼前者としての權力追及をドラマチカルに描いたもの▲この物語りは當然檢閱のハサミにひつかゝることゝなり十六卷近いものが半分の八卷にされてしまつてゐる▲高級ファン標準の一篇であるだけにこれだけのことを知つて見てほしい

◇◇稽古扇◇◇ 勝浦仙太郎監督の新興入社第一回作品、原作は泉鏡花、脚色は陶山密、主演は伏見信子で、立松晃、田中春男等のフレッシュメンバー、伏見直江が特別出演してゐる、映樂館に於て上映（寫眞は信子の舞ひ姿）

滿洲日報
朝夕刊共十四頁
（昭和八年十月二十五日第三種郵便物認可）

各省少壯官吏間に一大結成運動進行
内審・調査局絕對支持を目標に
極秘裡の組織計畫

【東京特電十三日發】内閣審議會並に調査局の設置に關聯して各省少壯官吏の一大結成運動が極秘裡に着手されてゐる、内務省某局長は陸軍、海軍、大藏、農林、商工、文部、内務各省の局長及び中堅課長と連繫を圖り、近く會合を催してこれが具體的方法を協議することになつたが、その具體的方法としては各省に大調查班を設置し審議會、調査局を絕對に支持し、これと密接な聯絡を執らんとするもので、從つて六十七議會において審議會問題に關聯して政黨方面が最も憂慮した内審をもつて對議會工作なりとした一部の反對論は再び拍車をかけられ政黨と新官僚乃至軍部との對立、軋轢は次第に激化するであらうと觀られる

成行主義を捨て積極的清黨へ
政友會内部に強硬論

【東京十三日發國通】政友會は十日水野、望月兩長老除名以來黨員の動靜を注視してゐるが、自重論者、純理論者幹部中に黨情の安定を期し敢に拘泥せず除名すべきは斷乎除名し、成行主義を一擲し眞に一心同體となり戰備を整へようとの強硬論擡頭し來つた、これに對し首腦部がかゝる積極論に耳を藉すか否かは判然せぬが秋田、水野、望月系の十數名脱黨は時期の問題で、床次系殘留組と不平分子は十四日日比谷陶々亭で第二回會合打合せをすべく、内閣調査局參與の椅子を繞り、倉元要一、林路一、長田桃藏、岩崎幸治郎の諸氏の脱黨を見るだらうといはれ、政友會の今後は益々多事を豫想される

審議會諮問事項
十七日閣議で決定 同日初會合に提案

【東京十三日發國通】審議會諮問事項は十四日の閣議に附議する事困難なるため十七日の閣議で決定同日の第一回審議會委員初會合に提案の意向で目下研究中である

吉野次官の代りに小金課長

【東京十三日發國通】林陸相の渡滿に隨行する豫定だつた吉野商工次官は明年度豫算編成前で事務多忙のため渡滿を見合せ商工省からは鑛政課長小金義照氏が陸相一行に參加渡滿することに十三日決定した

遣濠使節に出淵氏

【東京十三日發國通】レーサム濠洲外相の日本訪問答禮として廣田外相は前駐米大使出淵勝次氏を濠洲に派遣親善使節に起用するに決し、英本國政府並に濠洲聯邦政府當局に對し夫々その意向を傳達したが、十三日松平駐英大使及び村井シドニー總領事より英本國並に濠洲聯邦政府は出淵親善使節の來訪を衷心より歡迎する旨報告し來つたので、廣田外相は直に出淵使節の渡濠を正式に決定、親善使節一行は愈々豫定の如く七月中出發、濠洲の首都キヤンベラにおいて濠洲聯邦政府を正式に訪問交驩を遂げ、兩國の平和、友好關係の確立に精進する事となつた、なほ出淵使節は途中比律賓を訪問、歸途濠印を訪問し通商貿易の視察調査をも行ふ筈である

親任親補式

【東京十三日發國通】新任大審院長林頼三郎、同檢事總長光行次郎兩氏の親任親補式は十三日午前十時より宮中鳳凰間で岡田首相侍立の下に陛下より親任親補の勅語あり首相を經て左の如く官記親授された

任判事 補大審院長 檢事 林頼三郎
補檢事總長 檢事 光行次郎

松本外務參與官
排日取締り情況視察に 二十日東京を出發渡支

【東京十三日發國通】廣田外相は外務省參與官松本忠雄氏を個人の資格で支那へ特派政治經濟、特に排日取締り實状を視察せしめ支那要人と會見意見の交換を爲さしめる事となつた、松本氏は二十日東京發香港、廣東、上海、揚子江沿岸各地視察後濟南、北平、天津、青島へ廻り七月上旬歸國の豫定である

極東商業航路に飛行船數隻建造
ソ聯政府計畫發表

【モスクワ十二日發國通】ソ聯政府は十二日半硬式飛行船數隻建造の計畫を發表した、右半硬式飛行船は主として極東方面の商業航路に使用するはずだが、無給油で五十時間滯空出來る驚異的性能を持つてゐる

對支進出に關し支那側と折衝
米國經濟視察團活躍

【上海特電十三日發】米國經濟視察團は來支以來支那事情を愼重調査し、各部門に亘り支那側と話合を進めつゝあるが、その内容は大體左の如きものと觀測さる

一、船舶事業 上海においてダラー汽船社長と招商局長と協議の結果、米國船の船運につき突き進んだ妥協が出來たらしく支那海運業に米國の投資指導が實現すると觀らる

一、紡績事業 支那紡績事業救濟のため米國の投資を支那側より希望し專門的交渉が進められてゐる

一、土木事業 主として鐵道材料の供給を目的とし英國の鐵道建設政策に對抗せんとしてゐる

一、航空事業 汎太平洋航空路實現を企圖し大體支那側の承認を得てゐるが、この外飛行機の供給問題も打合されてゐる

一、軍事顧問招聘問題 來る六月期限滿了のドイツ人顧問に代り米國人顧問を入れんとするにあるが正式決定は見ない

一、銀政策問題 支那側が最も重點を置き數次に亘り米の銀政策の及ぼした影響を説明し、調査團もこれを認め米政府に銀政策反對運動をなす事を約した

白大使に通告
在支公使館昇格

【東京十三日發國通】廣田外相は十三日午前十一時駐日ベルギー大使バツソンピエール氏の來訪を求め、在支公使館を大使館に昇格に決定した經過を通告し種々意見の交換を行ひ十一時半會見を終つた

興奮に沸返る比島
獨立案人民投票はけふ

【マニラ十三日發國通】比島獨立憲法案に關する人民投票は愈々十四日全群島に亘り施行される事となり一千四百萬の島民は獨立の宿望達成の興奮に沸き返つてゐる、人民投票の綱目は至極簡單で「比島憲法草案批准に贊成するか」といふにあり、有權者は「イエス」又は「ノー」の意思を表示するに止まるが、マツキンレー米大統領以來前後三十五年間獨立を要望して果さなかつた比島民は壓倒的大多數で憲法草案を確認するものと見られてゐるが南ルソン島に根を張るサクダリスタス結社並にミンダナオ島のトーマス・カビリー氏等即時獨立を主張する一派は斷然反對を表明するものと觀られてゐる

米海軍の精銳眞珠灣に入港
演習中に驅逐艦二隻衝突し飛行機一臺墜落

【ホノルル十二日發國通】去る四月二十九日拂曉太平洋岸の根據地を進發して以來杳として消息を絶つてゐた米海軍の精銳四十餘隻は聯合艦隊旗艦ペンシルヴアニヤ號を先頭に十二日堂々眞珠灣に入港 根據地出發以來洋上において作戰十六號に基き演習を續けて來たが演習に際し驅逐艦二隻が衝突、飛行機二臺が海上に墜落したことが判明した

波蘭國の大打擊

【ワルソー十二日發國通】逝去したポーランドのピルスヅキー將軍は同國建國の恩人で、モシチツキー大統領を表看板に、自らは陸相の地位にとゞまりながら獨裁執政として内治外交の全分野を牛耳つて來たものであるが、殊に一九三〇年五月の總選擧以來は國會に絶對多數を占め完全な獨裁權を發揮したが、更に去る四月共和制憲法を改正、大統領に廣範圍の獨裁權を附與し將軍自ら大統領に出馬する方針であつたと傳へられるが、名實共に獨裁的地位を占むるに至らず逝去した譯だ、ポーランドが東歐ロカルノ協約案を繞り獨佛兩國政府との間に巧妙な驅引をめぐらし祖國百年の安泰を圖らねばならぬ際偉大なる人物を失つたのはポーランドにとつて痛手であらう

後任はカ將軍

【ワルソー十三日發國通】故ピルスヅキー陸相の後任としてカスピルチキー將軍が臨時陸相に任命された

伊エ兩國に仲裁委員會の組織を勸告

【パリ十二日發國通】英佛兩國政府はエチオピヤ國境紛爭に關し協議の結果十二日伊エ兩國政府に對し一九二八年和解仲裁條約に基き仲裁委員會を組織する樣勸告したと傳へられる

駐支白國公使來朝

【門司十三日發國通】駐支ベルギー公使ジュルース・エム・ギイローメー男爵は日本觀光の爲め十三日門司入港の商船長安丸で來朝海路東上した

中川總督上京

【臺北十三日發國通】中川臺灣總督は臺灣震災に際し畏き邊りより御救恤金御下賜の御沙汰を賜り且つ侍從御差遣の恩命に浴したので御禮言上のため來る十八日基隆出帆上京の豫定である

蔣公使交驩
頭山翁等を招待

【東京十三日發國通】本年三月十三日の孫文逝去十周年記念日に際し我國では孫文と親交のあつた頭山滿翁其他多數官民主催で孫文記念祭が行はれたが麻布の狸穴支那公使館では十三日正午蔣作賓公使主催で頭山滿翁を始め廣田外相、芳澤謙吉氏其他日支關係に深い縁故のある十八名を招待して孫文記念祭感謝の意味で午餐會を催し、主客歡を盡し午後二時和氣藹々裡に散會した、右は日支國交關係好轉による支那側初の公式午餐會である

今吉氏は本省監理課長へ

【東京十三日發國通】滿洲移民打合せのため目下歸京中の拓務省新京出張所長今吉敏雄氏は今回拓務省監理課長として本省に留まる事となり後任には中村孝二郎氏をして新京出張所長の事務を執らしめ必要な場合には書記官を特派本省との連絡をとらしむる事となり十三日左の如く發令された

拓務書記官 今吉敏雄
命管理局管理課長

鴨江航運の日滿提携

【安東十三日發國通】鴨渾兩江航業公會は創立五十年の古き歴史を持つ滿洲國側の小型船舶業者の組合であるが、數年前對岸新義州に鴨綠江運輸會社が設立されて同一の營業に從事するやうになつた結果、必然的に兩者は對立抗爭することになつたので、これが調停は鴨綠江水運統制上の一懸案とされてゐた處、最近安東航政局及び水上警察局の盡力によつて朝鮮側の鴨綠江運輸會社所屬船もまたすべて滿洲國側の航業公會に加入し兩者は業務の分野を運輸會社は集貨航業公會は航運、通關に協定し、こゝに兩者協調提携して國境河川鴨綠江の水運に貢獻することになつた、提携前における兩者の所屬船數は運輸側九八八、公會側三、五〇三隻ある、なほ會計制度を確立すると共に近く指導者として航運行政の權威武田虎一氏を迎へる模樣であり更に對外的にはこの運輸會社との提携成立したのでその前途は明朗なものとなつた

林滿鐵總裁一行

【哈爾濱十二日發國通】林滿鐵總裁一行は十一日午後一時發飛行機で濱綏線視察中であるが歸哈の上は濱洲線視察の途に上る豫定

祖父江少佐離承

【承德十三日發國通】昭和八年六月着任以來最前線承德にあつて警備治安工作に努力せる承德憲兵分隊長祖父江少佐は憲兵練習所入學の爲め東京へ派遣される事となり十三日午後一時日滿軍官民多數の見送りを受け飛行機で離承した

人事

▲大島乾四郎氏（駐滿海軍部參謀長）十三日午後四時五十分發奉天へ歸任
▲川路守正氏（滿洲工廠顧問）同上
▲大淵眞吉氏（滿洲不動產信託社長）同上
▲ドクトル・エルンスト・ピシツプ氏（大連駐在ドイツ領事）同上
▲由良龜太郎氏（鞍山不動產信託專務）同上
▲伊勢俊三郎氏（滿鐵營口醫院營口分院長）十二日午後五時四十分發列車にて歸任
▲三野友吉氏（大東公司總支配人）十三日出帆長平丸で歸津
▲天津Y・M・C・A日本旅行團 同上
▲八田嘉明氏（滿鐵副總裁）十三日午後八時大連發列車で新京へ
▲郡山智氏（滿鐵理事）同上

大觀小觀

各省大臣を廢して各省長官となし別に國務大臣を置いて無任所とする案▲これは内閣の機能を發揮する上において必然の改革で内閣審議會を俟つて決しなければならぬ問題ではない▲但しさうなると役人の椅子がそれだけ殖えるところに拔け目なき官僚陣の躍進姿勢を見る▲今日の急務はそんなことでなくて行政整理による國務の敏捷と統制とにして之に伴ふ國費の大節約にある▲行政整理は官僚陣營の後退であるから今日の政局では想ひもよるまい▲滿洲の移民事業を拓務省の手から外務省へ移せといふ議が行はれつゝある▲滿洲の移民は事實上外務省の監督下にあること滿洲國との交渉は拓務省が與らぬこと等がその理由であるが▲贊する所は、機構改革を徹底して拓務省を完全に滿洲から引離したいといふにある▲移民問題そのものがまだ目鼻つかぬところへ所管爭ひなどは感心したことでない▲要は形式でなくて實質如何にある、國民は斯樣な官僚的論爭を時節柄甚だ不愉快とする

停戰地區を行く（5）
特派員 吉田凱

荒廢した東陵
往時を偲ぶ旗人の村落

唐山に一泊、英氣を養つた記者は翌朝市の北郊にある鳳凰山に登り、山上から支那民間經營にかゝる啓新セメント會社や、英人資本の華新紡績會社、英國系の交通大學校舍、日本守備隊、保安第二總隊、灤楡區行政督察專員公署の建物や北寧鐵路の車輪工場や病院、第四中學校内の潘壽彭保安隊の兵營、唐山炭礦の佛立する煙突や石炭殼の山などを一望に俯瞰して下山、直にトラックに乘り込み馬家溝炭礦を右手に眺め折柄保安隊の手で行はれつゝある開通式に敬意を表しつゝ新裝成つた豐唐街道を一路北へ、唐山—馬蘭峪間百二十キロ走破の途についた。

☆

豐潤縣を過ぎて玉田につく、城内にはこゝの名産麥稈で編んだ鍔廣帽子やハムが店頭にかざられてあるが、例の保安隊と民團との衝突事件の戰禍がまだ癒えぬのであらう、人馬の往來も少く、なにかゞ廢墟を見るやうな一抹の寂しさが町全體に漂つてゐる、縣公署に小憩、縣長の趙從藝氏に會つたが、見るからに善良さうな五十五、六の年配の好紳士、保安隊事件が荒廢その極に達した玉田の復興事業に當るため特に南京政府に見込まれて二ヶ月程前に着任したとのこと、縣長の話では事件が發生すると住民は戰禍を避けて四散したが最近四千五百の市民のうち半數は歸つてきたさうである、事件の發頭人張隊長は追はれ現在は河北保安第三總隊の一個大隊が駐屯してゐる。

☆

玉田から先は殆ど遲滯なく途中[?]を驅きながら午後五時漸く興隆縣馬蘭峪へ辿りついた、皇軍警備隊に小憩後、日沒前に清朝歷代の帝、后、妃、皇太子、皇子等の寢陵十六陵のある東陵を見るべく直に車を走らせる、東陵は馬蘭峪一帶の連山秀峰を背景に建立されたもので清朝の皇威の下、金と人力と時間を惜まず贅の限りを盡したゞけにその構成の偉、建築の美、風光の明媚と相俟つて雄大限りない、その雄大華麗なる東陵隨一といはれてゐる西太后陵を見たが、有名な孫殿英軍の東陵占據の禍をうけ内部の荒廢は想像の外で、かの滿朝末期における世界的女傑西太后の盛時を想ひ今昔の感殊に深いものがある。

☆

民國十六年の五月末孫殿英麾下の譚團長の一ヶ連は匪賊討伐と稱して長城を目して東陵一帶を包圍し、爆藥を放つて西太后陵をはじめ墓陵をのぞく全陵墓をかたつぱしから破壞し一週間に亘つて無盡といはれた寶石、財寶の類を根こそぎ掠奪、暴戻の限りをつくしたもので、當時天津に在らせられた滿洲國皇帝陛下には御哀悼のあまり御痛ましくも御居室の床に敷かれた席に御起居遊ばされ、百日間御喪に服し遊ばされた。

☆

東陵一帶には往時を偲ぶ旗人の村落、十六村があり、その數三萬といはれてゐるが、民國革命以來政府の保護を離れて旗人達はその糧を奪はれ、今や乞食同樣、見る影もないといふ、——さういへばさき程馬蘭峪への沿道、容貌卑しからぬ童等の路傍にあそぶのを瞥見したが、あの兒等は滿朝華やかなりし頃の旗人の末裔であらう（カットは東陵西太后の陵全景、插畫は豐唐道路開通式）

醫院長會議

十五年振りで復活された滿鐵醫院長會議は十三日午前九時より大連社員俱樂部において開會、守中大連醫院、松井撫順醫院、[?]奉天醫院各院長及び關東軍々醫部長、滿洲國民政部衞生司長等の來賓出席、千種衞生課長議長となり午前中は概括打合せを行つたが、十四日本會議に入り醫療問題について討議される筈である

國境調整交渉
いよいよ來る二十五日から 滿洲里で開催

【ハイラル十三日發國通】外蒙政府よりの正式公文に依れば來る二十五日滿洲里において會商開始を承認せる旨通告ありかくて國境調整交渉も愈々二十五日より開催される事になつた、尚外蒙古代表一行は二十二日滿洲里に到着の豫定

哈市の銀行團

【哈爾濱特電十三日發】十二日夕哈爾濱に到着した銀行團一行は十三日朝十時五十分から日滿俱樂部で元北滿接收委員長平田驥一郎氏から接收前の情況並に其後の模樣を詳細に聽取し午後は松花江及び鐵路局を視察後は元北鐵俱樂部で軍警當局その外關係者を招待した、十四日朝九時二十五分發哈新京に向ふ

社説

我駐支使館の昇格

我外務省は九日南京總領事を通して國民政府に在支公使館を大使館に昇格すべき旨を正式に通告した。右は大正十三年に既に一旦決定し、その豫算も決定し、公使館備附の印刷物などまで取り替へるなど、全く準備を整へたのを、急に取り止めて今日に至つたものである。當時中止になつた理由は支那側にて排日空氣が餘り烈しくなつた爲めだつたと記憶する。兎も角昇格の事は既に十日の閣議にかても報告された所で、初代大使には有吉現公使が任命される筈である。然るに軍部方面にありては此の昇格は時期尚早なりとの意見を抱き、此旨外務省に通した が、外務省では事務の繁忙を標準としての決定なりと説明して諒解を求めたと傳へられる。

◇

對支外交が、我外交の中軸たるべきは既に吾人の論及した所である。廣田外相も就任の初めから此の意を持つてゐる事はその言行に於て察せられる。現に對支外交を正常に導くことが自分の使命であると語つた事があるやの記憶もある。隨つて或時期を見計らつて積極的に乗り出す意があり、その第一着手として大使交換を行はんとの意圖があつたことも推測される。然るに日支外交を正常に引返すに就ては二個の困難がある。一は彼れに排日工作ある事、二は彼れが滿洲國を承認しない事である。二者何れも彼國側に存するもので、此の二項を彼國で解決しさへすれば、日本側には何の差障りもない。現に軍部の時機尚早といふのも、彼國側で排日工作を撤廢する意思ありと認められないのみならず、撤廢させ得る見込みがないこと、且つ滿洲國を承認させる見込みもないことを指すものと思はれる。

◇

廣田外相が、此處に敢て使館昇格の機到れりと見て、之れを斷行するに至つたに就いては、此の二項に關する彼國政府の態度を我が思ひ通りに誘導し得るものと思料したからであらうか。思ふに南京政府の實情として、此二項を日本側の意思に副ふやうに斷行することは、頗ぶる困難な有樣なることは、軍部の見る所の如くであらうと思はれる。故に軍部は先づ彼れの意を確かめてから大使交換を行ふを可となすのであるが、外相は先づ大使交換を行ひてから此二項を實現せしめんとする。二者目的は同じきも、手段の順序を異にするのである。隨つて、今後若し外相の意の如くに實際が進行しないとなると、外相の進退が困難になるのは勿論の事だ。故に外相の今次の斷行は、彼れ一身の進退から見ては背水の陣を布いたものである。(國家が背水の陣を布いたのではない)相當大きな決心あることゝ察せられる。

◇

我對支外交は、早くより自主的なる可くして、英米に追隨するを免がれなかつた。漸次追隨する程ではなくなつたが、矢張りその意向を顧んで、我國の言ひたい事も言ひたいことも控へ目にしてゐたを免がれなかつた。又支那政府にかても、常にその對日外交にかて、日支關係そのものを直接の標準とせず、隨つて日本の意向よりも英米の意向を顧んで、それを對日外交の標準と爲した。之れが日支國交の圓滑を缺くに至つた原因である。今度我外務省が、日支國交を日支間の直接問題として處理せんと努めたのであるから、支那も亦張り日支間の直接問題として之れを處理するにあらざれば、納得相容れぬ現象を脱し得ないであらう。使館昇格後、我外務省の針路は豫想し得る。之れに對して南京政府が果して如何に出で來るか。蓋し各方面の大に注視を要する事態である。

關東州廳の大連移轉

當局は來る十二月末決行を企圖

複雜な諸事情を伴ふ

關東州廳の大連移轉問題は種々の紛糾を伴ふため一時見送りの形となつてゐたが、大連中心の事務繁忙は地理的不便のために更にその度を加へ事務の澁滯甚だしく、一方廳舍も電々會社新京本社の完成期が遲くも十一月初旬と推定を見たゝめ關東局並びに州廳當局は大體十二月末より年初にかけての休日を利用して大連移轉を決行すべく内定を見た模樣である、州廳舍は大連都市計畫の中心地と豫定されてゐる大連地方法院横に決定を見てゐるが當分は現民政署廳舍を充當する筈である、州廳移轉に伴ひ解決を要する諸問題に對する當局の方針は大體次の如きものと豫想される

一、大連民政署の廢止、州廳移轉に伴つて事務簡捷を期するため と且は機構改革案の決定により廢止の運命にあるが民政署廢止は勅令の改正を要するため次期議會の協賛を得るまでは各民政署と共に規模を縮小して存續する

二、官廳移轉費、差當つての諸費用は概算百萬圓と見られ、關東局地方費中の剰餘金を流用する

三、官吏の住宅、電々會社の社宅三百餘戸を一時的に利用する、もし不可能の節は旅順支線に高速ガソリンカーを配して一部を通勤せしめる、滿鐵においては當局の内命を受け試運轉を行つたが四十五分乃至五十分に短縮出來る自信を得た模樣である

四、州廳移轉後の旅順市の繁榮については過般南大使への陳情にある不用廳舍並に宿舍の旅順市貸下げの一件は相當の可能性あり、現在の州廳々舍に高等程度の學校設置等も顧慮せられ思ひる模樣であり漁港設置は可能性乏しきも○○○については關係者間において或程度の實現を見る事と信ぜられてをり旅順衰滅説に對し或程度の反對材料を與へてゐる

五、現在民政署と同居中の大連市役所は中心地帶に設けられる必要あり、電々跡へ遞信局、遞信局跡に市役所の移轉を見る筈

六、州廳の廳舍、官舍の新築については移轉後漸次中央との交渉によつて決定される筈

以上州廳移轉は複雜な事態を伴ふため、當局の十二月末移轉の決意は實行に當つて多少の遲延を見込まれてをり、關東局が正式發表を差控へてゐる主なる理由は、無益な人心の動搖を顧慮せる外に、對滿事務局總裁たる林陸相の來滿を機に、この問題についても正式に諒解を得て決定せんとする意向によるものゝ如くである

南軍司令官訓示

【新京電話】日滿警務關係者會同席上における南軍司令官の訓示左の如し

滿洲國皇帝陛下御訪日の盛儀滯りなく終はらせられ、茲に日滿警務關係者を一堂に會して所懷を述ぶるは本職の最も欣快とする所なり

抑々這般の盛儀たるや日本皇室と滿洲帝室との敦厚なる御交驩により日滿親善の範を垂れさせられその不可分の關係を如實に示されたるものにして、實に東亞の史上に永久且つ顯著に刻銘せらるべき重大事實なると共に未曾有の大儀たり

諸官この大儀にかける警衛警備の衝に當り事前の準備を周密にし行事の實施亦適切にして大儀の始終に亘り萬般の行事寸毫も齟齬遺漏なからしめたるは本職大いに滿足の意を表し厚くその勞を謝す

惟ふに今次の盛儀は滿洲建國の本義に由來する日滿兩國親善の精神並に兩國一體不可分の理義を更に一層深厚且つ鞏固ならしめ、特に洩れ承る幾多の尊く且つ美しき情景に見るに日本皇室と滿洲帝室との御親交に一段の敦厚を加へたるは申すも畏き極みにして日滿兩國の將來否東亞永遠の平和の爲め同慶に堪へざる所なり

皇帝陛下には御歸國早々文武百官を召されて親しく詔書の宣諭あらせられ、本日は宮内府大臣をして諸官に御言葉を賜り以て御訪日間の御感懷及び滿洲國人民の率由すべき軌範を示されたり、諸官は宜しくこの意の存する所を玩味奉體し日滿倶存不可分の關係に對する信念を一層深くして警務の執行に當らんことを切望す

蓋し滿洲建國當初恰も亂麻の狀態にありし國内治安も諸官の和衷協同宜くその職責を盡したるにより漸次改善せられ今や大いに面目を新にしつゝある狀態にして本職はこの間にかける諸官の勞苦及び功績に對し深甚なる感謝の意を表す、然れども兇惡頑強なる匪賊は未だ絶滅の域に達せず、これが跳梁のため今尚は時々不祥事を惹起しつゝある所なるは諸官の知悉しつゝある所なるべく、殊に今夏東亞木繁茂期の状況を豫想するときは一層諸官の奮勵努力を要するものありと……

日滿警務代表に

滿洲國皇帝御諚

沈宮内府大臣傳示

【新京電話】沈宮内府大臣は日滿警務會議に臨み皇帝陛下の御諚を體して左の如く傳諭するところあつた

滿洲建國以來日滿の憲兵警察官は地方民衆に對し治安防衛上勞績甚だ顯著なり昨年帝制實施より皇帝陛下は屢々御巡幸あらせられたるが、あらゆる警務、戎備ともによく周密を極めたり今次陛下東行して日本皇室を訪問し給ふや發轫より迴鑾にいたるまで一個月を經たるが、各警務機關は事前の準備とその實施ともに最も勤勞あり上意極めて深く嘉賞あらせらる

至つて重大なり、將來日滿の警務機關全力を舉げて合作せば、その精神は克く貫通し、動作は更に圓活緊密となり地方人民倶に安栄を享けんこと必せり、本大臣は旨を奉じ茲に聖意を傳示す、倶にこれを勉めむことを望む

康徳二年五月十三日

宮内府大臣 沈瑞麟

北黑線を觀る (1)

前田特派員

大連から黑河へ

今は僅かに四日の旅

◇…北安から黑河には一日で行ける、僅か三〇四粁六八の距離であるが、三月までは往復とも途中の辰清に泊つて翌日の汽車を待たなければならなかつたが四月から北黑間を直通するやうになつたので約十二時間で北安から大黑河へ大黑河から北安へ直達し得る、それでも哈爾濱からはまる二日、大連から大黑河へ滿洲國の中央部を縱斷するには四日掛りの旅である

◇…北黑線開通以前は黑河に行くには開河期間は哈爾濱からせいぜい一千噸位の小汽船で松花江を下り、同江で黑龍江に入つて愛琿し水勢條件がよくて十日、わるくすると二週間もかゝつたものである、結氷期間は齊北線の支線訥河から國際運輸のバスによつて惡路に惱まされながら二日乃至三日で黑河に達してゐたのであるが今は哈爾濱から二晝一夜で楽々とシベリアの要都ブラゴエスチエンスクの對岸に達し得られるのである

現在のダイヤによれば哈爾濱を朝八時發の濱北線北安行列車に乘れば夕刻六時に北安に着く、翌朝七時北黑線に入る。

◇…現在鐵路局の本營業は辰清(新編二站)までであつて、この間は一面の黑土地帶であるが土地は非常に濕潤して餘程大規模な水利計畫でもやらぬ限り農耕は無らぬであらう、事實この線は終點に近い璦琿驛に入るまでは車窓から農戸を認むることは極めて稀である、沿線兩側で五百戸以上の農家を數へることは恐らく困難であらう、それほど人煙稀薄な荒涼たる地帶である。

◇…辰清以北はまだ鐵道建設局の假營業線である、辰清までは驛舍なども整つてゐるが、それ以北は各驛とも驛舍や從業員住宅などを建造中である、辰清の次驛勝城あたりから小興安嶺山脈に入る、山は左程嶮峻といふほどでもないが、際涯なく波のやうにうねつてゐる山峡を五月の初めといふにまだ氷塊を岸の柳や白樺の根もとに流し殘してゐる淸冽な遜畢拉河と逢つては離れて走る。

山は殆んど白樺で蔽はれ間々楢を見るのみである、直幹に銀を着た白樺の密林は目覺めるやうに美しく山そのものを明るくしてゐる、小興安嶺の森林面積は約一千萬町歩、材積三十五億石といはれ白樺が最も多く北部には落葉松が多い。

◇…濛察、翠中間にある本線で唯一つのトンネルを潜り午後二時頃小興安嶺の中央部孫吳に着く、こゝは建設の幾工事の中心地でまだ殘らか建設景氣が殘つてゐるが驛近くに土匪、トタン屋根の料理店が五、六軒並んでゐる、小興安嶺驛で小興安嶺と別れ、朝水を經て璦琿驛に近づくと流石によく耕されて農家らしい農戸が點在してゐる、璦琿條約締結地として近代東洋史に馴染の深い舊璦琿城は驛から東北方六キロの距離があり望見し得られない、漸く黑河に近づくと先づ眼に入るのは、巍々たる電燈で包まれたブラゴエスチエンスク市街である、次いで黑河の燈が見える、夜景には黑河とブラゴエスチエンスクは一圓の市街のやうである。【寫眞は北黑沿線の白樺林】

北支と熱河省を語る

木原中將の視察談

【錦州特電十三日發】過般奉山線經由天津、北平を視察し更に古北口より熱河省に入り承德、隆化圍場、赤峰の各地を視察中であつた滿洲國顧問木原中將は十三日午前十一時錦承線で錦州に到着驛長室に少憩の後午後零時二分發上り列車で大虎山乘換へ通遼に向け出發したが驛頭往訪の記者に對し左の如く語る

天津でも北平でも支那側要人には誰にも會はなかつた、最近日支親善が支那側要人にも盛んに唱へられるが口先ばかりで一向實績が擧つてゐない、而も于學忠氏邊りはこれに反對の意思表示をしてゐたと言ふが以つての外だと思ふ、殷同氏が日本から歸つたら多少變化するかも知れないが、これも大した期待は出來まい、然しその動靜は注目すべきであらう

◇

北支の一般經濟界は銀高で非常に不景氣である、殊に滿洲建國以來熱河貿易は漸次衰退し輸出貿易の大宗と言はれる綿糸、綿布等も今では日本商品の進出に依り完全に市場より驅逐され平津地方の機業家、商人は大打撃を受けてゐる模樣である

◇

承德では離宮、ラマ寺を見た、荒廢著しく中には雨漏りのする所もあり、歷史も新しいのに實に惜しいことだと思つた、北平邊りの建築もさうだが支那の建築は見かけ倒しで内容が伴つてゐない、詳細に研究すると眞にお粗末なもので日本の日光に見る樣な彫心鏤骨の精神は一つも見られない、つまり事大思想の支那國民性が建築物にもよく反映してゐることが首肯される

◇

承德は擂鉢の底にある樣な都市で、地方から集る物資も極めて少ないが赤峰は背後に蒙古を控へ市中は相當活況を呈してゐた承德が政治、軍事の中心とするならば赤峰は產業經濟の中心地として將來發展するであらう

今度は南洋へ……

滿洲產業建設學徒研究團

橋本理事等來滿す

近年每夏來滿して滿蒙各地を視察しその調査認識の上に多大の成果を收めつゝあつた大學、專門學校學生より成る滿洲產業建設學徒研究團──主議會ではその事業計畫の擴大强化を計るため文部、陸軍兩省の諒解、援助を得て過般組織を財團法人と改めたが、同會理事京大農學部長橋本傳左衞門、同東京農大教授住江金之及び同會常任委員陸軍少佐飯田康明の三氏は十二日來連、十三日正午發はとで新京に向つた、一行の目的は右財團法人設立について諸方面への挨拶旁々今後一段の援助を懇請するにあり、新京のほか哈爾濱、滿洲里までも赴く豫定である

同會本年度事業としては學徒團の滿洲國派遣、學徒團の南洋派遣、講演會及研究會の開催、報告書の刊行、パンフレットの刊行、會報の發行等が計畫されてをり、特に右項目中學徒團の南洋派遣は本年初めて實行を企てられるものだけに各方面から其成果を興味深く期待されてゐる

昨年に引續く

水路技術會議

流氷終了し近く開催か

【哈爾濱特電十三日發】國境河川航行に關する水路技術會議は昨年三角州問題で物別れとなつた儘本年に持越したが最近ソ聯側から會議再開の希望を非公式に表明し滿洲國側においても固より異議ないところなのでソ聯委員二名はブラゴエに、滿洲國委員は黑河にあつて解氷を待つてゐたが黑河方面の流氷も十二日全く終了し對岸ブラゴエとの交通が復活したので一兩日中には双方から公式の意思表示があるものと看做されてゐる、今回の會議は昨年の引續きで水路協定そのものには觸れず純然たる技術上の打合せだがソ聯側が前回同樣三角州問題を固執すれば再び決裂の外ないと滿洲國側は看做してゐる

大相撲回顧

投書歡迎 五十行以内

◇去る九日本紙伊東吾州氏の談を讀むにつけて想起するのは大相撲東西對抗の優勝戰である。

◇問題の玉手山の一戰といふのは大正六年の一月場所で、東方は横綱太刀山、同鳳を總師とし西方は横綱西の海(二代目)を總師とする一團であつた。

◇玉手山は九日目迄敗し十日目に新進九州山(後に大關となつた)を破つて最後の白星を擧た爲に僅かに一點の差に依つて東方の優勝となつた。

◇當時玉手山は既に晩年であるに反し、九州山は新進の力士で、實力から云へば當然九州の方が上であるが、玉手山は九州山の元來の苦手である爲に不覺にも老功に名をなさしめたのである。

◇次で想起するのは昭和五年五月場所、十日目迄東方二點勝越してゐたが、十一日目の白兵戰で西方頑張りの勢ひを以て二點盛返した爲に俄然同點となり優勝旗は協會預かりとなつた。次に同年九月の東京本場所にかては十日目迄東西同點となつたが、十一日目に西方二點勝越して優勝した、大場所には東西入替りとなつた。

◇今や東京大相撲の本場所が開始されてゐる。現在は東西の區別無く總當りの個人勝負で連日好取組の連續に好角家の人氣を呼んでゐるとはいふものゝ、嘗ての如き敵愾心を以て東西各一團となり互に鎬を削つて對抗し優勝旗の爭奪に血眼となつた角界傳統の興味が新制度と共に失はれたことは何となく物淋しい。(草苗生)

非戰區舞臺に

藍衣社暗躍

【承德十二日發國通】最近非戰區の形勢漸く安定し地方民の對日感情の好轉を傳へられるに至つたが一方同方面の藍衣社においては組織の擴大强化運動着々として行はれ、その成行きは極めて重視されてゐるが、その活動狀況左の如し

一、滿洲國各地に特派員辨事處を設け偽勇軍と共に國內擾亂を圖る

一、北支戰區に支部を置き親滿反蔣分子一掃

一、唐山に總支部を置く

その他郵便檢閱執行委員を各縣に派し支部を置き新生社文化社總構俱樂部の名稱を用ひて非戰區を舞臺に暗躍しつゝある

臺灣震災寄附

滿洲國政府から

國幣で二萬圓

【東京十三日發國通】滿洲國政府は臺灣震災に國幣二萬圓日本金約二萬四千圓を寄附する旨十三日關東軍より陸軍省宛入電があつた

滿鐵重役會議

滿鐵重役會議は十三日午後二時より開會、撫順炭礦千金寨社宅移轉による新社宅三百戸の新築細目に就て審議決定し同四時散會した

國際決濟銀行

總會

【バーゼル十二日發國通】國際決濟銀行一九三四年度會計年度は十二日を以て終了し十三日より株主總會が開かれるが既にバーゼルには歐洲各國は勿論日本からも代表銀行家が乘り込み總員四十餘名が集まり非常な賑ひを呈してゐる、現會計年度にかける國際決濟銀行の事業成績は極めて良好で八十七萬二千磅に及び六分の配當が豫想されてゐる

獨大使渡鮮

【東京十三日發國通】目下九州旅行中のドイツ大使デリクゼン氏は一兩日中に渡鮮のはずで更に滿洲國視察をもなすと傳へられてゐるが、十三日ドイツ大使館ではデリクゼン大使今次の旅行は全く私的旅行で九州視察後朝鮮に渡り金剛山を觀賞の上咸鏡南道德源のドイツ人修道院視察のため今月末歸京の豫定であると發表した

米國庭園協會一行來朝

【横濱十三日發國通】米國庭園協會一行百十四名は十三日午前十一時秩父丸で横濱着九十八名の婦人と紳士十六名は市中見物の後午後四時自動車で東京へ向つた

縣村區制の改革

康德二年末迄に成案

【新京十三日發國通】滿洲國縣制は曩の十省長會議直に村區制改革は曩の十省長會議後直に研究に着手し各方面の資料蒐集を行つてゐるが大體結論を得るに至るのは二年度末、即ち康德二年十二月頃となる模樣で、それより縣制委員會を設けて官制並に所要法規の作成に移る段取であるが、村區制は飽まで民十戸組織とする建前である、村區制は飽まで民十戸組に重點を置き區村の經濟程度を考慮して徒らに法令の金縛りとする事なく鄕に入つては鄕に從ふの特質を生かすべく考慮が拂はれてゐる、例へば蒙古民族における土地所有觀念の如き個人所有意識の稀薄な地域には飽まで共有共存の精神を生かし漢滿民族の如く割合に組織化した法令に對する遵法性の出來たものと區別した村區制を作成する方針で五族協和の根本精神に背馳せざる範圍内において異色ある而も無理のない改革が企圖されてゐる

近代醫術を超えて
祈禱師の神秘
不治の難病を全癒さす
興安嶺に靈泉か
オロチヨン

【哈爾濱】北滿廣軌線、濱洲線興安嶺中の小驛牙克石から程遠からぬ部落にギリシヤ正教寺院がある、この住職チエモルフエイ師は昨年夏以來健康が優れず哈爾濱で日露獨の

醫師七名の 診察を受けたが胃癌で既に手おくれで手術のしようもないと見はなされたので北平に赴きロツクフエラー病院に入院、ラジウムによる治療を受けたが效果なく後二年の生命だと死の宣告をされたので宗教家らしく觀念し、餘命あるうち寺務を整理し安心して死すべく本年再び山に歸つたが滿蘇國境に近いヂンギスカン古城で知られてゐるガン河の上流にあるオロチヨン部落に、同族から神の如く崇敬されてゐる祈禱師シヤマンが如何なる難病でも治癒さすとの噂を聞き友人に相談したところキリスト教徒はあらゆる方法によつて

自己の生命 を護るのが神の意思にかなふものだと勸められたのでシヤマンを訪ねて祈禱を依賴した、シヤマンはチエロルフエイ師を自家に滯在させ獨特の祈禱を行ひ日出と日沒に氷を割つて採取した天然氷を多量に飲ませたかくすること四十日、效驗現れて病氣は治癒したが尙ほ體力を恢復するため十四、五日間の滯留してゐるうち完全な健康體となつて此程哈爾濱に來り二、三の醫師に診察せしめたところ胃癌は跡方もなくなほつてゐるとのことに勇躍して寺院に歸つた、祈禱師シヤマンの靈力か

自然の偉力 か興安嶺には特殊な鑛泉が湧出するといはれてゐるから或は鑛泉によつて此奇蹟的な事實が生れたのかも知れない、右に關して多年考古學的調査のため同方面に入り込み事情に通じてゐる哈爾濱博物館のポノソフ氏は語る

興安嶺以西に鑛泉がよくある話は聞いてゐるから或はその一つかも知れぬ、誰かロシア人の專門家が調べたことがあるかも知れぬが何しろ丸で方面違ひだから確かなことは言へない、私の見聞した範圍ではホロンアルシヤン溫泉については既に一般周知のことだがその他にはダライノール湖の南側の

一部に泥土 で健康に非常によいのがあつて病弱な人がよく行く、前は泥土を體にぬつて浸つてゐるだけだが效驗顯著なのは事實だ、それから哈拉爾河の支流メルゲール河の上流にナジンブラーグと言ふ部落があるがその附近に鑛泉があつて鐵分を多く含んでゐるといふので持ち歸つたことがあるが途中ビンを壞して分析することが出來なかつた、デルブール河の流域にも一ヶ所あるさうだから、今度の話は之れではないかしら、兎も角興安嶺以西の鑛泉についてはもつと學術的に研究する必要があらう

漸く春の跫音を聽く國境の町

【滿洲里】滿洲國の最西北端滿洲里には漸く春の跫音が聞え始めた曠原の枯草をよぎるのは最早肌を刺す酷烈な蒙古風ではない、この五六日の好天氣に惠まれて木の芽もふくらみ始めた、そして家族づれでピクニツクを試みる「氣早やな」連中もポツ／＼現れ始めた、しかし山にはまだ寒々と身に沁む風だ、寫眞のやうに風よけを背に震へながら冷たいビールの杯をあげる、前方に黑く見えるのはソ聯領の連山だ、酷寒から解放されると同時に自轉車熱も盛んになつて來た馬よりも輕快で簡易でよいのらしい、街を漫歩する人々の中には蒙古の兵隊さんの花嫁がハイヒールに蒙古服姿で颯爽と人目をひくのも現れてゐる

多倫廟の喇嘛法會(下)
修理完成で盛大に擧行

【多倫】多倫廟には東西兩廟があつて東を彙宗寺、西を善因寺と名づけ多倫市街の北方千五百メートルの丘阜上に南面して位置する、東廟は康熙帝、西廟は雍正帝の建立にかゝるもので特に西廟は淸朝の勅願寺として東廟と共に內蒙喇嘛教の總本山である、十數年來の兵燹と數十年來加修しないので相當荒廢してゐるが、尙ほ壯麗な美觀をとゞめ多倫一の名所たるを失はない、內部に十三個の倉(附屬寺)を有し往時各倉に十三活佛があつた、その筆頭活佛の有名なのが章嘉活佛である、目下關東軍から補助された一萬圓で修理中で概ね廟法會までには完成すべく面目は一新されるであらう

十數年來中絶され
昭和八年から復活す

多倫廟の法會は他と同樣に舊曆六月十三、四、五日(本年は陽曆七月の同日)の三日間行はれる、往時多倫が殷盛を極めてゐたころは內外蒙における唯一の法會として近隣蒙古人は勿論、遠くは外蒙西藏、新疆方面から參集する蒙古人は數萬に達しこの機會に行はれる市では蒙古出產物である數萬の馬牛、羊等の取引が行はれこれが買出しに來る者も遠くは外蒙庫倫、北平、天津、上海、南京地方に及んだ、そして多倫廟を中心に繁榮を以て賑はれたといはれてゐる、かうした意義ある多倫廟法會も多倫の衰微とゝもに衰へて十數年來全然行はれてゐない有樣であつたが然るに昭和八年、關東軍の援助で李守信軍が多倫に入ると同時に逐次治安が恢復し同年十月、形式だけの法會が擧行され、爾來特務機關の指導によつて多倫の秩序並びに諸政愈々恢復するに至つたので昨年度においては所定の期日にこれを擧行し且つこれに因んで多倫復興祝賀の意を加味し約一週間に亘つて各種の催しが行はれたので蒙古人の集まるもの千人、滿人二萬に及び活佛さへも參加して實に二十年來の賑はひを見せた

各種催しを加へ
着々準備計畫を進む

新滿李守信軍及び特務機關の進出以來滿二年、今や多倫の太平も四隣に響き努々宣傳の效果も加はつて親日滿の思想漸く盛んになりつゝある折柄、本年の喇嘛法會は努めて盛大に擧行して有形無形の效果を收むべく目下着々計畫中である本年實施すべき各種の催し物は▲跳舞(跳鬼)喇嘛▲蒙古角力…蒙古人▲競馬…滿蒙人▲大運動會…日滿蒙人▲旗及び提灯行列…日滿蒙人▲高蹺會▲小船會▲小林會▲秧歌會…いづれも主として滿人▲物產陳列館…多倫縣公署▲芝居…滿人▲各種牧畜市

熱河、多倫間
泰山バス利用

で本年は喇嘛廟の修理も完成するので蒙古人の來集するものは數千の多數に上るであらうと豫想さる

以上上下の二回に亘つて喇嘛法會の概要を連載したが惟ふに二十世紀文明の今日獨り蒙古だけが今なほ原始的生活を持續してゐることは、その事實が既に一つの奇蹟と見るべく千古の謎を秘める蒙古にこそなほ傳統される古典的跳鬼こそ蒙古研究者は勿論、一般人も一應見物して蒙古風俗の一端を知るべきであらう、參考までに熱河方面より多倫に至る交通便を記すと承德—圍場—多倫道又は朝陽—赤峰—圍場—多倫道二つにより泰山バスを使用するのである(完)

まづ奉天驛に
改札口を色別表示
自働行先時間表設置

【奉天】全滿各驛に魁けて全滿鐵線における貨客收入の三分の一を擧げてゐる奉天驛では過般旅客サーヴイスの一つとしてクリスターライトで改札口を色別に表示しインヂケーター(自働行先時間表)を設置すべく計畫し此の程機械の到着を見たので目下取付け中であるが各改札口にインヂケーター、クリスター各一個宛八個を取付け十三日より使用するがこの總額約三千五百圓で滿洲では奉天驛が最初でありこの成績を見た上、大連、新京安東各驛にも設置する筈でこれが完成の上は六ケ所の改札口を有する奉天驛の發着ホームが一目瞭然となり非常に便利となる譯である

王道を憧れ
ソ聯を脱出
獨逸人の靴屋

【チチハル】去る二日午前十時ごろ濱洲線成吉斯汗驛に半裸體の病人らしき外人が辿りついたのを同驛路警が發見し事情を聽取したところ件の外人はドイツ人コース(?)と稱し、チタで靴屋を經營してゐたが、蘇聯の壓迫に堪へかねて脫出を企て、巧にゲペウの監視をのがれて三月十日滿洲里附近に越境入國の上、草根木皮によつて飢を凌ぎつゝ憧憬する王道國の首都新京指して徒步の旅をつゞけてゐたことが判明、路警分駐所では衣食を與へた上、札蘭屯に連行し引つゞき取調べ中である

團體往來(十二日)

▲朝鮮光州中學校生徒一行七八名午前六時四十分列車で新京着
▲愛媛縣師範學校生徒一行六八名同上
▲シンジケート銀行團一行二二名午後七時二十分新京發列車で哈爾濱へ
▲大分縣師範學校生徒一行五四名午前十時十分新京發列車で公主嶺へ
▲小林侍從武官一行三名午後三時列車で新京着
▲廣島師範生徒一行七五名同上
▲三重縣師範學校生徒一行八三名同上
▲小倉師範學校生徒一行四〇名同上
▲遞信十二體同上
▲大同學校生徒一行一四二名午後三時十分列車で新京着
▲千葉縣派遣滿洲慰靈視察團一行四〇名午後六時三十五分列車で新京着
▲大連浪速洋行視察團一行十四名午前九時二十分新京發列車で哈爾濱へ

白衣の勇士を
自轉車で慰問
大連、哈爾濱間十病院訪問
福山から二青年

【奉天】北滿第一線の護りとして各地に轉戰し傷つき或は病んで病床に呻吟する白衣の勇士を慰問のため遙々福山市から自轉車で來滿した二青年が十一日深夜奉天憲兵隊本部を訪れた——廣島縣福山市笠岡町三村稔(二一)同北吉津町本通石井時太(二一)の

兩君 で去る四月二十九日天長の佳節を期して約一ヶ月の豫定で鄕里を出發、五月二日釜山に上陸し京城に一泊九日午後六時着この間朝鮮を自轉車で縱走し豫定を變更十一日午後八時五十分着安奉線で來奉したが慰問文を遼陽宛に發送したため十二日遼陽に赴き同地衛戍病院で滿洲で最初の慰問を行ひ、同日午後四時五十分歸奉「在滿皇軍傷病兵慰問自轉車走破隊」と記した旗と國旗を揭げた自轉車に青年團服姿の兩君は日燒した顏に微笑を湛へ

朝鮮は自轉車で突破しましたが田舍では道路の惡いため相當惱まされました、安東から矢張り自轉車で一氣に遼陽方面に拔ける積りでしたが

惡路 のためと匪賊等の危險もあると云はれて止められました又一人(三村君)が警部に匪物が出來たゝめ自轉車が一寸無理で汽車でやつて來ました今日は慰問文が遼陽宛に發送してあつたゝめ遼陽に行き衛戍病院で最初の慰問をして來ました今度のは傷病兵の慰問で滿洲といひましても大連、哈爾濱間沿線十ケ所の衛戍病院を慰問するのです、慰問文は福山市內の八小學校から二千通を、また縣社延廣八幡宮から御守札五百通を頂きました、十三日には奉天衛戍病院に慰問をして十四日鐵嶺へ行きます

記者が動機を問ふと

石井君は龍山で軍隊に居りました私も第一補充で在鄕軍人の一人です、で軍人の精神、軍隊生活を知つてゐますし、昨年十月新聞で傷病兵が

事變 當時と殆んど變りないが慰問者が少いのを知り二人で貯金を始め最近漸く豫定額に達したので天長節を期して出發したのです

と語つたが兩君は同市の近所で三村君は時計商、石井君石炭商で自費でこの獻身的壯擧に當つたのである(寫眞は奉天驛頭で右三村君左石井君の勇姿)

北安邦人の
悲觀論解消

【北安】北安領事分署管內五月一日現在の邦人居住人口動態は左の如くで或は邦人の一千臺を割るかに氣遣はれた北安は解氷後漸增の勢ひを示し現在では悠々千百三十餘名を突破し悲觀論を解消した、なほ北黑沿線孫吳は解氷期に入り急激な增加を辿つてゐる

△北安 邦人戶數四九〇人口一、一二八、鮮人戶數八〇、人口一五〇
△龍鎭 邦人戶數二三人口二八、鮮人戶數四人口八
△辰淸 邦人戶數七八人口一二三、鮮人戶數一一人口一三
△孫吳 邦人戶數二四八人口四三四、鮮人戶數二七人口一二一
△克山 邦人戶數七四人口一二一、鮮人戶數一九人口五三
△泰安鎭 邦人戶數二四人口八二、鮮人戶數二五人口六四
△其他 邦人戶數四四人口五三、鮮人戶數三二人口七一
△計 邦人戶數九八一人口一、九六九、鮮人戶數三六四人口一、〇七二

失踪舵夫未だ判明せず
河南丸怪事件

河南丸の怪事——舵夫失踪事件に關し大連水上署より伏木水上署に照會中のところ十三日回答があつたそれによると舵夫田民外次郎(?)が行方不明になつて間もなく島根縣加島沖に慘殺死體が發見されたとの報により家人が之を田民ではないかと推定したもので未だ田民の死體であるか否かは判然せず、目下伏木署では濱田署に田民の寫眞を添附照會中である

國立博物館
開館式延期さる

【奉天】世界に誇る東洋文化の大殿堂として商埠地九緯路の舊湯玉麟邸を改造建設中の滿洲國立博物館は來る十五日華々しく開館式を擧行する筈であつたが、開館の諸準備が未完了のため六月一日に延期されることになつた

談天心
"近江園"に遺す
奉天商工會議所會頭 石田武亥氏

◆…過ぐる大役に從軍記者で渡滿したのだから、ことし幾つになるか知らぬが義理にも若いとはいへないね、その證據に近年膝の骨が痛くなつて來たものだ、さてはござつたなと思つたけれども、何ごとかあらんとばかり捨てゝ置いたら、それが段々下降して膝關節に來り更に下降して近ごろではくるぶしのところに停職したまゝ動かない、痛いといつても知れたものだから、そのまゝにしてあるが他人が見たら幾ぶん歩行が不自由らしく思ふかも知れない、醫療はもとより何もしないことにしてある。

◆…醫療はせぬが、マルで赤の他人にも出來ぬので、出來るだけ運動に精出すことにきめて居る、運動といつて全然無目的でも困るので、土塊弄りを始めた、朝早く自ら苦力頭となつて二萬坪を整地し造庭するのだ、マン中に池があるので、自然庭の中心がきまるから、それを王座に置いて、林泉を按配するのである、二萬坪といへば可なりの廣さだ、一まはりすれば好い運動になる。

◆…ところは奉天郊外、大綱土に區切られた二萬坪、名づけて「近江園」といふ、生れが滋賀縣大上郡だからばかりではない、渾河に近いからとも讀んで貰ひたいし、マン中の池を江に見立てゝも貰ひたいし、それに第一、日本語ででも滿洲語ででも極めて呼びよいところが、この名稱ある所以だ、池塘ありて岩石なきは面白くないので、安奉線から二車ばかり引いたがまだ足らぬ、樹林の布置には少しばかり味噌がないでもなく、櫻の苗木を植ゑて枯れを二割にとめたのは自慢して良いやうにも思ふがどうか、いづれ自慢の花が咲いたら園遊會を開くことにしたいものだ。

◆…銀行だ、信託だ、保險だ、いろ／＼の事業に手を出して、或は出させられて、我がためか他のためか分らぬ仕事に精根を磨り減らして來た過去を顧みて、こいつ將來に何も殘らんではないかと考へつくと、少し寂しくなる、たゞ近江園ばかりは一樹一石すべて皆石田の再現だ、これある哉と感ぜずに居られないのである(奉天)

張軍政部大臣

【奉天】在奉國軍各部隊機關中の張軍政部大臣は十二日午前八時ヤマトホテル出發、北大營の陸軍教導隊へ赴き憲兵、蘇少將より狀況報告、書類檢閲、步、騎兵、舍內の巡視更に午後零時三十分より騎兵團連長の「軍旗の尊嚴に就て」と題する精神訓話を聽取し、同一時二十分より教練檢閲、同四時半ホテルへ歸還した

尙十三日は午前八時三十分ホテル出發、前日同樣教導隊へ赴き同十時より騎兵の戰鬪教練檢閲引續き將校の圖上戰術檢閲、午後一時より講堂で全隊員を集め一場の訓示をなし、ホテルへ歸還の豫定

瓜子兒

紅卍字瀋陽總會では臺灣の大震災に對し各分會より募集した義捐金五千元を奉天日本總領事館に代送方を依賴した。

◇

所轄各縣を視察して來た竹內奉天省總務廳長は、西豐縣を第一模範縣だと稱揚してゐる。

◇

現大洋の暴騰で大痛手を蒙つた者は支那商品の輸入に關係のある大連、營口、奉天、安東、哈爾濱の滿人卸商、また山東の苦力諸君も折角汗水たらして働いた金が國元への送金に半額にもならないので可哀想なほど悲觀してゐる。

◇

官軍と共產軍とが死もの狂ひで激戰を交へてゐる支那貴州省のお隣の廣西省では金融ます／＼旺盛でゴールドラッシュの大繁榮。

◇

支那廣東省の民政廳では地方自治完成のため總動員的に自治指導員を各縣に派遣した。

◇

映畫「百萬人の合唱」が珍しくも支那のキネマ雜誌に賞讃的に批評され日本映畫界の出路を打開した記念すべき一大新作品で日本の音樂映畫の前途に大きな希望を想はせるものであると云つてゐる、日支映畫親善の第一聲としてこれを支那に持つて行つては何うか。

小說 儒林外史(三)
原作 吳敬梓
翻譯 瀨沼三郎
挿畫 河野久

四斗子が岸に上つて駈け出さうとすると、荷揚げ人足共が船頭達と一緒になつてその行手を遮つた船頭達は役所沙汰になつては……と駭き

「嚴大旦那樣、全くあれが惡かつたのです。思ひ違ひから旦那樣の藥を食つて了つたのでせう、が、あれは素寒貧の男で、拵ぐるみ賣つたつて旦那樣の藥十兩の大金は賠償することは出來ません。役所に送られてもどうもなりません、どうぞ特別のお慈悲で許してやつて下さい」と詫びた。

彼はます／＼威丈高となつて怒鳴り散らした、それを見かねた荷揚人足の五六人がやつて來た。

「こりや、もと／＼お前達がへまだよ。先刻舟が着いた時、嚴の旦那に祝儀や酒手を强請さへせにや旦那も疾くに嘸で何處ぞ行かれて了つた頃だ。お前達が引留めたので藥のことを思ひ出されたのだ。お前達に旦那の藥を賠償することが出來にや、嚴の旦那はお前達の船賃なんか鐚一文だつて拂はれるもんか」

一同はかの舵子を引張つて來て幾つも頭を下げさした。

「皆がさう言ふのだし、わしも喜び事で忙しいから、勘定はあとでゆつくりしやる。這奴は放してやらう。まさか這奴も逃げ隱れはしなからう」

彼は態度を軟げて、鷹揚に轎へて轎に乘つた。行李や召使が後に跟き、掛け聲と共に去つた。一同は呆然とこれを見送つてゐた。

彼は歸宅すると、直ぐ次男と嫁を引連れて祖先の靈壇に禮拜し、また妻を呼んで新郎新婦の挨拶を受けさせた。

彼は妻が主人の居間の片附けに大騒ぎしてゐるのを見て言つた。

「お前は何をじたばたしてゐるのだ」

「この家の狹いのは御存知でせう好い部屋はこの一間しかないのですよ。花嫁さんは大家の娵さんだといふぢやないですか。あなたが此處から移らずに、あれ達を何處へ住はせるお積り?」

「わしにちやんと考へがある。お前が要騒ぎせずとも、弟のあの廣い立派な家があるぢやないか」

「あの家にどうしてうちの子を住ませられますか」

「弟の子がないのに後嗣を立てずに濟むかね」

「それでしたら駄目、先方では家の五番目を後嗣にしたいと言つてゐるのだから」

「そんな事はあの女の一存にゆかぬのだ。私が弟の家の後嗣を定めるのにあれが何の干渉出來やう」

彼の妻はそんなものかとも思つた。其處へ弟の妻の使者が來て、

「奥樣が大旦那樣にお相談したい事があるさうです。王家のお二人の方もお見えになつてゐます」と告げて去つた。

彼は直に赴いた。挨拶が濟むと直ぐ四、五人の召使を呼んで、

「主人の居間を掃除しておけ、明日から家の二番目の若旦那と奥さんが來て住むから……」と言付けた。

夫人はそれを聽き、先妻側の義兄に、

「兄さん。本家の兄さんは今なんと仰しやられました。嫁さんが來たら裏の部屋に住はせて妾が表の本間——主人の居間——に住むのが當然でせう。嫁が母家に住んで母親が裏に住むなんて、そんな道理が世間にありませうか」

「マア狼狽なさるナ、何とでも言はして置きなさい、きつと相談がある筈ですから」

と王仁が慰めて部屋を出た。

王兄弟と彼と三人は、二タ言三言雜談を交し茶など飲んでゐると王家の使ひが、

「同學の御友人の方が文章の會をやるのだとお待ちです」

と告げに來た。で、二人は別れ去つた。

家庭

鋭い子供達の感受性
日常生活中に轉がつてゐる
教育上の重大な問題

「僕のお父さんはかういつたんだぞ」といつた調子で子供にとつてその父親は世界一に偉い人だし英雄である場合が多いのですが、かうした子供の心に對して父親はどんな態度を執るべきか、母親は、どんな役割を持つてゐるか、また子供にとつて同じく權威を持つた學校の先生の言葉と家でお父さんの言ふことが矛盾することはないか、日常茶飯の生活の中に子供の教育上重大な問題が澤山ころがつてゐます。子供の感受性は大きな花のやうに一杯に開いて兩親のどんな小さな動作言葉にも注意と觀察の眼を向けてゐます。これに就いて視學であり童話の小父さんである石森延男氏のお話し。

まづ母親第一主義
巧みに誘導すること

父親 が子供達と話をするのは夕飯の食卓に就いた時ですがこの時父親の方で自分の生活や世間にあつたことを、とやかくと話をするより子供の方から話を引き出して巧に誘導するやうにしたいものです。然し實際には宴會などの多い父親はさうした機會も少いので子供のいろ／＼な意味での常識を作つて行くのはどうしても母親です。母親のさうした問題に對する注意こそ重要でせう。

ゲー テの母親はゲーテ自身の回想によると晩寢る前に出鱈目な話ばかりして聞かせたさうですが、それがみな天文の話だつた。ゲーテはよく判らないので種々に躓り、筋を立てて聞いてゐたが、後成長してからも天文の事には大へん興味を持ち、さうした母親の話から大きな想像力を養成されたといつてゐます。母親といふものは多く父親より教養が少いので子供に嘘を敎へたりすることもありますが、これを聞いて父親が訂正すべきものか、どうか、私は母親のいつたことをその場で直したりしない方がよいと思ひます。子供の前ではあくまで母親に花を持たせておくのが本當でせう。

母親 の叱つた事を父親がほめたりするのも感心しません、子供には先づ母親第一です。父母の間の意見の相違は家庭の威嚴に對する觀念を動搖させるものです

ロイドがまだ有名でない町醫者をしてゐた頃、一人の少女が突然啞になつたといつて連れて來られ、どうしてもその原因が分らなかつたが、よく調べて見るとその子が小さい時、母親の背中に蛇が這つてゐるのを見て卒倒したことがある、その恐怖が後まで潛在してかうした病氣を起す誘因になつたと見てゐますが、とにかく子供は幼稚園に出る頃など殊に感受性が鋭敏で、その當時受けた恐怖とか歡喜とか驚きとかはその子の一生を支配するものです。

◆學校行事【十五日・水曜日】▲全校清潔日（下曖）▲全校遠足（聖德）▲國旗掲揚（日本橋南山麓）▲讀方研究教授（春日）▲校庭美化作業（靜浦）▲學級自治會（朝日）▲少年團指導（嶺前）▲市內各小學校々長會議（嶺前小學校にて）

仕立てる前 湯通し、ませう
洗濯しても狂はない

いよ／＼セルの時候です。どちらの家庭でもお仕立にかかることでせうが、セルは仕立てる前に一度湯通しをして置かねばなりません考へてゐられる家庭ではもう實行されてゐませうが、お氣附のない方へご注意までに。セルを湯通ししないで仕立てますと、後に洗濯をした時狂ひが來てどうにもならない場合が起ります

上質 のものならそれ程狂ひませんが、それでも身巾や丈がつまつてお困りの經驗がございませう、湯通しをすれば地質も柔かくなり汚點なども落ち易くなつてよいものです。これはわざ／＼湯のしに出さないでも家庭で極く簡單に出來ることです。霧吹きで充分に水を吹き、アイロンで丁寧にのばせるだけのばして置くだけでも結構ですが、少し手間をかけるとすれば次のやうに致します。先づ布が充分浸せる位の容器に微溫湯を入れ、一反につき約小匙一杯の鹽酸を混ぜ布を浸します。十分ばかりそのまま置きますが、布の中で液が酸を出してゐる所などがあるとあとでムラになりますからよく手で押へた上、輕い板などをのせて置きます

引上 げたら同じく微溫湯で二、三回よくすすぎ最後の水はグリスリンを四五滴たらして、その中でふり出し、絞らないで竿に乾かします。いくらか濕りのある中に取込んで熱目のアイロンで仕上げますが、アイロンは縦にかけないで横に巾通りにかけます。毛織物はアイロンがぬるいと利かず、熱いと焦げますから白金巾を當ておかけになることをお忘れにならないやう。

サロン 臭いお話 申譯がない

大連市民の日々の生活殘滓は市衛生課で結末して下さいますが、屎尿の方はまだよいとして塵芥一切は全く申譯ないと恐縮してゐると案外、この仕事にも面白い半面があるらしい。話の品が大分落ちるが洩れ承はる所によると、屎尿といつても、そこから出て來るものは、もとより屎尿ばかりではない、紙、綿、布、財布などとイロ／＼なものが入つてゐますが、その混入物が町の區劃と階級によつて違つて來る。裏から見た市民生活といふイタイ所を握つてゐるのが、この仕事、中でもゴムの袋など、どの邊が一番多いかと申せば、山手のN街ですなどと、あゝうつかり物は訊けません。

釣天狗秘帖 (一)

こんな時にはまだ待つてる前兆
大物である點に興味がある
太刀魚釣りの〝コツ〟

◆語る人◆
南滿工專教授 林 明先生
鷲尾弘圓先生

アカシヤの花の咲く頃と共に釣り天狗待望のシーズンが訪れて參りました、そこで市內におけるその道の大家を訪問して魚釣りの秘訣を訊いてみることにいたしました、勿論、釣りは魚の種類により、それ／＼に違つた〝コツ〟があるものです、まづ第一に太刀魚について……その〝コツ〟を訊ねてみることにしませう。

工專の先生方には釣りの好きな方が澤山おいでです。〝先生と魚釣り〟は漱石の〝坊ちゃん〟頃から相應しいものなのでせうか。食堂にお晝の時間を拜借して、まづ太刀魚の話を受持つて頂きます。

◇

太刀魚はアカシヤの花の咲くと共に釣れ始め、十月まで。但し眞夏は餘り食ひません。日出、日沒の二回、太陽と海との別離の頃、三十分から一時間までの間と定つたもので、眞暗になつて了ふと、もう駄目です。眞晝間も全然ダメです。場所は露西亞町防波堤外、老虎灘、傅家庄、黑石礁の沖合、傅家庄なら岸と島との中間の邊り（小魚を食ひに出るのですから、さうした場所を狙ひます）を糸が三十度に傾斜する程度で舟を流します。

◇

糸は麻糸、七番ぐらゐ、先は針金につけた長い鉤で、どうの餌または太刀魚の尻尾、はぜなどでも構ひません。太刀魚の尻尾は三四寸切つて行けば結構です。餌を刺したら細い針金でしばりつけ、尾を割つて眞直ぐに伸ばして投じます。上手も下手もありません糸を持つ手は絶えず前後にひいてゐると、まだ大分待つてゐる前兆です。どうかした拍子に不意に岩にかゝつたやうな感觸があつて、これをたぐると大きいのは一米位のが上つて來ます。水ぎはで首を攫まへ、引上げて二、三度舟端へ頭をぶつければノビてしまひます。太刀の齒は鋭いものですから、この時齒をやられぬ注意が必要です。

この魚は共喰ひをする魚ですから一尾上げて尻尾が喰はれたりしてゐると、しまふ事はありません。食つた鉤にひつかゝるといふより針の邊まで來てゐる時、絶えずゆるめたり引いたりしてゐるので、外からひつかける場合が多いので、頭など所嫌はずかゝつて來るものです。一時間位の間に大漁のときは三十尾ぐらゐで、さうなると持つて歸るのが大へんです。僅かの時間の間の釣りですから特に日曜でなくとも行けるところがよく、大物である點に興はありますが、釣りとしては面白いといふ方ではなく「玄人は仕方がないから太刀でも」といふ所です。

◇

持つて歸つても、この魚は餘り美味しくはないので近所へ貰つて頂くなるもの、刺身にするのが一番よく、燒いても上よいやうです（寫眞は太刀魚釣りの仕掛け、長い鉛から先は針金です。針の長さは約二寸）＝カツト（上）鷲尾先生（下）林先生

◆甘い良藥◆……お腹工合が惡くて下痢をするやうな場合には二寸角ぐらゐの分量の餅二切れを土鍋に入れ白砂糖を大匙に山盛一杯程加へ、お湯をひたひたに入れ是を弱い火にかけて氣永にごとごと煮てゐるとお餅の形がくづれて軟かくなります。それを茶碗に盛つて溫かいうちに頂きます。不思議に下痢がとまります。

智慧の輪

▲仙臺平……初め精巧平と稱へましたが、仙臺が本場なので、この名稱に變つたのです、昔は彌右衛門とも稱へましたが、それは伊達正宗の御用を承はつてゐた京都の呉服商岩井八兵衛が、同地西陣の織工小松彌右衛門に命じて織らせたので、この名稱が起つたと傳へられてゐます

お手の美容法 かうする事

手はその人の性格を現し、年齡を現すといはれます。顏の美容には氣をつけても、手脚を忘れてゐる人が案外多いものです。手の美容は常識として持つてゐなければなりません。ご注意までに申上げれば

▲手を洗つたら化粧水をすりこみながら乾かしていくこと（クリームはベト／＼しますし）
▲爪は鋏で切るとヒビが入るから爪ヤスリで形を整へること
▲小指の爪は絶對に伸さないこと（非衛生だし陳腐です）
▲爪には爪紅又は薄色のエナメルを塗り、赤いエナメルは特殊な職業の人以外は絶對に用ひないこと
▲エナメルはエナメルで落し後をアルコールで拭ふ、剝げた上に再び塗らないこと
▲マッサージは決して往復に行はないで心臟に近い方へ向つて輕くマッサージすること
▲入浴の際皮の柔くなつた時を利用してあま皮を爪で掻き寄せておくこと
▲就寢前に手を洗ひ、化粧水をすりこんでおくこと

滿洲國
國語制定の緊急【六】
[illegible]應徒

中國では讀書統一の必要からも民國に入りてより「注音字母」といふ簡易表音文字が作成せられ、一時は相當の努力で其の實行が計られたが、本來この「注音字母」は其編成極めて疎漏杜撰、到底實用に適せざるものであつて、今日に在つては殆ど死滅の運命に在る。今日尙之が教授に熱心なるかに見ゆるは、却て東京外國語學校教授及び滿鐵支那語先生の一部を中心とする日本人に留まるが如き、頗る滑稽なる狀態に在る。滿洲國における國語教育に際して其發音記法としては、宜しく歐洲一般に用ひらるる（近年トルコ國も大英斷により採用實施したる）ローマ字を應用して一段の工夫を加ふれば能く其目的に副ふであらうし、ローマ字は音の分解に適切なる音識文字であり、且つ其世界に實用さるゝこと廣きが爲め、新に之を採用するとして其習得にも、印刷等にも甚だ便利簡易である。筆者は滿洲國記音法としてローマ字の應用が採用さるべきことを主張し且つ必然に其期の到來することを信ずる者である。

漢字ローマ字記法が適切に工夫實用せられたとすれば、僅に三十字未滿のアルハベットの記法發音に習熟せば其後は之を以て未習の漢字をも自習すること容易なるは、日本の小學生が「ふりがな」によりて新聞雜誌を讀み、漸次に漢字の讀法を自習するの現狀に徵するも瞭らかなる事であるし、發音の統一も之によりて期せられ、漢語の教授も頗る容易となる。既設の如く今日外國人の支那語學習に於りてはトーマス・ウエード（威妥瑪）式を基本とするローマ字記法が廣く用ひられ居れども（日本に於ても然り——例へば未だに「注音字母」の採用に熱心なる人々の編纂に係る辭書類すら、ローマ字記法を主として用ひ居れり）國語教育の實際に當りては四聲表示の工夫を加へ（注音字母には其工夫無し）更に一層の簡易化を計るべきであると思ふ。（つゞく）

海外文學の
〝新動向〟展望
(三) ロシア 外村史郎氏

作家大會前後のソ聯文學情勢

ソウエート文學の新方針を決定した昨夏の作家大會は世界文學に報告した意味で歷史的意義があります、この大會の二年前、三二年四月にソウエート作家同盟中央委員會でラップ（ロシア・プロレタリア作家聯盟）解消の決議がされてゐます。三〇、三一年には第一次五ケ年計畫は完成を告げ、資本主義的要素の清算、富農の撲滅など階級鬪爭の形態も變化し、五ケ年計畫の成功と世界資本主義經濟の恐慌といふ對照的事實を認めた技術インテリ、學校教師などは新情勢に應じ、大衆的に轉向し、農民も農業の集團化、社會化により小所有者的氣持は次第に清算され、プロレタリアに接近し、ソウエート政權の支持に傾いて來、それに物資の缺乏と共に、文化方面も發展し、無學文盲もなくなり、文學運動は大衆の間に入り、工場、農村（集團農場、國營農場）トラクター・ステーションには文學細胞、演劇細胞が生れて來ました。

ラップの誤謬克服

中心的なラップは復興期、建設期における戰鬪的なブルジョア、小ブルジョアに向つてイデオロギー的鬪爭を進め、同伴者を自分の側にひきいれ、黨の方針を反映したのですが、ラップには組織上、理論上に缺陷があり、新情勢に應じきれなくなつたので、一九三二年四月の決議に基づいてラップを始め、その他の文學團體を解散し、高度の情勢に應じ得る新しい單一のソウエート作家同盟を組織するに至つたのです、十一月の組織委員會第一回總會數ケ月前スターリーがゴリキーを訪問し、作家代表の集まつた席上で、社會主義的リアリズムを創作スローガンとすべき意見を述べ、ラップの唯物辯證法的創作方法のスローガンの誤謬を指摘した、また組織委員會でもグロンスキーなどは社會主義的リアリズムの正しいことを強調してゐます、アウエルバッハ、エルミーロフ、キルシヨン等々の舊ラップ正統派がキルポーチン、グロンスキー及びその他のラップ反對の批評家及び作家から痛烈に批判され、リベヂンスキー、ファヂェーエフ、チュマンドリン等は勇敢に自己批判をしました、ラップによると世界觀と方法とは同一視され、プロレタリア世界觀を我がものにしてゐないものはプロレタリアに益する文學を生まないといつたのはプロレタリア文學との鬪爭スローガンとしては一面の眞理を含むものではあつたが、このセクト的な政治主義は唯物辯證法の通俗化であつて、こゝに批判さるべきものがあつたのです。

社會主義的リアリズム

社會主義的リアリズムは辯證法的唯物論のイデオロギーの特殊領域として文學への正しい適用ですソヴエートの新しい現實の生んだ新しい人間を描くには新しい創作方法によるべきであり、この新しい資本主義から解放された社會主義的人間の感情、思想、空想を完全に描き得る方法が社會主義的リアリズムなのです、さらに三四年二月第二回組織委員會總會ではドラマツルギーの任務が論じられ、その深い具體的な解釋がソヴエートのドラマに適應され、典形的な諸事情における典形的な諸性格の描寫を目指す所謂社會主義ドラマの創造の問題にまで立ち入つて論ぜられてゐます。

浪漫主義の問題

リアリズムとロマンテイシズムの問題ではラップはこの二つを截然と區別し、プロレタリア文學はリアリズムであるべきだといふ主張に對し社會主義的リアリズムはロマンテイシズムとリアリズムとを機械的に切離さず、この二つのもの、綜合的スタイルである點に過去の文學との大きな發展的差異を見出してゐるのです、レーニンもよきソシアリストは、よき空想家でなければならぬ、しかし、その空想は科學的に實現され得る空想であるといつてゐます、この赤色ロマンテイシズムの問題は批評の方面では、もう解決ずみで、ただ、それが具體的作品に如何に實現されるかゞ問題になつてゐるのです（續く）＝寫眞はスターリン＝

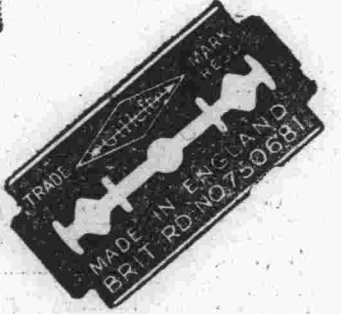
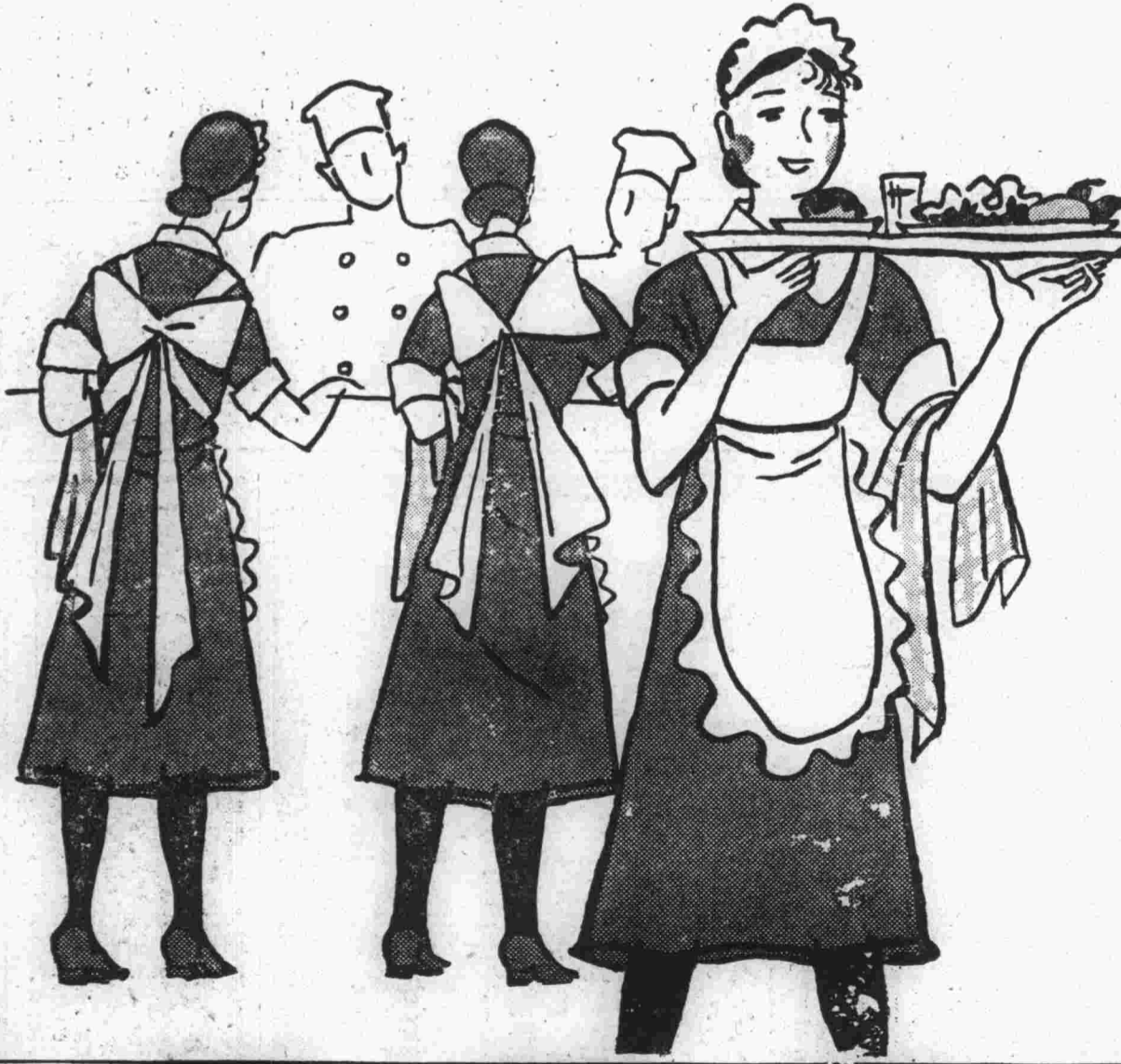
あふれこ
困つた人種だ

江戸時代から殘つてゐる講釋や落語で寄席なんかでも聞けなくなつてゐるもの——いはゞ講釋や落語の發賣禁止もの——を講釋師や落語家を自宅に招いて聞かう、と思ひついたのが大衆文壇の鬼才牧逸馬氏……去年十一月竣工したばかりの鎌倉の豪壯な邸宅これは工事にかゝる前に設計圖を一見に及んだ鎌倉町會議員久米正雄氏「牧逸馬は支那料理屋でもはじめる氣かも知れん」と感歎せしめた程だからそれがどんなに豪壯な邸宅だか想像出來るであらう——で、その第一回試驗會を催した、ところが、こんな耳寄な會だのに、招待狀を出した三十餘名のうち集まるもの僅かに五名、牧逸馬夫妻クサルまいことか「日本人なんて實にどうもしやうのない人種だ」＝寫眞は牧逸馬夫妻

ブックレヴュウ

滿洲國通貨問題の研究並に資料（滿洲經濟研究會）大連における銀問題の泰斗たる古田鹿三郎、西一雄、常深隆二、南郷龍音、奧本莊一、川島富丸諸氏の日滿通貨問題、鈔票制度、錢鈔取引所、特產と金融、金圓本位化論に對する論策を集めたもので滿洲國通貨問題の歸趨について世論囂々たる際だけに現地のエクスパートの意見として一讀に値する（大連愛宕町その會、實價五〇錢）

・・・世界と我等（五月號）東京丸ノ內日本國際協會、一〇錢
・・・作文（十二輯）大連薩摩町鳴東館青木方、二〇錢
・・・核心（五月號）東京小石川水道端直心道場內其社、三〇錢
・・・大タイムス（五月號）東京澁谷千駄ケ谷四大小タイムス出版所、二五錢

食慾が無く
消化のわるい衰弱患者に
肉類や卵を
食しても身につかぬ人に
呼吸器
の弱い人に
適切な……
補血滋養
強壯劑
BLOOD TONIC
POLYTAMIN
ポリタミン
ポリタミンは、極めて滋養豊富な蛋白質を人體内の消化作用と同じ方法により消化して得たる榮養源アミノ酸の綜合劑であつて、血液素、發育素、筋肉素、毛髪素、エネルギーの給源となるアミノ酸を豊富に含む。
從つて消化の必要なく、そのまゝ吸收せられて榮養となり、或は食慾をすゝめ或は新陳代謝を旺んにして抵抗力を强め、或は又ホルモンをつくる等獨特作用を發揮する。
これポリタミンが凡百の榮養劑中嘖々たる好評を博せる所以である。
小瓶(一圓五五)　中瓶(二圓五〇)
大瓶(四圓五〇)　全國藥店にあり
發賣元　株式會社武田長兵衛商店
關東代理店　東京　株式會社小西新兵衛商店　大阪市東區道修町
製造元　大阪　大五製藥株式會社
35—536(O)
一寸とした
ことがキズにな
る
惜しやあ
いつも歯
が黄ない
タバコのみの
歯磨スモカ
725
煙草化粧品藥店ニアリ
Gillette
KNOWN THE WORLD OVER
剃刄界の
最高標準!!
名實共に剃刄界随一の青ヂレット剃刄は、新型ヂレット剃刀器により切れ味益々冴え斯界の最高標準たる名に背かず!
青ヂレット
剃刄
舊型剃刀器にも完全に嵌ります
TRADE MARK REG.
MADE IN ENGLAND
BRIT. RD. NO. 750681
到る處の一流雜貨店・化粧品店・時計店・百貨店・消費組合にて販賣
ヂレット安全剃刀會社全滿洲代理店
大連私書函百二十二
育兒には
品質
賣行
共に
第一の
樂
桃
源
ラクトーゲン
無糖
粉乳
單に粉ミルクと稱しても其の品質は決して一樣ではありません　一封度二圓以上の高級品から七八十錢の安價品まで種々あります
ラクトーゲンは蓋し粉乳としての最高級品であることは今更申上げる迄もありませんが育兒用としても價格以上の價値を持つと云ふ事實は過去無數の實績に於て明示して居ります
NET WEIGHT 5lbs
LACTOGEN
NATURAL MILK FOOD
INFANTS AND INVALIDS
PREPARED IN AUSTRALIA
發賣元　大連市山縣通六七
乾卯商店大連支店
製造元　奉天浪速通三九
英瑞煉乳公司
進呈券
此の券切抜の上郵券拾五錢と共に左記何れかへ御送附の方にラクトーゲン見本罐・匙・育兒の本など差上げます
御姓名
御住所
品質純良・效力絶大
味の素
(登録商標)
家庭料理、料理店の料理、夫々の特徴はあつても、旨さはすべてこの調味から
宮内省御用達
味の素本舗
株式會社鈴木商店
5—A

花もはぢらふ—若き女性總動員

全市民の血をたぎらす一萬餘人の圓舞

絢爛五月祭 華かなプロ決まる

大連市役所主催 本社後援 オール女性のための〃五月祭〃は來る二十六日午前十時半から若葉薫る大連運動場において華やかに催されるが、回を重ねること茲に七回、大連隨一の名物として一回毎に盛大さを加へ、今回の參加團體は小學校十七、公學堂六、女學校五、市内婦人團體二十有餘の總計五十有餘に上りその數一萬人を突破するものと見られ、事實上大連の若き女性總動員の形で、花をあざむかんばかりの絢爛さは早くも全市民の血を沸かしてゐる、十三日午後關係各機關の代表者約百名が市役所講堂に參集協議した結果、當日の番組を左の如く決定、お馴染の荒川女史を舞踊講師とし社會館、近江町、沙河口、日之出町各家庭研究所において早速練習を始めることとなつた市當局ではポスターを電車内に掲げて宣傳に努める一方、參加各團體も出場者勸誘に努めるが、會員二十名以上の團體申込みに對しては無料で舞踊の講習をすることゝなつた

希望者は至急市役所學務課宛(電二三五一七)迄申込まれたい

五月祭プロ

(一)開會の挨拶 小川會長
(二)國旗掲揚 國歌合唱 全員
(三)メーポールダンス 聖德小學校
(四)五月まつり 小學校兒童
(五)迎春歌 公學堂兒童
(六)すみれ 小學校兒童
(七)吾等の悦び 公學堂兒童
(八)五月まつり 女學校全員
おやすみ晝食
(九)彌生ダンス 彌生會
(十)元祿踊 滿洲美婦人會
(十一)戰友(體育民謠)大同女子
(十二)五月まつり 一般婦人
(十三)旗は日の丸 女學校全體
(十四)さくら日本 一般婦人
(十五)行進 全員
(十六)國旗降納
(十七)閉會の詞 小川會長

學生にタカる 硬派不良を掃蕩

三人組の共犯更に一名を逮捕 犯行は別口と判る

修學旅行中の朝鮮新義州公立高等普通學校生徒李英俊(一七)裴龍書(一八)孫順斌(一九)崔春根(一七)李天徳(一七)の五名を襲つた被疑者二人組不良山居文吉(一八)池村菊藏(一七)上山藤雄(一七)は何れも三牧刑事に逮捕されたが取調べに從ひこれら三人の襲つたのは前記新義州公立高等普通學校の生徒でなく京城中學生二名を帝國館脇で九日午後八時半頃襲ひ所持金一圓二十五錢を脅迫強奪したこと及び乃木町十番地ノ三村上正一(一八)も共犯であることがわかつたので村上は十二日午後八時頃自宅に於て須目刑事に逮捕された、これによつて更に新義州公立高等普通學校生徒を襲つた不良は別に存在することが明瞭になつたので新たに捜査を開始する事になつた 最近この種の硬派不良が頻りに市内に跳梁し善良な學生を苦しめてゐるのでこの際徹底的な掃蕩を期すると大連署ではいきまいてゐる

初夏の女王誇らかに……

老虎灘寶塚酪農場の牡丹ひらく

明るい太陽と緑の薫風との漲る大ステージに絢を誇る女王——牡丹の季節に入つて來た、大連の新名所老虎灘寶塚酪農場自慢二十株の牡丹も二三日前から開き始め、今では五六十輪緋に紅に白に、紫に、色とり〴〵大きな花をつけてゐる滿開は十五六日頃で、二十日頃までは大丈夫もつとのこと、十九日の日曜日には市内から老虎灘まで杖をひいて牡丹を觀賞する風流人も多いことであらう

【寫眞】寶塚酪農場にて——きのふ寫す

醫學の日本 本場の獨逸人も受驗

【東京特電十三日發】日本の科學は最近歐米先進國を凌ぐまでに發達し、科學方面研究のため來朝する外人も少くないが十三日から帝大醫學部で開催された醫師試驗には醫學の本場のドイツ人を始め英國婦人、米國人の三外人が受驗生として姿を現し人々の目を惹いたウインナ大學の醫學部出身の英國婦人リーデイアムフイリー孃(二六)ベルリン醫科大學出身のドイツ人ジーグフリード・アルンスト・ウイツテンベルグ君(三一)米人ジヨンピー・ハーバート君三人である

老婦行方不明 ばいかるから

十二日午前十前出帆のばいかる丸内で三等船客鹿兒島縣取鹿米子市東倉吉町一九二市内西通七〇海陸運送業炭部蛭子商行山邊富吉氏方傭本カクノ(六二)が行方不明になつてゐるのを十三日早朝乘組員が發見、直に停船して附近一帶を捜査したが死體は發見されなかつた、右に就き山邊氏は

どうも覺悟の自殺らしいです、カクノは私の妻の姉で二十年來私方に同居し他家の手傳ひに行つて一千圓程金を殘したので昨年一寸國へ歸り、また來て昨日送つたばかりでしたが、一向そんな氣配は見えませんでした、遺書によると金を二百圓お寺その他へと詳細に書いてあり子供のないことなどから見て厭世の結果だと思ひます

宣撫工作と共に 空陸協力の大攻撃

赤木、光岡兩部隊が行動開始 三常樂の匪團を撃つ

【錦州特電十三日發】錦州省朝陽縣並に熱河省凌南縣境山嶽地帶における匪賊討伐中の松井〇隊主力は、その後附近村落を虱潰しに捜査すると共に極力宣撫工作中であるが一部赤木〇隊は山海關東北方八十キロ要路滿附近に三常樂の率ゆる約三百名の匪賊が出現したとの情報を得たので直に行動を開始し要路滿西方二十四キロの山中に追込み光岡〇〇〇隊の應援を得て十三日早朝より空陸協力の攻勢を開始した、目下盛んに戰鬪中

岩永部隊長 自から陣頭に立つ

【錦州特電十三日發】〇〇〇方面は最近匪賊の跳梁と逃亡軍匪の横行甚だしく治安保ち難き状態にあり、錦州〇〇〇〇〇隊はこれが討伐のため岩永部隊長自ら全軍を指揮し、市民多數の見送裡に十三日午後四時四十分發〇〇列車で意氣軒昂出發した

沙河口工場に 青年部

滿鐵社員會沙河口聯合會では四月十日鐵道部職制改正に伴ひ去る八日新會長の選擧を行つたが、前會長一宮章氏に代り新會長に滿鐵沙河口工場庶務長鈴木鷹信氏が當選同氏は就任と同時に同會の機構改革を志し同聯合會の下に職場分會を六部設け、一方同會に青年部と體育部を新設、青年部長に吉武正嗣氏、體育部長に森川善雄氏が夫々就任した

何聯合會の評議員として二十六名新に選擧されたが、これによつて從來より一段清新の氣風滿ちた聯合會となり特に青年部と體育部の新設は工場全會員より異常の期待を以て迎へられ今後の活動を注目されてゐる

犯人檢擧の手蔓に 必ず臨場寫眞撮影

全滿各署に内命飛ぶ

全滿洲の犯罪捜査の完璧を期する爲め關東局並に關東州廳では大鑑識制度を採用し、漸次文明警察として恥しからぬ設備の充實に努めつゝあるが、未だ犯罪捜査又は犯人の檢擧の上から

重要 缺くべからざる資料とされてゐる臨場寫眞に關する不備な點が發見され、關東局は警務部長名義で、關東州廳は警察部長の名義でそれ〴〵十二日附管下各警察署長宛臨場寫眞作成勵行に關する内命が發せられた、この問題は九年度全滿司法主任會議の席上研究事項となり、その際犯罪毎に臨場寫眞を作成するやう指示されたこともあるが、今日までこれが勵行を缺く嫌ひあり、これがため屢々犯罪捜査又は犯人檢擧に當つて遺憾の點を暴露して來た、よつて今回更に左の犯罪に際しては必ず寫眞を作成し、遅滯なく關東局管下は警務部、州廳管下は警察部宛に進達するやう

各地 警察署長宛に指令されたものである

現場寫眞を必要とする犯罪は強盜、殺人、傷害致死、放火、失火、交通通信機關に關する犯罪その他必要と認むる事件等であるが、更に同寫眞の活用範圍は犯罪捜査又は犯人檢擧の資料に止まらず、證據保全といふ點からも重要視されてゐるので、今後右犯罪發生に當つてはあらゆる意味から現場寫眞の作成勵行に一段の努力が拂はれるものと見られてゐる

空輸安全化

權威を集めて 事故防止の座談會

立松航空官の提唱で近く開催

日本空輸會社清水原係南氏の遭難が動機となり日本空輸はもとより航空關係各機關においては航空安全化の對策に腐心を重ねてゐるが、關東遞信局航空係では立松航空官の提唱により航空座談會を開催、關東遞信局當局をはじめ朝鮮總督府遞信局、日本空輸、滿洲國空輸等の航空關係者や新聞社通信社等の代表を招き航空事故防止對策から航空界振興策等に關し衆智を集めることゝなつた、開催地は大連に決定を見る模樣であるが時日に就いては目下朝鮮側遞信局關係者が上京中なのでその歸任を待つて打合せる筈である

痛ましき死體は 清水飛行士

昨深更悲しき歸宅

【安東電話】既報、大孤山南方六方里の莊河縣第六區楊家溝村の海岸に發見された首無し死體は遭難機の操縦士清水飛行士のものと判明した旨安東署に對して十三日午前一時頃報告あつたが、詳細調査に新義州より航空會社係員現地に赴き檢視の結果、服裝、所持品及び大……毎の松下飛行士の贈つたラグビーのメダルの止金のついたバンドをしめてゐた點から清水飛行士の死體に相違ないといふことになつた

十三日午後新義州飛行場の發島機によつて新義州に死體は持ち歸られ、三時半茶毘に附し午後十一時新義州發列車で十二日夜來新した德富京城出張所長、夫人れい子氏等に護られ京城の自宅に送られた

全滿洲官民の同情援助を謝す

日下知事より本社へ來狀

臺灣震災の中心地區たる臺中州日下知事から本社宛左の要旨の來狀があつた

今般當州下震災に就ては深大なる御心痛と多大の御同情を給はり且早速御鄭重なる御見舞を辱ふし感銘に不堪御芳情の段厚く御禮申上候災害の報傳へらるゝや畏くも 天聽に達し特に多額の御内帑を下し賜ひて救恤の資に充てしめ給ひ且侍從を御差遣遊ばされて災害地の實況を視察せしめ罹災民を慰問せしめ給ふ 皇恩の宏大無邊なる 罹災民は素より州下官民一同の眞に恐懼感泣の至りに不堪次第に有之候又中央政府諸官を始め海外各地内地各府縣、朝鮮及滿洲各地の官民各位より寄せられたる絶大なる御同情と御援助とは均しく感激に不堪ところに有之候當州下の震災は彰化市及大甲、豐原、東勢、大甲、彰化の五郡に亘り就中豐原、東勢、大甲の三郡は被害最も激甚にして全滅に瀕したる部落十五に達し全般の被害狀況は死者一、九六三人、重傷者一、五四九人、輕傷者五、八七九人、罹災者見込總數一四九、五〇〇人に及公共營造物の破壊一三六件、損害見積額五六六、九一三圓、民屋の破壊一四、二二一戸損害見積額家財を併せて九、〇七八、三〇〇圓に上るの慘狀を呈したる次第に有之之が救助救護に付ては直に關係職員を總動員し軍隊、各醫院青年團、保甲壯丁團等の協力を得て治安の維持、罹災者の收容治療、死傷者の收容急救護並秩序の回復に懸命努力致し罹災民は漸次家屋及生業の再建復舊に着手致し又傳染病其の他災後の餘殃全く無之狀況に有之候、而して今後の救護及復舊に就ては一視同仁の聖旨を奉體して監督官廳指導の下に管下官民協力内臺人一致して最善の努力を拂ひ以て 皇恩の萬一に酬い奉り併せて各方面の御同情御援助に應へ度期し居候

高飛が出來ず 市内に潛伏か

小崗子殺人犯人大搜索

既報、市内北崗子の滿人殺人事件は其の後被害者王姚氏(三)の前夫某を有力な容疑者として指名手配し小崗子署では徹宵各方面を捜査逮捕に努めてゐるが、犯人の足取りの詳細判明せず、十三日午前十時より同署刑事室で同署司法係全員が松本司法主任を中心に捜査打合せ會議を開き今後の捜査方法に就いて協議を遂げたが、現場に居合せ右腕を斬られた被害者王姚氏の妹姿蘭(一八)の目撃談が重要ヒントとなる以外有力な手掛りなく捜査方法は困難なる模樣であるが、犯人と目さるゝ某は目下失職の身で旅費もなく高飛びの虞はないことが判明、同署では十二日夜より十三日未明にかけて犯人某の友交關係を虱潰しに探索してゐる

場立滅茶苦茶

巡警と立會人 大喧嘩が因

【哈爾濱特電十三日發】巡警と立會人の喧嘩から取引所の場立が滅茶苦茶になつた珍ニユース——十三日朝九時半頃休日明け前場で喧噪を極めてゐた哈爾濱交易所場内に正陽警察署某巡警が平服の儘場内に立入つたので、場立會人が咎め身分を訊ねたところ横柄な態度で警察官を鼻にかけたゝめ立會人がいきり立ち、一人が巡警を毆つたのをきつかけに附和雷同した百餘の立會人が袋叩きにして終つた逃げ歸つた件の巡警は制服巡警二名を伴つて引返し、暴行立會人の引渡を要求したゝめ取引所は再び大混亂に陷り、これがため前場は勿論後場も立たなくなつた 島田副理事長は直に出頭事情説明諒解を求めたが何相當紛糾する模樣である

東京夏場所 四日目の續き

【東京十三日發國通】東京大角力四日目の勝負左の如し

星甲(上手投げ)國光
源氏山(寄り切り)出羽嶽
錦岩(卷き落し)常陽山
金湊(突き落し)三熊山

中入後

射水川(はたき込み)駒ノ里
九州山(はたき込み)大ノ浪
太刀岩(寄り倒し)伊達花
防長山(小手投げ)大八州
玉ノ海(寄り倒し)筑波嶺
瓊ノ浦(櫓投げ)錦華山
笠置山(寄り切り)土州山
和歌島(寄り倒し)磐石
出羽湊(拋り倒し)松前山
富ノ山(引き離し)番神山
海光山(上手投げ)綾昇
出羽花(寄り切り)能代潟
大潮(寄り倒し)大邱山
旭川(寄り切り)新海
高登(打ちやり)綾川
鏡岩(打ちやり)清水川
幡瀬川(送り出し)男女川
武藏山(叩き込み)巴潟
玉錦(寄り倒し)双葉山

◇打出し午後六時五十分

怪蘭船事件の控訴公判開く

【臺南十三日發國通】要塞地帶侵入の怪和蘭船ジユノー號船長の提起たる控訴公判は十三日臺灣地方法院で開廷、ジユノー號船長は軍規の機密を探るために入港したものでない旨を述べ次回は二十日開廷する旨を宣し閉廷した

けふのメモ

▼滿鐵病院長會議 午前九時より社員倶樂部
▼鐵道精神作興週間 卅一日まで
▼ホーリネス教會傳道會 午後一時同七時より二回播磨町教會

十三日午前十一時頃市外小平島の八百屋劉兆儉といふ男が沙河口署へ血相變へて飛びこんで來て〃家のニーヤが強盜にやられました〃と訴へて來た、鶴木司法主任以下刑事總出動でサイドカーに分乘し駈け付けて見たら何の事、とんだナンセンス劇、力のやり場に困つて刑事連苦笑の引揚げ……。

……◇……

事情はかうだ、劉の傭人野菜運搬夫陶作君(三四)が馬車に乘つて八百屋物を運搬中、ポカ〳〵と照りつける太陽に思はず午睡の夢を貪つた、ところが居眠りがすぎて黑石礁と星ケ浦水明莊との間のコンクリートの道路に顛落し、頭をいやと云ふ程打ちつけ出血と共に腦震盪を起して頭が變になり、ふら〳〵歩いてそれでも感心に家へだけは歸つた

……◇……

ところが、主人はニーヤの陶が身から而も頭からした〃か血を出してゐるので〃サテハ強盜!〃と早合點して訴へ出たもの——滿人の大袈裟な訴へとわかり拍子ぬけの態。

異人劍法（82）

伊東行男
金子清之介畫

ながれ（その五）

ありとあらゆる力をふりしぼつて、壁の上に倒れたのが、初音の最後の努力だつた。そして、最後の希望だつた。
初音は新九郎のアッといふ聲を聞くと、
（あゝやつぱり想ひはとゞいたか）
と泣き崩れたいほどの喜びにふるへて、なほも全身を耳にした。
（新九郎さまが何と云ふか、今にもこの襖を蹴破つてくれるか）
と、涙に濡れた頬を壁にこすりつけて、息をのんで、初音は新九郎の次の言葉を待つてゐた。
だが、その瞬間に聞えたものは
「なアに何でもございません」
と打消して、笑ひにまぎらす岩太郎の聲であつた。
「いや、誰か倒れたやうな音がしたが……」
「あはゝゝ、また小市でも居睡りをしてゐやアがるんでござんせう　だらしなく幹つばらやアがつて、のんきな野郎だ。おうい小市つ」
襖に向つて、岩太郎が叫んだ。
初音はあふれこぼれてくる口惜し涙を、拭ふ事すら出來ないのである。
「小市つ、先生がおたちになるんだい、加減に起きて來ねえかつ」
「いや、それなれば……」
と新九郎も笑つて、
「勘太、參らうか」
いきなり初音は奈落へつき落された感じがした。目の前が眞暗になつてしまつた。
女の身の一人旅に、屈辱を忍び辛酸をなめ、やつと尋ねる人にめぐりあつて、やれ嬉しやと思ふ間もなく、またたちまち東西に別れねばならぬのだ。
同じ屋根の下にあり乍ら、たつた襖一重の障碍で、それとも知らず尋ねる人は、再び行方定めぬ遠い旅に出て行つてしまふのだ。
（此處まで來て、此處まで來て）
と初音はあまりのはがゆさに、縛めの苦痛も忘れて、のたうち廻つて、神を怨み、おのれの運命のつたなさを呪ふのだつた。だが壁に押しつけた初音の耳には、新九郎を送り出す人々の聲音が、入亂れて冷酷なひゞきを傳へてくるのであつた。
身も世もあらぬ悲しみとはこの事か。
（待つて、待つて、新九郎さま……）
いく度となく、壁に頭を打ちつけて、初音は叫んだが、新九郎の跫音は遠のいて行つた。
（あゝ駄目か）
もしやといふ空頼みも煙と消え、希望の綱はプッツリと斷たれてしまつた。
そしてそのまゝ、倒れたまゝ、初音は氣が遠くなつて行つたのである。
………
「雨がやんだと思つたら、いつの間にか、すつかり星空になつてしまやアがつた」
「うむ」
と新九郎も勘太の眼を追つて、港の夜空を仰ぎ見たが、心は何故か重苦しく沈んでゐた。送り出された大浦の家に、不思議に心殘りをおぼえるのだつた。
「あつ、流れ星！」
思はず新九郎は立止つた。空に流れた一閃は、さながら凶兆のやうに、新九郎の胸中に、一抹の不安をしたゝらせた。不安は濡れ紙に墨を一滴落したやうに、にじみひろがつてくるのであつた
だが新九郎は、うつむいて腕をくみ、默々と勘太について歩き出した。

滿洲日報 夕刊
發行人 本村武盛
編輯人 橋本喜代治
印刷人 南里順生
大連市東公園町三十一番地 發行所 株式會社滿洲日報社

對支政策に關する陸軍の根本方針開陳

參謀本部喜多大佐外務省訪問

各方面から注目さる

【東京特電十二日發】駐支公使館の大使館昇格に關する廣田外相の措置はこれを外交上より見る時は從來の對支外交に於ける慣例ともいふべき協議主義を打破し獨自の果敢なる自主的外交を如實に示したものと見られるが他方大使館昇格の時期の適否及びこれが決定に至るまでの國内的措置に關して陸軍側殊に統帥部方面では全面的反對を表明した、只既に對外的に通告濟みでこれを阻止する事は殆ど不可能となつてゐるので、此際は單に反對の意思表示に止め暫く外務當局のなす處を注視する事となつた、即ち軍部の意向は國民政府今回の轉向は一時的擬態にして事實排日の撤廢を見るまでは絶對に信頼出來ない、斯かる時期に我より進んで握手を求むるが如きは國民政府をしてその徹底的轉向を中途に放棄せしめ徒らに我の甘きに乘ぜしむるものであるといふにあり、十一日參謀本部支那課長喜多誠一大佐は外務省に桑島東亞局長を訪ひ、右の要旨に基き對支政策に關する陸軍側の根本方針を説明したが、此對支方針に關する外務、陸軍の根本的相違は要するに支那の情勢殊に南京政府に對する認識の相違に基因するもので各方面の異常な關心を呼んでゐる

支那を過信するもの

外務當局最近の對支態度に陸軍側の抱く不滿

【東京特電十二日發】廣田外相は飽くまで對支和協方針を堅持し所謂支那の對日態度轉換を信頼して日支諸懸案の外交解決を期しこれが第一歩として近く駐支公使館を大使館に昇格する外更に進んで日支直接外交々渉の第一着手として支那の滿洲國承認問題を提議すること丶なつたが、廣田外相のかくの如き支那の態度に對する

信頼 にはわが國の一部殊に軍部方面に多大の異論あり、殊に公使館を今直に昇格せんとすることに對しても反對的意向を有し更に廣田外相が日支直接交渉の第一着手として滿洲國の承認問題を提議せんとするに對してはその時期及び方法において贊成し得ざるものとしてゐる模樣である、即ち軍部當局の見解を要約すれば

一、支那が對日轉向を圖つたといふもその動機には不純なるものあつて眞に永久に日支兩國の親善關係を維持し行く誠意を有するものにあらず、しかも轉向をはかつたとはいへ事實の上において之を立證し得べき何物もなく我國としては今後支那側の態度をなほ靜觀すべき必要がある

二、從つてわが駐支公使館を大使館に昇格することは本來からいへば對支外交機關の擴大に過ぎず敢て問題とする性質のものではないがこれを別の觀點から見れば支那は豫ねて列國との間に大使交換を希望してをりこの際わが公使館を大使館に昇格することは一方からすれば一つの對支給附を意味するものでわが國としては支那側の誠意を見極めた上愼重に考慮すべきものである

三、殊に對支外交の第一着手として滿洲國の承認問題を提議するが如きも支那側の態度を事實以上に過信した結果と見ざるを得ないものであり素より滿洲國の獨立は今や既成の事實であつて支那としても早晩これを承認せざるを得ないものではあるが今日これを提議する必要なく、殊に支那をして滿洲國を承認せしめるためにわが方より何等かの交換條件を供與するが如きことあらば斷じてこれを排擊せざるを得ない、當然到來すべき支那の滿洲國承認の時期を待つより外わが方として何等の態度に出る必要なし

といふにあるもの丶如くである、よつて廣田外相としても公使館の昇格を實現し更に對支外交工作の第一着手として滿洲國承認問題を

提議 し若し支那側が承認問題を拒絶するが如き結果を見たる場合においては相當重大なる苦境に陷ること必然であるので外相としてはこれら國内の有力なる反對を押切つて滿洲國承認問題を提議する以上大なる決意をもつもの丶如く支那側が承認を拒絶した場合、わが對支工作は重大なる轉換をみるの外なきこと丶なるべく成行きは頗る注目されてゐる

加州排日案の握潰し

政府の壓迫から

【サクラメント十一日發國通】カルフオルニヤ州上院委員會は去る九日夜日本人漁區締出しを目的とした外人漁撈禁止案を握り潰す事に決定したがその後の情報によれば本案が握り潰しに決定したのは國務省及び海軍省の强硬な態度が與つて力があつたことが判明した尙ほこの案と同じ目的で提出された他の排日法案も之れを機として同じ運命に葬られるのではないかと見られるに至つた

拓務省の南洋開發策いよ〳〵具體化

大綱案携へ林長官歸任

【東京十二日發國通】拓務省では南洋方面開發のため曩に南洋群島開發委員會を設置し拓務省のほか海軍、外務の兩省、民間側關係者及滯京中の林南洋長官を交へ南洋開發に關する大綱方針を打合せ此程漸く拓殖、水產、交通、通信及金融の五項の具體案を完成したので愈々各方面に亘る南洋開發に乘出す事となり、十二日午前十一時橫濱出帆の近江丸で歸任した林南洋長官は右大綱案を携行現地に歸任の上實施に就て調査研究を遂げ速かに其實現を圖る事となつた

動搖する歐洲政局

佛、伊空軍同盟大體に於て成立か

來る六月から定期航空路開設

【ローマ十一日發國通】九日飛行機でローマに乘り込んだデナン佛航空相は九日イタリーの航空次官と會見、次いでオースタリーとの會談を終つて急遽引返して來たムツソリーニ首相とも會見して兩國空軍同盟につき

互に 忌憚なき意見交換を遂げたが、この會談において佛、伊相互空軍援助條約は大體において成立を見たものと信ぜられ西ヨーロッパの空の安全に將來大きな役割を演ずるものと見られて居る而して確聞する所に依ればこの條約の内容は兩國何れかの一方が第三國から空襲を受けた場合は他の一方は即時空軍を總動員して之れを援助する外兩國は軍用機の設計數目、情報の交換は素より

將來 の航空計畫に就いても互に出來得る限り相互に協力する事とし、更に兩國間における商業航空路の開拓に關しても協議を重ねた結果六月一日より大體において定期航空路を開設する事になつた模樣でこれにより兩國間は僅かに八時間で結ばる丶事になつた

バルカン協約四國會議

新展開を見ず

【ブカレスト十一日發國通】中歐政局安定の鍵を握るバルカン協約四國會議第二日は十日に引續きトルコ、アラス外相、ギリシヤ、マキシモス外相、ユーゴースラヴイヤ、エフテイチ首相、ルーマニア、チチユレスコ外相の各國代表出席開會された、第二日の會議内容左の如し

一、ブルガリア、ハンガリー兩國再軍備問題 ブルガリア及ハンガリー兩國の再軍備は原則として容認する、但し右兩國が其隣接國たるユーゴースラヴイヤ、ルーマニア、トルコ、チエツコスロバキア、ギリシヤの諸國との間に不可侵條約を締結し相互援助を誓約する事を條件とす

一、ハプスブルグ王家復辟問題 オーストリアに於けるハプスブルグ王家復辟はバルカン政局現狀維持の立場からすれば好ましからざる事態を惹起する恐れありとして絶對反對なる旨再確認した

一、ダーダネルス海峽武裝問題 トルコ代表は極力説得に努めたが同問題はローザンヌ會議に遡つて討議する必要あり、バルカン協約國間のみで決定すべきものでないと云ふに意見の一致を見、何等新展開を見なかつた

伊國苦境に陷らん

エチオピア政府紛爭問題を聯盟理事會に提出

【東京特電十二日發】エチオピア、イタリー間の國境紛爭はその後益々惡化し兩國とも國境線に續々大軍を集中しつ丶あり

事態は 極度に憂慮されるに至つたがエチオピア政府は右紛爭問題を來る二十日の國際聯盟理事會に提案することに決定したと傳へられる、エチオピア政府は今次紛爭問題の聯盟提出に際して最後の切札を持ち出すものとみられる、即ち一九二三年エチオピアが國際聯盟に加入を申込んだ際聯盟の要求により同國の國境を明確ならしめた地圖を提出しその後聯盟より選ばれた委員により

實地に 調査された結果右國境は聯盟によつて確認されたので當時の聯盟より選ばれた委員のうちにはイタリー代表も參加してゐたのみならず右確認された地圖によれば今次紛爭の中心となつてゐる地帶は明らかにエチオピア領となつてゐるものでエチオピアの聯盟提出によつてイタリーは相當苦境に立つにいたるものとみられてゐる

エチオピア政府イタリーに挑戰

伊領事襲擊犯人を釋放

【アヂスアベバ十二日發國通】エチオピヤ政府は十一日に至り突如昨年十一月コンダラ駐劄イタリー領事襲擊の廉で逮捕中の土人犯人を釋放した、エチオピヤ政府が此の重大犯人を釋放した事はイタリー政府の體面を無視するもので公然イタリーに對する挑戰の意思を表明する證左と見られてゐる、イタリー政府の出方如何によつては急轉直下兩國々交の險惡化を豫想さる丶に至つた

小林侍從武官新京へ

【哈爾濱十二日發國通】畏き邊りより御差遣の小林侍從武官は哈爾濱日本海軍防備隊將兵を慰問、江防艦隊を視察して十二日午前十時發旅客機で新京に向つた

太平洋演習

移動勢力の眞價 興味を以て檢討せよ

米國海軍の大演習は、今や布哇からミツドウエー並にアリユーシヤン群島を含む西北太平洋に亘り、日本を距る二千哩の地點にまで及ぶ範圍で行はれやうとしてゐる日本では相當神經を尖らせて居る者が多く、中には斯の如き大規模の海軍大演習は、畢竟日本攻略を對象とする渡洋作戰演習で、或る意味からいへば日本を威嚇せんとするものと憤慨するものがある、これは無理からぬことで米國内にも此演習に反對の議論を唱へる者も少くない、現に過般米國下院議員某氏は日本國民を刺戟するやうな今回の演習は言語道斷であるといひ、また最近非戰論者として知らる丶上院議員ナイ氏は、この演習に反對の意を仄かし、米國民の九割九分まで米國海軍の渡洋作戰に反對であると斷言して居るさうだ果して米國民の九割九分が渡洋作戰に反對であるか否かは判らない何れにせよ米國内にもかうした議論がある所から見て、米國海軍の今回の演習が現在の日米關係から見て、とにかく時宜に適したものでないことは論ずるまでもない、といつて日本國民としてはこの演習を以て我國を威嚇せんとするものであるとして、徒らに神經を苛立てる必要は毛頭ないと考へる、即ち、これは米國の一海軍演習に過ぎないと思へば何の事もないわけだ、實際こんなことで、徒らに神經を苛々させることは恰も日本に國防上の缺陷でもあつて、米國海軍の渡洋作戰を恐怖するかの如き感を與へる嫌があるではないか

◇ ◇

想ふに現在の日本の海上國防や海軍々人精神から見て日本は決して米國海軍のこの大演習を見て徒らに疑心暗鬼を描くが如き必要のないことは斷言して憚らない、如何にも日本の眼前で渡洋作戰演習を敢行するが如きことは、國交上決して面白い事ではないが、何もこれが米國が急に戰艦十隻を增加建造するとか何とかいふ問題ではなく、現にその保持する艦艇を以て太平洋上で演習を試みるのは米國の御勝手次第で寧ろ日本國民はこの際極めて冷靜に、その經過を注意する方が得策でもあり、且つまた興味もあらうといふものである

◇ ◇

元來海上國防は相對的なもので假想敵國を持つて居ないものは無い、彼の英國が二國標準主義と稱するのも、畢竟佛、伊兩國海軍の併合勢力を想定してゐる、米國は日本を想定敵國と認めて、其海上國防をやつて居ることは、明々白々の事實であるから、其演習が日本に對する渡洋作戰を基礎として計畫されたからといつて、何の不思議も無い、日本も亦、米國の海軍力を基準にして國防の充實を計つて居る、斯くいへば、或は説を爲す者は、今日の國際情勢上、苟くも攻擊的國防を計畫するが如きことは時代逆行で、世界平和の上からも、消極的防禦的國防計畫を基準とすべき時代である、從つて假令演習とはいへ、米國が此際渡洋作戰を目的とする大演習を試みるが如きことは怪しからんといふかも知れない、けれども、凡そ戰爭は、攻める者があつて始めて守るものがある譯で、攻める者が無ければ防ぐべき者の有らう筈は無い

國防問題について、よく攻勢的國防とか、防禦的國防とかいふが、其間に判然たる區別を劃し得るや否や甚だ疑問である。否不可能であるといへやうこれが日米兩國の如く、太洋を距て丶遠く相對峙する間柄では或は多少考慮の餘地は有るとしても、今日攻め得ない勢力といふものが有らうとは思へない、日本の海上國防は所謂消極的國防に專念する、だからといつて萬一日米戰爭の際、全然攻めて行かないとはいへない、時機によつては攻めることが有るかも知らない米國でも其場合を恐れて居るからこそ、日本では考へ及ばない程ハワイや本國沿岸や、パナマ運河の防禦設備に努力して居るではないか

◇ ◇

日米の如き地理的關係に在つてすら尙は且つ然り、況んや英佛若くは佛伊の如く、隣接したる國家間に於ては、極端にいへば、軍艦一隻でも、攻勢的國防でもあり防禦的國防でもあると云へるかも知れない、だから一概に、攻むるに足らず守るに足る勢力と觀軍に云ふが、果して其樣なものが有るのだらうか、若しまた、攻むるに難く守るに易き勢力と云ふのならそれは有り得る勢力だ、それは即ち均等或は均衡勢力である、即ち吾々は如何なる場合にたても、海軍は移動勢力であると云ふことを念頭に置いて考へなくてはならない、米國海軍の全勢力が大西洋から太平洋に移動された時、日本國民の一部が反對論を唱へたのも、形式的に見た反對論なら格別、若し左樣でなかつたら海軍が移動勢力であることを忘れた愚論に他ならない

◇ ◇

以上の理由に依つて私は、米國が對日渡洋作戰の大演習を行つたからと云つて、敢て騷ぐ必要もなく又恐れる必要は何更ないと考へる、或は奇言に類するかも知れぬが、寧ろ此演習を一種の興味を以て觀察せんとする。私は敢て日米戰爭を希ふ者ではなく、日米の親交を希ふ者であるが、萬一日米戰爭が起つたと想像すれば、日本に取つては、即戰即決が最も得策である。若し米國が攻めて來ず、日本も攻めて行かないとすれば、よしお互に潜水艦の襲擊位はやるにしても、徹底的に雌雄を決する戰鬪がなく、徒らに持久戰に入る所が幸ひ米國が攻めて來てくれ丶ば日本の思ふ壺である、勿論戰鬪は神ならぬ身の豫斷は許さないとしても、現在の米國海軍勢力を以てして、對日渡洋作戰をなすことは、一大危險を冒さなくては出來ない仕事である。その一大危險とは往年日露戰役に際して、露國が第二太平洋艦隊を遠航せしめて、アノ始末になつた例である。だから今日米國海軍が、北、西太平洋に亘つて對日渡洋作戰演習をするといふことは、たとひ其の全貌は窺へないにしても、軍事家が注意すれば、其の效果の片鱗位は察知することが出來るであらう

◇ ◇

これが私の所謂、今回の米國海軍の大演習を興味を以て、注視すると稱する所以で態々巨額の費用を使つて、左樣した見本を示してくれる米國に感謝してよいかも知れない、だが私の考へる所では、米國が果して實戰の場合今回の演習のやうに、對日渡洋作戰をやるか否か、米國海軍にも相當智者も少なくないであらうから、其の點甚だ疑問とせざるを得ないのである

◇ ◇

前述の米國の上院議員ナイ氏が唱へた如く、米國民の九割九分までが渡洋作戰には反對で、從つて無駄な費用を使つて、徒らに日本國民を刺戟するやうな演習に反對であるやうな意見を漏らした事もそう云ふ點から考察すれば、ナルほども肯かれるのである。何れにせよ、日本國民は今回の米國海軍の大演習の如きは毛頭苦慮するには當らない、若しそんな事に苦慮する餘裕があるならば、それだけのエネルギーを我が海上國防の充實に振替へる方がドレだけ效果的であるか解らないことを私は茲に斷言する(森山達氏)

波蘭は氣乘薄

【ワルソー十一日發國通】ラヴアル佛外相のワルソー訪問が果してその目的を遂したか否かは非常な疑問であるとの見解が有力である事が問題となつて居る、從つて佛露相互援助條約獨波不可侵條約によつて全く對立的關係に立つに至つた佛波關係が何の程度迄調整されたか、一九二一年の佛波兩國同盟條約締結當時の親善關係に引戻し得たかが問題になつて居るが要するに波蘭は依然として同國獨自の立場を固持しラヴアル外相一流の平和工作に對し依然氣乘り薄であつた事は明かであると言はれてゐる

ラ外相暗殺計畫

【ワルソー十一日發國通】ワルソー警察當局は十日夜フランスの秘密警察よりラヴアル外相暗殺計畫に關する通牒を受けたためワルソー全市に亘り遽に嚴重な警戒網が張られ當局は犯人捕縛のため大捜査を開始した

人事

▲太田知庸氏(前營口領事)十二日午後六時半大連着あじあで來連ヤマトホテルへ
▲清水幸次氏(朝鮮總督府鐵道局工務課長)同上來連
▲綱本淺吉氏(奉天關東倉庫長)同上
▲橋本傳左衞門氏(京大農學部長農學博士)同上
▲住江金之氏(東京農大教授農學博士)同上
▲藪田康明氏(學徒至誠會常任委員陸軍砲兵少佐)同上
▲原田熊吉大佐(關東軍參謀)十二日午後八時大連發列車で歸任
▲許汝棻氏(滿洲國文教部次長)同上
▲王光烈氏(大同報社長)同上
▲張書翰氏(吉林省公署教育廳長)同上

大觀小觀

佛ソ相互援助條約といふのはポーランドを挾擊するのが目的であつたらしい▲一方イタリーは誰憚からず大軍を動かして弱小國エチオピアを蹂躙らうとしてゐる▲大國同士が衝突する前は先づ小國を片づけて小手調べをするか▲滿洲國を承認せよと南京政府に向つて眞向から提議するとの説がある▲如何にも事實問題として何んなものか▲相手は一筋繩で行かぬ代物だ、外務當局が如何に決意を示してもそれだけそこちらの注文通り運ぶものと想像されない▲公使を大使に昇格しただけで效果があると見るのは聊か甘すぎる▲承認は自發的に行ふべきもの、之を自發的に承認せしめることが何よりも必要である▲既往外交も此の點に一段の考慮が要求される。

愛戀十字街 (67)

淺原六朗 作
橋本八百二 繪

青春の人生 (五)

「君はいかん、態度がぐら〳〵してて」

森にしては珍しく、聲もはげしくいふと、街子はかつとなつて、茶碗をテエブルの上に音をたて丶置いた。

「あたしの何處がいけないと仰言るの。あたしの態度はいつも同じよ」

「ちがふ。現にさつきと青柳君の前とではちがふぢやないか」

「よして頂戴、あたしにも自尊心があつてよ。失禮な」

少し顏に蒼みを帶ばせ、唇のあたりを痙攣さした街子は、やがて冷嘲的に、

「伸吉さん、最近あなたは馬鹿に昂奮するのね、明子さんのことをいふと」

「街子、人を侮辱すると承知しないぞ」

「侮辱してゐるんぢやないわ。あたしの觀察した事實を、ありのまに云つてゐるだけよ」

「まア、街子さん、やめたらどう?僕の處に起つた火で、あんた方が燒かれてゐるたんぢや、滑稽ですよ」

「わかるわ。ほんとに滑稽なのよ」

女らしい機敏で、街子はすぐと青柳の側の岸に轉した。そして森一人を犯人のやうな位置にするあたので、森は昂奮がさめると全く憂鬱になり、默つてしまつた。

街子は森を置いてけぼりに、青柳と、明子のことについて話しだした。青柳は最近の明子の動靜はまつたく知らないと改めてつげながら、明子の家の事情などを、街子にたづねた。街子は、青柳の忠實な秘書ででもあるかのやうに、明子の家の事情を語り、明子の母親が、むしろ憎しみを明子にもちだしてゐるらしいことまで話した

青柳はそれにうなづき、

「やつぱり、行家さんには家出するだけのいろいろな事情があつたんですね」

「さうなのよ。今時、娘を自分の家の犧牲にする。そんな話つてないでしよ。だけど明さんも少し變だと想ふわ」

「どんなことが?」

青柳は興味あり氣に街子の顏をながめた。青柳にながめられると街子は柄になく羞恥的な表情をしめしながら、

「あの女には、學校時代から妙に片意地のところがあつたのよ。この頃、さらに激しくなつたやうな氣がするわ。それがお母アさんと合はなかつたんぢやない?」

街子は青柳と話しながら、青柳の白々しい態度の裏に、ありありと明子が今どこにゐるかを知つてゐる青柳が感ぜられてきた。しかもそれと知りながら、青柳の前にゐると、青柳に媚び、青柳の歡心を損じまいとして、森と喧嘩までしなければならない自分を不思議に想つた。青柳さんにとつて、あたしは明さんほどの價値の女ぢやないと考へられたからである。

森は、街子の冷嘲をあび、衝きあがるやうな憤りで、拳までテエブルの下でかためたが、まさか街子を怒りにまかせて撲るわけにも行かなかつた。

街子は、あきらかに森に勝つたことを知ると、更に冷嘲的になり

「伸吉さん、あたし忠告するわ。他人の……」

と云ひはじめたとき、今まで默つて、二人の昂奮した口喧嘩をきいてゐた青柳が、

天津の暗殺事件に支那官憲が潛在

日支親善に一大障害として

高橋武官日本側の意を嚴達

【北平十二日發國通】天津日本租界に行はれた國民新報社長胡歐榮並びに聯銀社長白堯相兩氏暗殺事件に對し、日本側は事件發生以來不氣味な沈默を續け專ら

犯人 の背後關係につき探査中の所、愈々其の全貌が明らかとなつた、今回の事件は中央の對日二重政策即ち表面親善を高調しつゝ反面親日行動を抑止せんとする術策を暴露したもので、白胡兩氏暗殺犯人は蔣介石直系の藍衣社員なること及び犯人の背後には支那官憲が潛在し犯行に多額の費用と人員を動員した計畫的行爲なることは動かすべからざる事實となつた

右に對し日本側は支那官憲の操縱するテロ團が日本行政區內に於て親日支那人を非合法手段に訴へるが如きは帝國の威信を無視し、又日支提携氣運の釀成せられつゝある際かゝるテロ行動は徒らに日支間の衝に當る支那人に恐怖心を起さしめ延いては日支親善乃至は經濟提携工作に

障害 を與へるものとして重大視し、日支關係調整上の見地より暗殺團の黑幕を徹底的に糾明し、事件の眞相を摑み次第從來の微溫的態度を捨てゝ之が根絕に斷乎たる手段を講ずべく重大決意を固めてゐるが

高橋駐平武官は本日午後二時居仁堂に軍事分會委員長何應欽氏を訪ひ非公式に今回の事件は支那官邊の使嗾によるは明白である故に我方としても單なる暗殺事件として看過し難い、貴下も此の點御承知ありたいと日本側の意のある所を嚴達した

淡水港沖に怪汽船

發動機船襲はる

【臺北十二日發國通】淡水港在籍…

多數ある見込みで司法係では引續き取調中である

美し・乙女の純情

本紙の夕刊を呼び賣りして 臺灣震災の義捐金に當てる

大連女子專修の三孃

過般未曾有の激震に襲はれた臺灣地方の罹災者に同情して女心の純情と燃える如き同胞愛から義捐金を贈るべく立上つた三人の少女がある

大連女子專修學校一年生坂上貞子、阿部富士子、新名千鶴子の三孃は本紙夕刊の呼賣を一ヶ月續けてその賣上を罹災者義捐に當てたいと申出で十三日附夕刊より實行することになつたが、この學業の傍ら爲される尊い行爲は一般から感激されてゐる

州外野球界に一大改革か

州外野球聯盟の改組案をけふの總會に提案

【新京電話】州外野球聯盟本年度總會は十三日撫順に於て開かれるが今回の總會では新加入チーム鞍山、全四平街の參加が決定せられる外全新京チーム代表から同聯盟の改組案が提案される筈で州外野球界の一大改革を齎すものとして注目されてゐる

即ちこの州外聯盟は關東州以外の附屬地チームを以て組織されてゐるが、近年滿洲野球界の情勢も大いに變化し、斯界の發展を期するには全滿を打つて一丸とした聯盟を組織して大會を開くべきであるとの意見が漸次擡頭するに至つたが爲で、この改組が決定すれば本大會は全…

王永江碑前に偲ぶ日露戰 本社主催の戰蹟見學團一行

匪首九勝

吉林で捕縛さる

馬賊の片割れ

新京城內で捕はる

新記錄出づ

州外陸上競技大會

新京競馬延期

戰評……伊丹安廣

早軍の理想的打法

立教の連勝は當然

慶立戰

早明戰

ナイラは何處へ

日本青年と戀愛逃避行した トルコ生れの美少女

オール新京チームと電業の合體を要望

全國都市對抗野球戰を控へ 國都の强チーム策

射擊會

春日池畔で擧行

全滿劍道大會

潛在畫伯を丁大臣が招待

三A―1 大連滿倶勝つ

對全奉天野球

ラッキーボール大會

七日目の成績

奉天對營口 ラグビー戰中止

旅順工大軍に三年制覇の凱歌

第三回學生柔道大會

東京夏場所 三日目勝負

一中勝つ

對滿鐵工場戰

工場勝つ

對大商ラグビー

10―5

消費組合對電々工事ラグビー戰中止

親鸞聖人 (209)

女人篇　吉川英治作　山村耕花畫

霧の扉（四）

「姫をつれて、どうか降つてください」

自分を石の如くして、範宴はさう云ふよりほかなかつた。惱むよりほかになかつた。充分に、自己の罪と責は感じながらもである。

併し高野は、姫をうしろに置いて、容易にそれに從はうとはしなかつた。

「きつとさう仰しやることと前から存じては居りました。けれど、姫さまのお可傷らしいお覺悟をどういたしませう。姫さまはもう心の底に、默つて、死をも誓つてゐらつしやいます。貴方のおことばは、そのお方に死ねと仰しやるのも同じでございまする」

範宴には一語も返すことばがなかつた、それまでに心がすわつてゐるものかと今更女性の一途な心の構へに驚きを覺えると共に、自分の寫した事に對する責の重さを感じるばかりだつた。

「この御山が、傳教大師の御開山以來、大里四方、女人禁制といふことも、よう存じて居りまする。けれど釋尊は、日蓮聖者の女弟子の蓮華色と申す比丘尼に、おまへこそ眞の佛道を歩んだものだと仰つしやつたといふ話があるではございませぬか。法華經には女人は非器なりとございますが、女には御佛にすがる惠みはないものでせうか。そんなことはあるまいと思ひます。女でも人であるからには」

と、高野は情と理をもつて迫るのだつた。そして姫にもこゝへ來て頑な範宴の心をうごかせとすゝめるやうに時折振り顧つて姫の姿を見たが、姫は大地へ泣き伏してゐるのみで、まだ一語もことばは洩らさなかつた。

「わかります、そのとほりに違ひないのです。けれど――」

範宴は膝を折つて高野と姫の二人へいふのだつた。いつの間にか全體を打ちこめてゐる自分の熱に氣がつく。それは死ぬか生きるかのやうに必死のものであつた。

「よく落着いて聞いてください、この御山は佛法大衆の道場なのです、一宿の人間の解釋で法規をやぶることは出來ません。又さういふ佛界の法規に矛盾があると云ひませうが、それとても、それとても傳教大師以來の先人が、さうある方がよいと定めおかれた大法であつて、この後、何人かゞ、それでは間違つてゐると云ふ眞理をつかみ、その眞理を大衆に認めさせない限りにおいては何うにもならない法則なのです。それをも破つて、姫をおつれして叡山へ上るとしませうか、彼らに一山を騷擾に陷しいれ、私はともあれ、姫のおん身は世の嘲りと物笑ひをうけるに過ぎず、たゞ淫らな一女性のはしたない行爲としか云はれますまい。更に、お父君は元より、禪閤院の僧正、そのほか一族の方々のお困りの顔も眼に見ゆるが如き心地がいたします。それもこれも皆この範宴が身一つより起した大罪と存ずればこそ、私は死以上の決意をもつてたゞ今その罪を償ひにこの山へさして參つたのであります。どうか私にそれをさせてください。無限の暗黒へこのまゝ落ちてゆくか、或は私の必要な大願が佛陀の光りに會つて現在の闇を貫くか、この一身を人間愚生のために捧げて了ひたいのでございます。姫おひとりに捧げきれない私となつてゐるのです。それを無情と呼ばゞ呼べ、それを非人間と恨まば恨め、一夜も二夜も私は眠らずに決定してこの草鞋を穿きました。玉日樣、お歸りなさい、山をお降りなさい、おさらばです」

この人にこんな激しいものがあつたのか、こんな冷たい氣も持つてゐたのか、霜のやうな、劍のやうな、何といふ人間味のない言葉だらうと、高野は涙も出なくなつた。

スクリーン

多摩川お盆映畫「のぞかれた花嫁」
ギヤグ滿載の怪喜劇

日活多摩川のお盆映畫は小國英雄脚色、大谷俊夫監督オールトーキー「のぞかれた花嫁」と決定したこれは夏の山邸と海をバツクに多摩川スターが擧つて登場するギヤグ滿載の怪喜劇で、キヤメラ永塚一榮、主なる出演俳優は杉狂兒、沖悅二、瀧口新太郎、村田宏壽、星ひかる、吉谷久雄、見明凡太郎、尾崎純、上代勇吉、星玲子、花柳小菊（特別出演）、岡讓二、江川宇禮雄、小杉勇、廣瀬恒美、中田弘二、島耕二

太秦企畫中のナンセンス映畫
エンタツ・アチヤコで

最近太秦發聲映畫の企劃部長に就任して吉本興行部の林弘高氏は[illegible]のところ、大體の案が成つたので、エンタツ・アチヤコ等を主演に關西吉本のスタツフを動員、之に太秦發聲の監督を配して永富映次郎監督で、近々脚本脫稿次第五月二十三日よりクランクする前宣傳「清水の次郎長」と併立で撮影を開始するとになつたが題名及筋の内容は嚴秘にされてゐる

輕妙洒脫な音樂喜劇『コンチネンタル』
RKO映畫・日活館上映

原名は「ゲイ・デイヴオース」といふRKOの特作映畫である、主演はフレツド・アステーアとジンジヤー・ローヂヤースのコンビで、この二人はさきに「カリオカ」を發表したが、こんどは「コンチネンタル」といふ新しいダンスを紹介してゐる、これが日本題名となつた譯で、監督は「レヴユウ艦隊」「メリケン萬歳」等を製作したミユージカル・コメデイには特殊の手腕をもつマーク・サンドリツチである、原作はドワイト・テーラーで主演のアステーアはニユーヨークに、ロンドンにこの劇を演をして壓倒的な成功を收めたといふもの。

唄と踊りの名手、ガイはエグバートといふ友人の辯護士とパリからロンドンに歸る途中、税關で一人の美人を見染めてしまふそれからガイは夢うつゝ、その頃エグバートの許へ離婚訴訟の相談に來た若い夫人こそ、ガイのこがれてゐるミミといふ美人――エグバートは「離婚の理由」を作るべくジゴロを雇つて一と芝居うつ、その合言葉の間違ひからガイがそのジゴロと間違はれるが、結局、すべてが氷解する。

一言にして云へばこの映畫はミユージカル・コメデイの面白さ美しさを最大限度樂しませるもので、音樂と笑ひを要素としたもので完璧に近いものであるといつてよからう、この偉大なる成功に三つの原因がある、第一は脚色者ジヨージ・マリオン・ジユニアの才氣溢れる喜劇的手腕と輕妙洒脫なダイアローグ並に舞踊振つけのデイヴ・ゴールドの「カリオカ」を凌ぐめまぐるしきヴアリエーションを以て見せる纖麗たる舞踊、第二にアリス・ブラデイとエドワード・E・ホートンの奇妙な科白のやりとりと愉快なギヤングの配列、第三に監督マーク・サンドリツチのスピーデイな映畫と主演者アステーア、ロヂヤースの意氣の合つた舞踊……以上の三つによつてミユージカル・コメデイの面白さを滿喫させる映畫が生れてゐる

この一篇に含まれてゐるダンス並に音樂は冒頭先づフランス人形のダンス・ノヴエルテイがあり、次いでアステーアのタツプ、海水着美人の膝打ちダンス、アステーアとロヂヤースの「夜と晝」そして「コンチネンタル」……「コンチネンタル」はアステーアとロヂヤースのデユエツトに配するに百餘名のアンサンブルを以てし、これにコーラスが和する全三卷に亘る壯大なものでダンス、音樂共に素晴らしいものである――S――（寫眞はアステーアとロヂヤースの「コンチネンタル」）

16ミリニユース

●藤田潤一を拔擢　新興キネマ京都撮影所で最近製作決定せる新國劇の當り狂言藤島一虎原作劍聲「藤原年人」は監督に新人藤田潤一を拔擢し杉山昌三九主演で近々クランク開始することになつたが佐藤惣雄の作詞で同映畫の主題歌ができまつた、なほ同映畫は夏のエクランに送るものとして新興キネマ京都總出演で撮影すると

●第一映「千代田の刃傷」　第一映畫入社第一回時代劇作品として長谷川伸原作「たつた一人の女」を撮ることに決定してゐたところ都合でこれを延期し夏川大二郎と山田五十鈴のコンビに第一映畫のオールスターキヤストで原健一郎原作脚色の「千代田の刃傷」を撮ることになつたが「千代田の刃傷」はかつて松竹下加茂林長二郎主演で映畫化され相當のヒツトをはなつた、時代劇として期待されるものである

私語線

先日滿洲に上映されて記錄的な成績をあげたパラマウントの特作「ベンガルの槍騎兵」が最近南京政府の命によつて中國における上映を禁止された▲その理由は「帝國主義を露骨に表明し被壓迫者を著しく侮辱する」といふのである▲ペロケ・ダンスホールに一寸現れてゐた若山千代がPOLに入社すると傳へられてゐる、飛鳥明子、瀧澄子、若山千代の三人は松竹樂劇部で鳴らしたもの、若山の銀幕入りは斷絶してよからう▲最近なかなか積極的に活躍してゐるメトロ滿洲支社に大阪より龍田啓君がやつて來た

大連 日活館

六日より十三日まで六日間（毎日晝夜三回連續興行入れかえなし）

	第一回	第二回	第三回
お七狂亂	―	2.29	6.30
猫と提琴	11.30	3.46	7.47
小牧節	0.57	5.13	9.14

料金 八十錢 一圓

日曜（十二日）は午前十時十五分開映十一時まで御入場の方に限り各等二十錢引。

質 洋服類高價 大連遠東ホテル横 電二・九二八五 筑後屋質店

十二時より晝夜三回連續興行　階下 30錢

	一回	二回	三回
松竹ニユース	12.00	3.25	6.50
毆られた河内山	12.15	3.40	7.05
港まつり	2.15	5.40	9.05

中央映畫館

白米下落相場は連鎖街の白米問屋大島屋へ　電三三一〇〇番　品質升目確實　配達迅速

滿洲日報
朝夕刊共十四頁

優先諮問の重要國策 來月早々實質的審議
内閣審議會準備を急ぐ

【東京十三日發國通】内閣審議會は十一日の委員任命で手續完了十七日正午首相官邸で初總會を行ひ國策樹立に一歩を踏出すこととなつた、當日は岡田會長、高橋副會長を始め各委員、各閣僚、吉田調査局長官、白根内閣書記官長、金森法制局長官出席、岡田會長の挨拶後午餐を共にする程度に終るが、既に明年度豫算編成に當る時期なので審議會諮問の重要國策を明年度豫算に計上するとせば遲くも暑中休暇以前大綱決定の必要あり、政府もこれを考慮し吉田、白根、金森の三幹事をして準備を急がしめ、月末迄に諮問案を發し來月早々實質的審議に入る方針に決した

諮問案件中、中心問題は地方財政調整、交附金制度で、他の諸問題に優先審議する、これに次いでは

一、中央、地方を通ずる財政整理
一、農村對策確立殊に負擔整理を中心とする救濟方策
一、國防と財政、國民生活の調和
一、産業政策の確立と經濟外交政策の樹立
一、議會制度の改革と政府との關係

この外政府が前議會で審議會にて審議を行ふと答辯せるものは

一、中小商工業者救濟
一、對外貿易機關の調整
一、職能代表制度問題
一、司法制度改善問題
一、行政經濟機構の改革外數十件

に及び貴族院側委員は政教刷新の建議案の實現策を審議會で發見すべしと主張し居り、吉田長官は電力統制方策附議の私見を抱き居りその他多數の案件があるが、政府はその成果を期待してゐる、なほ審議會と調査局の效果に關して政府部内でも疑問を有する者あり、松田文相の如きは審議會で調査停滯してはやり切れぬから文政審議會は飽くまで存續すべしと主張し高橋藏相、町田商相も何も彼も審議會持込みには反對してゐる

重要國策を再檢討
内閣調査局の重要任務

【東京十三日發國通】政府は二十日までに内閣調査局の陣容を整備し直に調査準備に着手することになつてゐるが、調査局の調整も凡ゆる方面の人材を網羅し卅名の參與、百名の專門委員には相當數を貴衆兩院議員、民間當業者より任用して職能代表の精神を取入れて專門的且つ綜合的重要國策の調査立案を行ふことになつてゐる、最も注目すべきことは國策審議の重點を内閣調査局に置くことであつて自由に行財政の凡ゆる部門に對し調査檢討を進め、明日の日本に備へるためには

一、新日本の國防方針はかくあるべきこと
一、新日本の外交方針はかくあるべきこと
一、新日本の行政機構はかくあるべし

と可なり大膽に國防、外交、行政等の諸問題について再檢討を行つてそれ〲結論を得んとしてをり例へば行政機構の改革についてはは

一、各省の廢合
一、各省大臣制を廢し、各省には長官制を設け別に無任所國務大臣を置き、國務大臣は國政運用の根本方針を定め、一般行政は各省長官がこれに當る
一、内閣に豫算編成機關と人事を司る機關を置く

等の問題についても調査研究を行ふ、一方には財政の建直し、農村對策の根本問題等實際問題についても結論を得るやう努力することになつてゐるから、内閣調査局今後の活動は凡ゆる角度から注目されてゐる

成行主義を捨て 積極的清黨
政友會内部に强硬論

【東京十三日發國通】政友會は十一日水野、望月兩長老除名以來黨員の動靜を注視してゐるが、自重論者、純理論者幹部中に黨情の安定を期し數に拘泥せず除名すべきは斷乎除名し、成行主義を一擲し眞に一心同體となり戰備を整へようとの强硬論擡頭し來つた、これに對し首腦部がかゝる積極論に耳を藉すか否かは判然せぬが秋田、水野、望月系の十數名脫黨は時期の問題で、床次系殘留組と不平分子は十四日日比谷陶々亭で第二回會合打合せをすべく、内閣調査局參與の椅子を繞り、倉元要一、林路一、長田桃藏、岩崎幸治郎の諸氏會黨を見るだらうといはれ、政友の脫今後は益々多事を豫想される

陸軍異動 下馬評
勇退する參議官と 將官級の主なる進級

【東京十三日發國通】陸軍では八月の定期異動に關し林陸相が來る二十一日東京出發渡滿する事となつた爲め、その出發前閑院參謀總長宮殿下並に眞崎教育總監と協議の上、大體の**異動方針**を決定し銓衡を急ぐ事となつたが、八月の異動においては軍事參議官から二名又は三名の勇退者を出し、後進に途を拓く事は部内一致の要望でもありその場合はこれに伴ひ朝鮮軍司令官植田謙吉大將は在職僅か一年であるが當然軍事參議官に轉補し、その後任には杉山參謀次長が轉補される見込みで、參謀次長の候補としては第一師團長柳川平助中將、第十師團長建川美次中將、第十四師團長畑俊六中將等が補せられるものと見られてゐる、師團長の更迭については第十六、第二、第七各師團長が噂に上つてゐるが**師團長の**候補としては教育總監部本部長林桂、關東軍參謀長西尾壽造、陸軍航空本部長堀丈夫、支那駐屯軍司令官梅津美治郎、士官學校長末松茂治、參謀本部總務部長山田乙三の各中將が銓衡に上つてゐる、此等の異動に伴ひ中央部の局課部長を始め全國旅團長聯隊長に相當廣範圍に亘る大異動が行はれるものと見られてゐる、なほ將官級の進級の主なるものは次の如く豫想される

大將に進級
臺灣軍司令官 中將 寺内壽一

中將に進級
關東軍〇兵〇〇隊長 蓮沼蕃
關東憲兵司令官 岩佐祿郎
陸軍技術本部第二部長 村井勝
第四師團司令部附 平松英雄
兵器本廠附 川岸文三郎
旅順要塞司令官 田中稔
陸軍省整備局長 山岡重厚
近衛歩兵第一旅團長 高田友助
陸軍砲工學校長 永持源次
所澤陸軍飛行學校長 德川好敏

遣濠使節に 出淵氏

【東京十三日發國通】レーサム濠洲外相の日本訪問答禮として廣田外相は前駐米大使出淵勝次氏を濠洲に派遣親善使節に起用するに決し、英本國政府並に濠洲聯邦政府當局に對し夫々その意向を傳達したが、十三日松平駐英大使及び村井シドニー總領事より英本國並に濠洲聯邦政府は出淵親善使節の來訪を衷心より歡迎する旨報告し來たつたので、廣田外相は直に出淵使節の渡濠を正式に決定、親善使節一行は愈々豫定の如く七月中出發、濠洲の首都キヤレベラにおいて濠洲聯邦政府を正式に訪問交驩を遂げ、兩國の平和、友好關係の確立に精進する事となつた、なほ出淵使節は途中比律賓を訪問、歸途蘭印を訪問し通商貿易の視察調査をも行ふ筈である

林陸相旅程
吉野商工次官も同行

【東京十三日發國通】林陸相は愈々來る二十一日東京出發滿洲視察の途に上るが、新京にかては滿洲國皇帝陛下に謁見を賜りたる後、南軍司令官、鄭國務總理を始め滿洲國大官と會見、次いで關東州附屬地の在滿各機關並に各地派遣軍の狀情を視察すると共に將兵を慰問し、更に大黑河、山海關等のソ滿、滿支國境方面第一線部隊の實情を視察し歸路は吉林から北朝鮮に出で京城を經て六月十三、四日頃歸京するが、隨員としては永田軍務局長、大木戶滿蒙班長、成瀨秘書官等十數名で、この他商工省吉野次官同行する事になる豫定である

同次官が一行に加はる事は陸相の今回の渡滿が兩國間の重要案件である産業の開發日滿經濟の融合統制日滿工業の分界確立等に關する方策決定についての現地の實情を視察すると共に、各方面の要路者の意見を聽取する事となるので陸相渡滿の目的を一層有意義にするものと見られてゐる

對支進出に關し 支那側と折衝
米國經濟視察團活躍

【上海特電十三日發】米國經濟視察團は來支以來支那事情を愼重調査し、各部門に亘り支那側と話合を進めつゝあるが、その内容は大體左の如きものと觀測さる

一、船舶事業 上海においてダラー汽船社長と招商局長と協議の結果、米國船の船運につき案外進んだ妥協が出來たらしく支那海運業に米國の投資指導が實現すると觀らる
一、紡績事業 支那紡績事業救濟のため米國の投資を支那側より希望し專門的交渉が進められてゐる
一、土木事業 主として鐵道材料の供給を目的とし英國の鐵道建設政策に對抗せんとしてゐる
一、航空事業 汎太平洋航空路實現を企圖し大體支那側の承認を得てゐるが、この外飛行機の供給問題も打合されてゐる
一、軍事顧問招聘問題 來る六月期限滿了のドイツ人顧問に代り米國人顧問を入れんとするにあるが正式決定は見ない
一、銀政策問題 支那側が最も重點を置き數次に亘り米の銀政策の及ぼした影響を說明し、調査團もこれを認め米政府に銀政策反對運動をなす事を約した

極東商業航路に 飛行船數隻建造
ソ聯政府計畫發表

【モスクワ十二日發國通】ソ聯政府は十二日半硬式飛行船數隻建造の計畫を發表した、右半硬式飛行船は主として極東方面の商業航路に使用するはずだが、無給油で五十時間滯空出來る驚異的性能を持つてゐる

波蘭獨裁者
ピ元帥十二日逝去

【ワルソー十二日發國通】ポーランドの獨裁者ジョセフ・ピルスヅキー元帥は過般來腎臟病に尿毒症を併發し治療中であつたが十二日午後九時三十分遂に逝去した享年六十八

波蘭にさり打擊

【ワルソー十二日發國通】逝去したポーランドのピルスヅキー將軍は同國建國の恩人で、モシツキー大統領を表看板に、自らは陸相の地位にとゞまりながら獨裁執政として内治外交の全分野を牛耳つて來たものであるが、殊に一九三〇年五月の總選擧以來は國會に絕對多數を占め完全な獨裁權を發揮したが、更に去る四月共和制憲法を改正、大統領に廣範圍の獨裁權を附與し將軍自ら大統領に出馬する方針であつたと傳へられるが、名實共に獨裁的地位を占むるに至らず急逝した譯だ、ポーランドが東歐ロカルノ協約案を繞り獨佛兩國政府との間に巧妙な駈引をめぐらし祖國百年の安泰を圖らねばならぬ際偉大なる人物を失つたのはポーランドにとつて痛手であらう

獨政府衝擊

【ベルリン十三日發國通】ピルスヅキー將軍逝去の報道に接しドイツ政府は多大の衝擊を受けポーランド政府今後の外交政策に多大の疑念を示してゐる、ポーランド共和國建國當時以來の行掛りを顧みず、ヒットラー總統との間に不可侵條約を締結したのはピルスヅキ將軍一流の外交政策に基くものと見られてゐるだけに、同將軍の逝去でポーランド政府が再びフランス外務省の傀儡に還元する虞が濃厚だが、ドイツ政府當局としてはドイツ、ポーランド兩國の親善關係は國際情勢の本體に基く必然の結果で個々の政治家の方針で動かし得ないとの見解を表明し、强ひて樂觀を裝つてゐる

停戰地區を行く (5)
特派員 吉田凱

荒廢した東陵
往時を偲ぶ旗人の村落

唐山に一泊、英氣を養つた記者は翌朝市の北郊にある鳳凰山に登り、山上から支那民間經營にかゝる啓新セメント會社や、英人資本の華新紡績會社、英國系の交通大學校舍、日本守備隊、保安第二總隊、關權戰區行政督察專員公署の建物や北寧鐵路の車輪工場や病院、第四中學校内の[illegible]保安隊の兵營、唐山炭礦の併立する煙突や石炭殼の山などを一望に俯瞰して下山、直にトラックに乘り込み馬家溝炭礦を右手に眺め折柄保安隊の手で行はれつゝある開通式に敬意を表しつゝ新裝成つた豐唐街道を一路北へ、唐山—馬蘭峪間百二十キロ走破の途についた。

☆

豐潤縣を過ぎて玉田につく、城内にはこゝの名産麥で編んだ莚、夏帽子やハムが店頭にかざられてあるが、例の保安隊と民團との衝突事件の戰禍がまだ癒えぬのであらう、人馬の往來も少く、なにか廢墟を見るやうな一抹の寂しさが町全體に漂つてゐる、縣公署に小憩、縣長の[illegible]氏に會つたが、見るからに善良さうな五十五、六の年配の好紳士、保安隊事件が荒廢その極に達した玉田の復興事業に當るため特に南京政府に見込まれて二ケ月程前に着任したとのこと、縣長の話では事件が發生すると住民は戰禍を避けて四散したが最近四千五百の市民のうち半數は歸つてきたさうである、事件の發頭人孫隊長は追はれ現在は河北保安第三總隊の一個大隊が駐屯してゐる。

☆

玉田から先は殆ど道なく途中農民達に近道を聽きながら午後五時漸く興隆縣馬蘭峪へ辿りついた、皇軍警備隊に小憩後、日沒前に淸朝歷代の帝、后、妃、皇太子、皇子等の寢陵十六陵のある東陵を見るべく直に車を走らせる、東陵は馬蘭峪一帶の連山秀峰を背景に建立されたもので淸朝の皇威の下、金と人力と時間を惜まず贅の限りを盡したゞけにその構成の優、建築の美、風光の明媚と相俟つて雄大限りない、その雄大華麗なる東陵隨一といはれてゐる西太后陵を見たが、有名な孫殿英軍の東陵占據の禍をうけ内部の荒廢は想像の外で、かの淸朝末期における世界的女傑西太后の盛時を想ひ今昔の感殊に深いものがある。

☆

民國十六年の五月末孫殿英麾下の談團長の一ケ連は匪賊討伐と稱して長城を目して東陵一帶を包圍し、爆藥を放つて西太后陵をはじめ景陵をのぞく全寢陵をかたつぱしから破壞し一週間に亘つて無數といはれた寶石、財寶の類を根こそぎ掠奪、暴虐の限りをつくしたもので、當時天津に在らせられた滿洲國皇帝陛下には御哀悼のあまり御痛ましくも御居室の床に蓆かれた席に御起居遊ばされ、百日間御喪に服し遊ばされた。

☆

東陵一帶には往時を偲ぶ旗人の村落、十六村があり、その數三萬といはれてゐるが、民國革命以來政府の保護を離れて旗人達はその糧を奪はれ、今や乞食同樣、見る影もないといふ、——さういへばさき程馬蘭峪への沿道、容貌卑しからぬ童等の路傍にあそぶのを瞥見したが、あの兒童らは淸朝華やかなりし頃の旗人の末裔であらう

(カットは東陵西太后の陵全景、挿畫は豐唐道路開通式)

醫院長會議

十五年振りで復活された滿鐵醫院長會議は十三日午前九時より大連社員俱樂部において開會、守中大連醫院、松井撫順醫院、[illegible]十八病院各院長及び關東軍々醫部長、滿洲國民政部衞生司長等の來會出席、千種衞生課長議長となり午前中は準備打合せを行つたが、十四日本會議に入り諮問事項について討議される筈である

支那全土に亘り 農民の暴動
政府當局鎭壓に必死

【新京電話】支那農村の窮乏は支那經濟界の混亂が眞因をなすものであるが、信ずべき筋への情報によれば最近の支那農村は窮乏その極に達し、支那全土に次の如く農民の暴動蜂起し、政府當局も殆どその對策に途なくこれが鎭壓に必死となつて居る

即ち江蘇省常州附近の農村は一日辛うじて一椀の粥をすゝり安徽省の農村では木の皮を常食とする者多く、窮民は實に一千七百名により、此等の窮民は數十數百が一團となつて食をあさつて流浪の旅を續けつゝある慘狀である、又山東省海州、徐州間沿線の農民は窮乏の餘り政府の食糧隊を襲擊、公安隊と交戰し多數の死傷者を出して居る、更に河北省大名附近には山東、河北、河南の農民暴動猖獗を極め安徽省蕪州附近の農民は正に餓死せんとする狀態で、縣城奪取を企てつゝあり、又湖南、湖北方面の農民暴動は各所に起り、更に湖南、安徽兩省には今夏大洪水ありとの流言亂れ飛び農村は暗澹たる光景に閉されてゐる

營口領事館昇格
愈よ近く實現せん

外務省當局において近く營口領事館を總領事館に昇格せしめる[illegible]營口領事館として近來目覺しい躍進を告げつゝある營口の現狀に鑑みこの助成を計る機關整備の必要から[illegible]ことになつたこれが爲め太田營口領事は本省との打合せに十三日出帆たこま丸で東上した、同領事はこれを機會に内地の主要商工都市を視察し内地商工業者の滿洲進出に關し業者並に當局者と忌憚なき意見の交換を行ひ、積極的對策を講ずることになつた、同領事は更に歸途南支北支一帶を視察し歸任の豫定であるが、同領事の東上によつて營口領事館の昇格問題は**最後的の**決定を見るものと見られる、出發に際し太田領事は船中デッキにて左の如く語つた

營口の貿易港としての發展は實に素晴しい、營口を經て滿洲へ流れこむ日本商品は驚くべき量に達してゐる、從つてこの情勢に適應するには現在の機關ではどうしてもその完全な任務を遂行することは困難である、まだ昇格の時期ははつきり判らない

蛇角

◇各省大臣制を廢して長官制にするとの說、理事部長を廢して社員部長にしたのと同じ。
◇國務大臣と官吏、責任重役と社員、その職分を明かに區別しやうといふのだらう。
◇合理的且つ劃期的改正として贊成だが大臣病患者の多い日本で早急に實現するかどうかは疑問。
◇イタリーが「こんな黑い細工一位何んだ」と一摑みにしやうとしたらそれが生憎毒蛇だつた。
◇エチオピアの反噬、イタリーをして聯盟を脫退せしむ。——とたら大いに痛快である。
◇關東州廳が大連の道路淸掃に乘り出すといふ、誠に結構。
◇序に人事の淸掃は如何、新興俱樂部式の汚物が他にもなしと誰が保證し得やう。

人事

▲大島乾四郎氏(駐滿海軍部參謀長)十三日午後四時五十分發奉天へ歸任
▲川路守正氏(滿洲工廠顧問)同上
▲大淵眞吉氏(滿洲不動産信託社長)同上
▲ドクトル・エルンスト・ビショッフ氏(大連駐在ドイツ領事)同上
▲由良龜太郞氏(鞍山不動産信託專務)同上
▲江崎重吉氏(滿鐵々道部貨物課長)十三日午後十時發列車にて新京へ
▲白井啓一氏(奉天鐵道事務所長)十二日午後十時半大連着はとで來連
▲古川達四郎氏(滿鐵々道部新京出張所長)十三日午前八時四十分着列車にて來連
▲羅振玉氏(滿洲國監察院長)十三日午前九時大連發あじあにて歸任
▲藤田讓氏(明治生命專務)同上新京へ
▲[illegible]氏(愛國生命專務)同上
▲金光義邦氏(大正生命專務)同上
▲寺田新之助氏(大正生命滿洲支社長)同上
▲網本淺吉氏(奉天關東倉庫長)同上歸任
▲矢田多一氏(大連副稅關長)同上新京へ
▲[illegible]田康明氏(學徒至誠會常任委員陸軍砲兵少佐)十三日正午大連發はとにて新京へ
▲橋本傳左衞門氏(京大農學部長農學博士)同上
▲住江金之氏(東京農大教授農學博士)同上
▲[illegible]龍雄氏(熱河省滿鐵診療所長)同上北行
▲李嘉嶠氏(滿石監査役)同上新京へ
▲池田京治氏(大連中學校々長)全國中等學校々長會議へ列席の爲十三日出帆たこま丸で内地へ
▲太田知庸氏(營口領事)同上
▲奈良女子師範生徒一行三十七名同上離滿

社說

駐支使館の昇格

我外務省は九日南京總領事を通して國民政府に在支公使館を大使館に昇格すべき旨を正式に通告した。右は大正十三年に既に一旦決定し、その豫算も決定し、公使館備附の印刷物などまで取り替へるなど、全く準備を整へたのを、急に取り止めて今日に至つたものである。當時中止になつた理由は支那側にて排日空氣が餘り烈しくなつた爲めだつたと記憶する。兎も角昇格の事は既に十日の閣議にかても報告された所で、初代大使には有吉現公使が任命される筈である。然るに軍部方面にありては此の昇格は時期尚早なりとの意見を抱き、此旨外務省に通じたが、外務省では事務の繁忙を標榜としての決定なりと説明して諒解を求めたと傳へられる。

◇

對支外交が、我外交の中軸たるべきは既に吾人の論及した所である。廣田外相も就任の初めから此の意を持つてゐる事はその言行にかて察せられる。現に對支外交を正常に導くことが自分の使命であると語つた事があるやの記憶もある。隨つて或時期を見計らつて積極的に乘り出す意があり、その第一着手として大使交換を行はんとの意圖があつたことも推測される。然るに日支外交を正常に引返すに就ては二個の困難がある。一は彼れに排日工作ある事、二は彼れが滿洲國を承認しない事である。二者何れも彼國側に存するもので、此の二項を彼國で解決しさへすれば、日本側には何の差障りもない。現に軍部の時機尚早といふのも、彼國側で排日工作を撤廢する意思ありと認められないのみならず、撤廢させ得る見込みがないこと、且つ滿洲國を承認させる見込みもないことを指すものと思はれる。

◇

廣田外相が、此處に敢て使館昇格の擧到れりと見て、之れを斷行するに至つたに就いては、此の二項に關する彼國政府の態度を我が思ひ通りに誘導し得るものと思料したからであらうか。思ふに南京政府の實情として、此二項を日本側の意思に副ふやうに斷行することは、頗ぶる困難な有樣なることは、軍部の見る所の如くであらうと思はれる。故に軍部は先づ彼れの意を確かめてから大使交換を行ふを可となすのであるが、外相は先づ大使交換を行ひてから此二項を實現せしめんとする。二者目的は同じきも、手段の順序を異にするのである。隨つて、今後若し外相の意の如くに實際が進行しないとなると、外相の進退が困難になるのは勿論の事だ。故に外相の今次の斷行は、彼れ一身の進退から見ては背水の陣を布いたものである。(國家が背水の陣を布いたのではない)相當大きな決心あることゝ察せられる。

◇

我對支外交は、早くより自主的なる可くして、英米に追隨するを免かれなかつた。漸次追隨する程ではなくなつたが、矢張りその意向を讀んで、我國の言ひたい事も爲したいことも控へ目にしてゐたを免がれなかつた。又支那政府にかても、常にその對日外交にかて、日支關係そのものを直接の標準とせず、隨つて日本の意向よりも英米の意向を讀んで、それを對日外交の標準と爲した。之れが日支國交の圓滑を缺くに至つた原因である。今度我外務省が、日支國交を日支間の關係だけの標準にて處理せんと積極的に乘り出したのであるから、南京政府も矢張り日支間の關係だけの標準にて、之れを處理すべき方針を執るにあらざれば、今後も矢張り納得相容れぬ現象を脱し得ないであらう。使館昇格後、我外務省の針路は豫想し得る。之れに對して南京政府が果して如何に出で來るか。蓋し各方面の大に注視を要する事柄である。

日滿警務會報初會議
各機關代表八十餘名出席
きのふ軍司令部で開催

【新京電話】中央警務機關を始め全滿の日滿警務關係各機關を網羅する日滿警務會報は關東軍司令官主催の下に十三日午前十時から軍司令部三階大食堂で開催されたが同會報は滿洲國皇帝御赴日の盛儀を無事完了の慰勞の意味を兼ねこの機會に日滿警務機關の協同精神を強調すると共に、今後の治安確保の上に一層の緊密化を計らんとするもので、關東軍憲兵隊司令部、大使館、關東局各警務部、新京署、關東州廳警察部、民政部警務司、京司憲兵司令部、首都警察廳等中央警務關係代表の外、各省警務廳長等日滿警務各機關代表者八十餘名出席

午前十時から開催、先づ皇帝陛下の聖旨を傳達、南軍司令官の訓示に次いで臧民政部大臣及び岩佐憲兵司令官の挨拶あつて盛大裡に終了した、出席者一同は正午ヤマトホテルにおける臧民政部大臣の招待宴に出席、午後は引續き二時から大同自治會館において日滿警務機關の協力一致について意義ある成果を收めて午後四時過ぎ散會、夜は官邸における南司令官主催の晩餐會が盛大に催された

日滿警務代表に 滿洲國皇帝御諚
沈宮内府大臣傳示

【新京電話】沈宮内府大臣は日滿警務會議に臨み皇帝陛下の御諚を體して左の如く傳示するところあつた

滿洲建國以來日滿の憲兵警察官は地方民衆に對し治安防衞上勞績甚だ顯著なり昨年帝制實施より皇帝陛下は屢々御巡幸あらせられたるが、あらゆる警務、戒備ともによく周密を極めたり今次陛下東行して日本皇室を訪問し給ふや發轅より廻鑾にいたるまで一個月を經たるが、各警務機關は事前の準備とその實施ともに最も勤勞あり上意極めて深く嘉賞あらせらる

茲に關東軍司令部警務會議を召集せらる、その地方治安の確定上關係するところ至つて重大なり、將來日滿の警務機關全力を擧げて合作せば、その精神は克く貫通し、動作は更に圓活緊密となり地方人民倶に安樂を享けんと必せり、本大臣は旨を奉じ聖意を傳示す、倶にこれを勉めむことを望む

康德二年五月十三日

宮内府大臣　沈瑞麟

南軍司令官訓示

【新京電話】日滿警務關係者會同席上における南軍司令官の訓示左の如し

滿洲國皇帝陛下御訪日の盛儀滯りなく終はらせられ、玆に日滿警務關係者を一堂に會して所懐を述ぶるは本職の最も欣快とする所なり

抑々這般の盛儀たるや日本皇室と滿洲帝室との敦厚なる御交驩によりて日滿親善の範を垂れさせられその不可分の關係を如實に示されたるものにして、實に東亞の史上に永久且つ顯著に刻銘せらるべき重大事實なると共に未曾有の大儀たり

諸官この大儀に於ける警衞警備の衝に當り事前の準備を周密にし行事の實施亦適切にして大儀の始終に亘り萬般の行事寸毫も齟齬遲滯なからしめたるは本職大いに滿足の意を表し厚くその勞を謝す

惟ふに今次の盛儀は滿洲帝國の本義に由來する日滿兩國親善の情誼並に兩國一體不可分の理義を更に一層深厚且つ鞏固ならしめ、特に洩れ承る幾多の尊く且つ美しき情景に見るに日本皇室と滿洲帝室との御親交に一段の敦厚を加へたるは申すも畏き極みにして日滿兩國の將來否東亞永遠の平和の爲め同慶に堪へざる所なり

皇帝陛下には御歸國早々文武百官を召されて親しく詔書の宣諾あらせられ、本日は宮内府大臣をして諸官に御言葉を賜り以て御訪日間の御感懐及び滿洲國人民の率由すべき軌範を示されたり、諸官は宜しくこの意の存する所を玩味奉體し日滿倚存不可分の關係に對する信念を一層深くして警務の執行に當らんことを切望す

蓋し滿洲建國當初治安も亂麻の狀態にありし國内治安も諸官の和衷協同宜くその職責を盡したるによりて漸次改善せられ今や大いに面目を新にしつゝある狀態にして本職はこの間にかける諸官の勞苦及び功績に對し深甚なる感謝の意を表す、然れども兇惡頑強なる匪賊は未だ絶滅の域に達せず、これが跳梁のため今尚ほ時々不祥事を惹起しつゝあるは諸官の知悉しつゝある所なるべく、殊に今夏草木繁茂期の狀況を豫想するときは一層諸官の奮勵努力を要するものありとす、諸官は須く身を持する謹嚴職を奉ずる公明にして、よく各々その職責を全うすると共に日滿兩者の聯繫協同を一層緊密圓滑にするは素より日滿兩軍々部と常に直接間接緊密なる聯繫を保持し以て國内の治安を速かに確保し滿洲帝國をして眞の王道樂土たらしめ延いて東亞永遠の平和具現に貢獻せられんことを希望して已ます

"閥意識"を排撃
滿洲國官吏の態度に關して
長岡新總務廳長訓示

【新京電話】國務院新舊總務廳長の事務引繼は十三日午前九時四十分總務廳長室において行はれた、午前十時遠藤舊廳長は國務院會議室において國務院官吏に告別挨拶を述べ、阪谷次長これに對し送別の辭を述べ、次いで長岡新廳長の就任挨拶並に訓示あり、一同國務院前にて新舊廳長を中心に記念撮影を行つたが、長岡廳長はそれより廳長應接間にて出入記者團に對し新任挨拶をなす所あつた、而して長岡新廳長は右訓示において具體的施政方針等には全然觸れなかつたが、滿洲國官吏の今後の方針態度について注目すべき重要訓示を發表した、即ち廳長は聖業の大成、事務の能率増進、庶務の刷新は實に人の和にあることを強調し今後官吏が公務における場合は絶對に自己の出身學校、本籍地別、出身會社官廳等を念頭より沒却すべきこと、一切の系閥を放棄すべきことを言明したが、これは從來から兎角非難され勝ちの滿洲國官吏の閥意識、閥爭ひに對して痛烈な批評を加へたもので、時節柄極めて時宜に適した訓示としてこの第一聲は各方面から極めて好評を以て迎へられてゐる

縣村區制の改革
康德二年末迄に成案

【新京十三日發國通】滿洲國縣制並に村區制改革は曩の十省長會議後直に研究に着手し各方面の資料蒐集を行つてゐるが大體結論を得るに至るのは二年度末、即ち康德二年十二月頃となる模樣で、それより審議委員會を設けて官制並に所要法規の作成に移る段取である、縣制は大體劃一的組織とする建前であるが、村區制は飽まで民土風習に重點を置き區村の敎育程度を考慮して徒らに法令の金縛りとすることなく鄕に入つては鄕に從ふの特質を生かすべく考慮が拂はれてゐる、例へば蒙古民族における土地所有觀念の如き個人所有意識の薄弱な地域には飽まで共有共存の精神を生かし漢滿民族の如く割合に組織化した法令に對する遵守性の出來たものと區別した村區制を作成する方針で五族協和の根本精神に背馳せざる範圍内において異色ある而も無理のない改革が企圖されてゐる

奈良女師生

奈良女子師範學校生徒二十四名は小西美良、森本俊夫、奥田秀男の三敎諭に引率され朝鮮經由來滿、吉林、新京奉天各地を視察、日滿各學校を見學し十三日出帆たこま丸で離滿した

北鐵退職金問題
滿洲國側の好意的讓歩で
近く解決の見込み

【新京電話】舊北鐵從業員の退職金支拂問題の紛糾を解決するため九日來京したソ聯駐哈總領事スラウツスキー氏は滿洲國外交、交通兩部代表者と會見、隔意なき意見を交換し、更に近く開かれる北鐵直通連絡協定交渉の下打合せを行つて十二日哈爾濱に歸つた、退職金支拂問題について滿洲國政府としては

條約文の 理論的解釋によれば明かに議論の餘地なきも條約の精神的解釋の範圍を廣め、折角今日まで順調に進んで來た實績をこの問題に依つて停頓せしめる事は日滿蘇間の和平に禍根を殘す事となりこれを遺憾とし、一種の妥協案を提出しソ聯側の反省を求める事となつた、妥協案の内容は極秘に附されて居るも仄聞する所によれば

協定文第十一條第一項の備考の解釋によれば餘りにも明白なる事で、この儘ソ聯の言ひ分通り承認するは條約そのものを無視した事となり、斷然滿洲國側の意思を通す事になつたが、子女年金の支拂額從來の原則に依る年金支拂方法に依ると解釋する二點で、既に諒解が出來、以上の方法を講ずる一種の妥協案を提出したもの〻如くス總領事も滿洲國側の主張を諒解歸哈の上直に本國政府に**請訓する**に決定したもので、結局滿洲國側のこの好意的讓歩に依り同問題も近く解決するものと觀られてゐる

關東州利得税
令適用範圍

【新京電話】今回勅令を以て公布された關東州臨時利得税令は關東州にあつても時局の好影響を受け收益を増大しつゝあるものに對して、當分のうち臨時利得税を課して、内地の税制と統制を計る必要あるため昭和十年一月一日を含む事業年度分より關東州内の法人に對しても適用することゝなり、十三日公布されたが、關東州にあつては法人の利益についてのみ課税するものであつて、この課税法、税率は内地のものと同様であるが、唯法人に非ざる社團も税令上法人と看做して臨時利得税を課することゝなつてゐる

大相撲回顧
(投書歡迎　五十行以内)

◇去る九日本紙伊東吞州氏の談を讀むにつけて想起するのは大相撲東西對抗の優勝戰である。

◇問題の玉手山の一戰といふのは大正六年の一月場所で、東方は横綱太刀山、同關を總帥とし西方は横綱西の海(二代目)を總帥とする一團であつた。

◇玉手山は九日目迄連敗し十日目に新進九州山(後に大關となつた)を破つて最後の白星を擧げた爲に僅かに一點の差に依つて東方の優勝となつた。

◇當時玉手は既に晩年であるに反し、九州山は新進の力士で、實力から云へば當然九州の方が上であるが、玉手山は九州山の元來の苦手である爲に不覺にも老功に名をなさしめたのである。

◇次で想起するのは昭和五年五月場所、十日目迄東方二點勝越してゐたが、十一日目の白兵戰で西方奮迅の勢ひを以て二點盛返した爲に俄然同點となり優勝旗は協會預かりとなつた。次に同年九月の兩國本場所にかては十一日目迄東西同點となつたが、十一日目に西方二點勝越して優勝し、次場所には東西入替りとなつた。

◇今や東京大相撲の本場所が開始されてゐる。現在は東西の區別無く總當りの個人勝負で連日好取組の連續に好角家の人氣を呼んでゐるとはいふものゝ、燃ゆる如き敵愾心を以て東西各一團となり互に鎬を削つて對抗し優勝旗の爭奪に血眼となつた角界傳統の興味が新制度と共に失はれたことは何となく物淋しい。(早苗生)

滿洲一を誇る
大連市立中學校
校舍上棟式を擧行

滿洲一を誇る大連市立中學校々舍上棟式は十二日午前十時から下秋町同校々庭において盛大に擧行された

小川市長を始め市理事者、市議員、同校職員生徒市内有志等參列、式典は神式により修祓、齋主の降神奉仕に始まり供饌、祝詞に次いでエイ〱の掛聲勇ましい曳網相打の上棟の儀が行はれ鳴弦、撒餅、齋主玉串奉奠の後工匠長、市長、中學校長等の玉串奉奠を以て閉式

一同校舍内において祝杯を擧げ十一時過ぎ散會した

鴨江航運の
日滿提携

【安東十三日發國通】鴨澤兩江航業公會は創立五十年の古き歴史を持つ滿洲國側の小舟船業者の組合であるが、數年前對岸新義州に鴨綠江運輸會社が設立されて同種の營業に從事するやうになつた結果、必然的に兩者は對立抗爭することになつたので、これが調停は鴨綠江水運統制上の一懸案とされてゐた處、最近安東航政局及上警察局の盡力によつて朝鮮側鴨綠江運輸會社所屬船もまた滿洲國側の航業公會に加入し兩者は業務の分野を運輸會社は集貨、航業公會は航運、滿脚に協定し、こゝに兩者協調提携して國境河川鴨綠江の水運に貢獻することゝなつた、提携前における兩者の所屬船數は運輸側九八八、公會側三五〇三隻ある、なほ會計制度を確立すると共に近く指導者として航運行政の權威武田虎一氏を迎へる機構であり更に對外的にはこの運輸會社との提携成立したのでその前途は明朗なものとなつた

獨大使渡鮮

【東京十三日發國通】目下九州旅行中のドイツ大使デリクゼン氏は一兩日中に渡鮮のはずで更に滿洲國視察をもなすと傳へられてゐるが、十三日ドイツ大使館ではデリクゼン大使今次の旅行は全く私的旅行で九州視察後朝鮮に渡り金剛山を觀賞の上咸鏡南道德源のドイツ人修道院視察のため來て今月末歸京の豫定であると發表した

小林侍從武官着奉

【奉天電話】在滿海軍部隊實狀視察のため七日大連を出發駐滿海軍部、哈爾濱部隊の視察を終へた侍從武官小林中佐は午後一時三十分あじあで三毛司令官、蜂谷總領事土肥原特務機關長、于上將、臧省長、倉橋地方事務所副所長、臧市長他日滿官民多數の出迎へ裡に着奉、市内各方面視察の上ヤマトホテルに入つた、なほ十四日午前市内視察の後、同十一時五十分發撫順に赴き同地視察の後午後六時五十分歸奉の豫定

滿鐵重役會議

滿鐵重役會議は十三日午後二時より開會、撫順炭礦千金寨社宅移轉による新社宅三百戸の新築案細目に就て審議決定し同四時散會した

八田副總裁

八田滿鐵副總裁、郡山理事は北鮮三港視察のため十三日午後八時發列車で赴京、京圖線經由北鮮に出で京城を經て二十日頃歸連の豫定であるが、杉本秘書役、瀧澤鐵道建設局副課長等が隨伴する

張檢閱使歸任

【奉天電話】在奉中の張特命檢閱使は十三日午前七時三十分ヤマトホテル出發、第一教導隊に赴き直ちに隊員の軍裝檢閱を行ひ、次いで騎兵隊の戰鬪教練を檢閱、十一時より將校の圖上戰鬪を檢閱し午前の行事を終つた、午後は一時より全員に對し訓示を與へはとで歸京した

北黑線を觀る (1)
前田特派員
大連から黒河へ
今は僅かに四日の旅

◇…北安から黒河には一日で行ける、僅か三〇四粁六八の距離であるが、三月までは往復とも途中の辰淸に泊つて翌日の汽車を待たなければならなかつたが四月から北黑間を直通するやうになつたので約十二時間で北安から大黒河へ、大黒河から北安へ直通し得る、それでも哈爾濱からはまる二日、大連から大黒河へ滿洲國の中央部を縦斷するには四日掛りの旅である

◇…北黑線開通以前は黒河に行くには開河期間は哈爾濱からせい〱一千噸位の小汽船で松花江を下り、同江で黒龍江に入つて遡航し水勢條件がよくて十日、わるくすると二週間もかゝつたものである、結氷期間は齊北線の支線訥河から國際運輸のバスによつて惡道路に惱まされながら二日乃至三日で黒河に達してゐたのであるが今は哈爾濱から二晝一夜で樂々とシベリアの要都ブラゴエスチエンスクの對岸に達し得られるのである

現在のダイヤによれば哈爾濱を朝八時發の濱北線北安行列車に乘れば夕刻六時に北安に着く、翌朝七時北黑線に入る。

◇…現在總局の本營業は辰淸(營業二站)までであつて、この間は一面の黒土地帶であるが土地は非常に濕潤して餘程大規模な水利計畫でもやらぬ限り農耕は興らぬであらう、事實この線は經嶺に近い環瑷縣に入るまでは車窓から農戸を認むることは極めて稀である、沿線兩側で五百戸以上の農家を數へることは恐らく困難であらう、それほど人煙稀薄な荒涼たる地帶である。

◇…辰淸以北はまだ鐵道建設局の假營業線である、辰淸までは驛舍なども整つてゐるが、それ以北は各驛とも驛舍や從業員住宅などを建造中である、辰淸の次驛陳嶺あたりから小興安嶺山脈に入る、山は左程峻嶮といふほどでもないが、隙間なく波のやうにうねつてゐる山岐を五月の初めといふにまだ氷塊を岸の楓や白樺の根もとに流し殘してゐる淸冽な瀟河拉河と遂つては離れて走る。

山は殆んど白樺で蔽はれ間々楢を見るのみである、直幹に銀を着た白樺の密林は目覺めるやうに美しく山そのものを明るくしてゐる、小興安嶺の森林面積は約一千萬町歩、材積三十五億石といはれ白樺が最も多く北部には落葉松が多い。

◇…清溪、堯中間にある本線で唯一つのトンネルを潜り午後二時頃小興安嶺の中央部孫吳に着く、こゝは建設の殘工事の中心地でまだ殘らか建設景氣が殘つてゐるが驛近くに土壁、トタン屋根の料理店が五、六軒並んでゐる、小興安嶺驛で小興安嶺と別れ、朝水を經て瑷琿驛に近づくと流石によく耕されて舊家らしい農戸が點在してゐる、瑷琿條約締結地として近代東洋史に馴染の深い舊瑷琿城は驛から東北方六キロの距離があり望見し得られない、薄暮黒河に近づくと先づ眼に入るのは、煌々たる電燈で包まれたブラゴエスチエンスク市街である、次いで黒河の燈が見える、夜景には黒河とブラゴエスチエンスクは一國の市街のやうである。【寫眞は北黑沿線の白樺林】

近代醫術を超えて 祈禱師の神秘
不治の難病を全癒さす 興安嶺に靈泉か
オロチヨン

【哈爾濱】北滿廣軌線濱洲線興安嶺中の小驛牙克石から程遠からぬ部落にギリシヤ正教寺院がある、こゝの住職チエモルフエイ師は昨年夏以來健康が優れず哈爾濱で日露獨の

醫師七名の 診察を受けたが胃癌で既に手おくれで手術のしようもないと見はなされたので北平に赴きロックフエラー病院に入院、ラジウムによる治療を受けたが効果なく後二年の生命だと死の宣告をされたので宗教家らしく觀念し、餘命あるうち寺務を整理し安心して死すべく本年再び山に歸つたが滿蘇國境に近いヂンヂスカン古城で知られてゐるガン河の上流にあるオロチヨン部落に、同族から神の如く崇敬されてゐる祈禱師シヤマンが如何なる難病でも治癒さすとの噂を聞き友人に相談したところキリスト教徒はあらゆる方法によつて

自己の生命 を護るのが神の意思にかなふものだと勸められたのでシヤマンを訪ねて祈禱を依頼した、シヤマンはチエロルフエイ師を自家に滯在させ獨特の祈禱を行ひ日出と日沒に氷を割つて採取した天然氷を多量に飲ませたかくすること四十日、效顯現れて病氣は治療したが尚は體力を恢復するため十四、五日間の滯留してゐるうち完全な健康體となつて此程哈爾濱に來り二、三の醫師に診察せしめたところ胃癌は跡方もなくなほつてゐるとのことに勇躍して寺院に歸つた、祈禱師シヤマンの靈力か

自然の偉力 か興安嶺には特殊な鑛泉が湧出するといはれてゐるから或は鑛泉によつて此奇蹟的な事實が生れたのかも知れない、右に關して多年考古學的調査のため同方面に入り込み事情に通じてゐる哈爾濱博物館のポノソフ氏は語る

興安嶺以西に鑛泉がよくある話は聞いてゐるから或はその一つかも知れぬ、誰かロシア人の專門家が調べたことがあるかも知れぬが何しろ丸で方面違ひだから確かなことは言へない、私の見聞した範圍ではホロンアルシヤン溫泉については既に一般周知のことだがその他にはダライノール湖の南側の

一部に泥土 で健康に非常によいのがあつて病弱な人がよく行く、前は泥土を體にぬつて浸つてゐるだけだが効量顯著なのは事實だ、それから哈拉爾河の支流メルゲール河の上流にナジンブラーグと言ふ部落があるがその附近に鑛泉があつて鐵分を多く含んでゐるといふので持ち歸つたことがあるが途中ビンを壞して分析することが出來なかつた、デルブール河の流域にも一ケ所あるさうだから、今度の話は之れではないかしら、兎も角興安嶺以西の鑛泉についてはもつと學術的に研究する必要があらう

漸く春の跫音を聽く國境の町

【滿洲里】滿洲國の最西北端滿洲里には漸く春の跫音が聞え始めた曠原の枯草をよぎるのは最早肌を刺す酷烈な蒙古風ではない、この五六日の好天氣に惠まれて木の芽もふくらみ始めた、そして家族づれでピクニックを試みる「氣早やな」連中もボツ／＼現れ始めた、しかし山にはまだ寒々と身に沁む風だ、寫眞のやうに風よけを背に震へながら冷たいビールの杯をあげる、前方に黑く見えるのはソ聯領の連山だ、酷寒から解放されると同時に自轉車熱も盛んになつて來た馬よりも輕快で簡易でよいのらしい、街を漫步する人々の中には蒙古の兵隊さんの花嫁がハイヒールに蒙古服姿で颯爽と人目をひくのも現れてゐる

多倫廟の喇嘛法會(下)
修理完成で盛大に擧行

【多倫】多倫廟には東西兩廟があつて東を彙宗寺、西を善因寺と名づけ多倫市街の北方千五百メートルの丘阜上に南面して位置する、東廟は康熙帝、西廟は雍正帝の建立にかゝるもので特に西廟は清朝の勅願寺として東廟と共に內蒙喇嘛教の總本山である、十數年來の兵燹と數十年來加修しないので相當荒廢してゐるが、尙は壯麗な美觀をとゞめ多倫一の名所たるを失はない、內部に十三個の倉(附屬寺)を有し往時各倉に十三活佛があつた、その筆頭活佛の有名なのが章嘉活佛である、目下關東軍から補助された一萬圓で修理中で概ね廟法會までには完成すべく面目は一新されるであらう

十數年來中絕され 昭和八年から復活す

多倫廟の法會は他と同樣に舊曆六月十三、四、五日(本年は陽曆七月の同日)の三日間行はれる、往時多倫が殷盛を極めてゐたころは內外蒙における隨一の法會として近隣蒙古人は勿論、遠くは外蒙西藏、新疆方面から參集する蒙古人は數萬に達しこの機會に行はれる市では蒙古出產物である數萬の馬牛、羊等の取引が行はれこれが買出しに來る者も遠くは外蒙庫倫、北平、天津、上海、南京地方に及んだ、そして多倫廟を中心に殷賑を以て覆はれたといはれてゐる、かうした意義ある多倫廟法會も多倫の衰徵とゝもに衰へて十數年來全然行はれてゐない有樣であつた然るに昭和八年、關東軍の援助で李守信軍が多倫に入ると同時に遂次治安が恢復し同年十月、形式だけの法會が擧行され、爾來特務機關の指導によつて多倫の秩序竝びに諸政愈々恢復するに至つたので昨年度においては所定の期日にこれを擧行し且つこれに因んで多倫復興祝賀の意を加味し約一週間に亘つて各種の催しが行はれたので蒙古人の集まるもの千人、滿人二萬に及び活佛さへも參加して實に二十年來の賑はひを見せた

各種催しを加へ 着々準備計畫を進む

新滿李守信軍及び特務機關の進出以來滿二年、今や多倫の太平も四隣に響き勞々宣傳の效果も加はつて親日滿の思想漸く盛んになりつゝある折柄、本年の喇嘛法會は改めて盛大に擧行して有形無形の效果を收むべく目下着々計畫中である本年實施すべき各種の催し物は▲跳舞(跳鬼)喇嘛▲蒙古角力…蒙古人▲競馬…滿蒙人▲大運動會…日滿蒙人▲旗及び提灯行列…日滿蒙人▲高蹻會▲小船會▲小林會▲秧歌會…いづれも主として滿人▲物產陳列館…多倫縣公署▲芝居…滿人▲各種牧畜市

で本年は喇嘛廟の修理も完成するので蒙古人の來集するものは數千の多數に上るであらうと豫想さる

熱河、多倫間 奉山バス利用

以上上下の二回に亘つて喇嘛法會の概要を連載したが惟ふに二十世紀文明の今日獨り蒙古だけが今なほ原始的生活を持續してゐることは、その事實が既に一つの奇蹟と見るべく千古の謎を秘める蒙古に今なほ傳統される古典的跳鬼こそ蒙古研究者は勿論、一般人も一應見物して蒙古風俗の一端を知るべきであらう、參考までに熱河方面より多倫に至る交通便を記すと承德—圍場—多倫道又は朝陽—赤峰—圍場—多倫道二つにより奉山バスを使用するのである(完)

改札口を色別表示
自働行先時間表設置
まづ奉天驛に

【奉天】全滿各驛に魁けて全滿鐵線における貨客收入の三分の一を擧げてゐる奉天驛では過般旅客サーヴイスの一つとしてクリスターライトで改札口を色別に表示しインヂゲーター(自働行先時間表)を設置すべく計畫し此程機械の到着を見たので目下取付け中であるが各改札口にインヂゲーター、クリスター各一個宛八個を取付け十三日より使用するがこの總額約三千五百圓で滿洲では奉天驛が最初でありこの成績を見た上、大連、新京安東各驛にも設置する筈でこれが完成の上は六ケ所の改札口を有する奉天驛の發着ホームが一目瞭然となり非常に便利となる譯である

王道を憧れ ソ聯を脫出
獨逸人の靴屋

【チチハル】去る二日午前十時ごろ濱洲線成吉斯汗驛に半裸體の病人らしき外人が辿りついたのを同驛路警が發見し事情を聽取したところ件の外人はドイツ人コース(五〇)と稱し、チタで靴屋を經營してゐたが、蘇聯の壓迫に堪へかねて脫出を企て、巧にゲペウの監視をのがれて三月十日滿洲里附近に越境入國の上、草根木皮によつて飢を凌ぎつゝ憧憬する王道國の首都新京指して徒步の旅をつゞけてゐたことが判明、路警分駐所では衣食を與へた上、札蘭屯に連行し引つゞき取調べ中である

團體往來(十二日)

▲朝鮮光州中學校生徒一行七八名午前六時四十分列車で新京着
▲愛媛縣師範學校生徒一行六八名同上
▲シンジケート銀行團一行二二名午後七時二十分新京發列車で哈爾濱へ
▲大分縣師範學校生徒一行五四名午前十時十分新京發列車で公主嶺へ
▲小林侍從武官一行三名午後三時列車で新京着
▲廣島師範生徒一行七五名同上
▲三重縣師範學校生徒一行八三名同上
▲小倉師範學校生徒一行四〇名同上
▲遺骨十二體同上
▲大同學校生徒一行一四二名午後三時十分列車で新京着
▲千葉縣派遣滿洲慰靈視察團一行四〇名午後六時三十五分列車で新京着
▲大連浪速洋行視察團一行十四名午前九時二十分新京發列車で哈爾濱へ

白衣の勇士を 自轉車で慰問
大連、哈爾濱間十病院訪問
福山から二青年

【奉天】北滿第一線の護りとして各地に轉戰し傷つき或は病んで病床に呻吟する白衣の勇士を慰問のため遙々福山市から自轉車で來滿した二青年が十一日深夜奉天憲兵隊本部を訪れた—廣島縣福山市笠岡町三村稔(二〇)同北吉津町本通石井時太(二〇)の

兩君 で去る四月二十九日天長の佳節を期して約一ケ月の豫定で郷里を出發、五月二日釜山に上陸し京城に一泊九日午後六時着この間朝鮮を自轉車で縱走し豫定を變更十一日午後八時五十分着安奉線で來奉したが慰問文を遼陽宛に發送したため十二日遼陽に赴き衞戍病院で滿洲で最初の慰問を行ひ、同日午後四時五十分歸奉「在滿皇軍傷病兵慰問自轉車走破隊」と記した旗と國旗を掲げた自轉車に青年團服姿の兩君は日燒した顏に微笑を湛へ

朝鮮は自轉車で突破しましたが田舍では道路の惡いため相當惱まされました、安東から矢張り自轉車で一氣に遼陽方面に拔ける積りでしたが

惡路 のためと匪賊等の危險もあると云はれて止められましたし又一人(三村君)が臀部に腫物が出來たゝめ自轉車が一寸無理で汽車でやつて來ました今日は慰問文が遼陽宛に發送してあつたゝめ遼陽に行き衞戍病院で最初の慰問をして來ました今度のは傷病兵の慰問で滿洲といひましても大連、哈爾濱間沿線十ケ所の衞戍病院を慰問するのです、慰問文は福山市內の八小學校から二千通を、また縣社延廣八幡宮から御守札五百通を頂きました、十三日には奉天衞戍病院に慰問をして十四日鐵嶺へ行きます

記者が動機を問ふと石井君は龍山で軍隊に居りましたし私も第一補充で在鄕軍人の一人です、で軍人の精神、軍隊生活を知つてゐますし、昨年十月新聞で傷病兵が

事變 當時と殆んど變りないが慰問者が少いのを知り二人で貯金を始め最近漸く豫定額に達したので天長節を期して出發したのです

と語つたが兩君は同市の近所で三村君は時計商、石井君石炭商で自費でこの獻身的壯擧に當つたのである(寫眞は奉天驛頭で右三村君左石井君の勇姿)

國立博物館 開館式延期さる

【奉天】世界に誇る東洋文化の大殿堂として商埠地九緯路の舊湯玉麟邸を改造建設中の滿洲國立博物館は來る十五日華々しく開館式を擧行する筈であつたが、開館の諸準備が未完了のため六月一日に延期されることになつた

北安邦人の 悲觀論解消

【北安】北安領警分署管內五月一日現在の邦人居住人口動態は左の如くで或は邦人の一千臺を割るかに氣遣はれた北安は解氷後漸增の勢ひを示し現在では悠々千百三十餘名を突破し悲觀論を解消した、なほ北黑沿線では解氷期に入り急激な增加を辿つてゐる

△北安　邦人戶數四九〇人口一一二八、鮮人戶數八〇、人口一五〇
△龍鎭　邦人戶數二三人口二八、鮮人戶數四人口八
△辰清　邦人戶數七八人口一二三、鮮人戶數一一人口一三
△孫吳　邦人戶數二四八人口四三四、鮮人戶數二七人口三四
△克山　邦人戶數七四人口一二一、鮮人戶數一九人口五三
△泰安鎭　邦人戶數二四人口八二、鮮人戶數二五人口六四
△其他　邦人戶數四四人口五三、鮮人戶數三二人口七一
△計　邦人戶數九八一人口一、九六九、鮮人戶數三六四人口一、〇七二

失踪舵夫未だ判明せず
河南丸怪事件

河南丸の怪事—舵夫失踪事件に關し大連水上署より伏木水上署に照會中のところ十三日回答があつたそれによると舵夫田民外次郎(　)が行方不明になつて間もなく島根縣加島沖に慘殺死體が發見されたとの報により家人が之を田民ではないかと推定したもので未だ田民の死體であるか否かは判然せず、目下伏木署では濱田署に田民の寫眞を添附照會中である

紅卍字會遼陽總會では臺灣の大震災に對し各分會より募集した義捐金五千元を奉天日本總領事館に代送方を依賴した。

◇

所轄各縣を視察して來た竹內奉天省總務廳長は、西豐縣を第一模範縣だと稱揚してゐる。

◇

現大洋の暴騰で大痛手を蒙つた者は支那商品の輸入に關係のある大連、營口、奉天、安東、哈爾濱の滿人卸商、また山東の苦力諸君も折角汗水たらして働いた金が國元への送金に半額にもならないので可哀想なほど悲觀してゐる。

◇

官軍と共產軍とが死もの狂ひで激戰を交へてゐる支那貴州省のお

◇

廣西省では金礦ますます旺盛でゴールドラッシュの大景氣。

◇

支那廣東省の民政廳では地方自治完成のため縣政指導員を各縣に派遣した。

◇

映畫「百萬人の合唱」が珍しくも支那のキネマ雜誌に驚異的に批評され日本映畫界の出路を打開した記念すべき一大新作品で日本の音樂映畫の前途に大きな希望を想はせるものであると云つてゐる、日支映畫親善の第一聲としてこれを支那に持つて行つては何うか。

談天談心
〝近江園〟に遺す
奉天商工會議所會頭 石田武亥氏

◆…過ぐる大役に從軍記者で渡滿したのだから、ことし幾つになるか知らぬが義理にも若いとはいへないね、その證據に近年腰の骨が痛くなつたのだ、さてはござつたなと思つたけれども、何ごとかあらんとばかり捨てゝ置いたら、それが段々下降して膝關節に來り更に下降して近ごろではくるぶしのところに停頓したまゝ動かない、痛いといつても知れたものだから、そのまゝにしてあるが他人が見たら慶ぶんか步行が不自由らしく思ふかも知れない、醫師はもとより何もしないことにしてある。

◆…醫療はせぬが、マルで赤の他人にも出來ぬので、出來るだけ運動に精出すことにきめて居る、運動といつて全然無目的でも困るので、土塊弄りを始めた、朝早く自ら苦力頭となつて二萬坪を整地し造園するのだ、マン中に池があるので、自然庭の中心がきまるから、それを王座に置いて、林泉を按配するのである、二萬坪といへば可なりの廣さだ、一まはりすれば好い運動になる。

◆…ところは奉天郊外、大耕土の隅に區切られた二萬坪、名づけて「近江園」といふ、生れが滋賀縣大上郡だからばかりではない、運河に近いからとも讀んで貰ひたいし、マン中の池を江に見立てゝも貰ひたいし、それに第一、日本語でも滿洲語でも極めて呼びよいところが、この名稱ある所以だ、池塘ありて岩石なきは面白くないので、安奉線から二車ばかり引いたがまだ足らぬ、樹林の布置には少しばかり味噌がないでもなく、櫻の苗木を植ゑて枯れを二、三にとめたのは自慢して良いやうにも思ふがどうか、いづれ自慢の花が咲いたら園遊會を開くことにしたいものだ。

◆…銀行だ、信託だ、保險だ、いろ／＼の事業に手を出して、或は出させられて、我がためか他のためか分らぬ仕事に精根を勞り減らして來た過去を顧みて、こいつ將來に何も殘らんではないかと考へつくと、少し寂しくなる、たゞ近江園ばかりは一樹一石すべて皆石田の再現だ、これある哉と感ぜずに居られないのである(奉天)

張軍政部大臣

【奉天】在奉國軍各部隊機關中の張軍政部大臣は十二日午前八時ヤマトホテル出發、北大營の陸軍教導隊へ赴き憲兵、憲少將より狀況報告、書類檢閱、步、騎兵、舍內の巡視更に午後零時三十分より騎兵團連長の「軍旗の意識に就て」と題する精神訓話を聽取し、同一時二十分より教練檢閱、同四時半ホテルへ歸還した
尙十三日は午前八時三十分ホテル出發、前日同樣教導隊へ赴き同十時より騎兵の戰鬪教練檢閱引續き將校の圖上戰術檢閱、午後一時より講堂で全隊員を集め一場の訓示をなし、ホテルへ歸還の豫定

小說 儒林外史(三)

原作 吳敬梓
譯 瀨沼三郎
挿畫 河野久

四斗子が岸に上つて駈け出さうとすると、荷擔ぎ人足共が船頭達と一緒になつてその行手を遮つたと騷ぎ船頭達は役所沙汰になつては……

「嚴大旦那樣、全くあれが惡かつたのです。思ひ違ひから旦那樣の藥を食つて了つたのでせう、が、あれは素寒貧の男で、耕ぐるみ賣つたつて旦那樣の幾十兩の大金は賠償することは出來ません。役所に送られてもどうもなりません、どうぞ特別のお慈悲で許してやつて下さい」と詫びた。

彼はます／＼威丈高となつて怒鳴り散らした、それを見かねた荷揚人足の五六人がやつて來た。

「こりや、もと／＼お前達がへまだよ。先刻舟が着いた時、嚴の旦那に祝儀や酒手を强請さへせにや旦那も疾くに轎で何處へ行かれて了つた頃だ。お前達が引留めたので藥のことを思ひ出されたのだ。お前達に旦那の藥を賠償することが出來にや、嚴の旦那はお前達の船賃なんか鐚一文だつて拂はれるもんか」

一同はかの舵子を引張つて來て幾つも頭を下げさした。

「皆がさう言ふのだし、わしも喜び事で忙しいから、這奴は放してやる。勘定はあとでゆつくりしやう。まさか這奴も逃げ隱れはしなからう」

彼は態度を軟げて、鷹揚に轎へて轎に乘つた。行李や召使が後に跟き、掛け聲と共に去つた。一同は呆然とこれを見送つてゐた。

彼は歸宅すると、直ぐ次男と嫁を引連れて祖先の靈廟に禮拜し、また妻を呼んで新郞新婦の挨拶を受けさせた。

彼は妻が主人の居間の片附けに大騷ぎしてゐるのを見て言つた。

「お前は何をじたばたしてゐるのだ」

「この家の狹いのは御存知でせう好い部屋はこの一間しかないのですよ。花嫁さんは大家の娘さんだ

告げて去つた。

彼は直に赴いた。挨拶が濟むと直ぐ四、五人の召使を呼んで、

「主人の居間を掃除しておけ、明日から家の二番目の若旦那と奧さんが來て住むから……」と言付けた。

夫人はそれを聽き、先妻側の義兄に、

「兄さん。本家の兄さんは今なんと仰しやられました。嫁さんが來たら裏の部屋に住はせて妾が表の本間—主人の居間—に住むのが當然でせう。嫁が母家に住んで母親が裏に住むなんて、そんな道理が世間にありませうか」

「ママ狼狽なさるナ、何とでも言はして置きなさい、きつと相談がある筈ですから」

と王仁が慰めて部屋を出た。

王兄弟と彼と三人は、二タ言三言雜談を交し茶など飲んでゐると王家の使ひが、

「同學の御友人の方が文章の會をやるのだとお待ちです」

と告げに來た。で、二人は別れ去つた。

選ばれた赤ちゃん
新京の優良兒審査

【新京】満鐵地方事務所主催第六回兒童愛護週間中の兒童審査會は七日で終了を告げたが期間中多大なる父兄の關心を呼び「わが子こそは」とマル〳〵肥つた自慢の幼兒を抱へた婦人がワンサ〳〵滿鐵病院小兒科へ押しかけ總計百八十名といふ盛況振りで係員の醫者が目の廻るやうな忙しさの内に痣の點檢から舌の先まで精密な調査を遂げた揚句八日から四日間嚴重なる審査をなし第一次で三十一名を採り第二次で最優良兒六名（豫定五名）優良兒十一名（豫定十名）選外最優良兒三名の正式決定を見氏名を十一日發表した即ち左の如し

▲最優良兒
新市街興安大路六一八號　大谷悦子（九年十二月二十一日生）
市内梧桐町二丁目一番地　古川博之（九年九月十七日生）
市内磐月町一丁目一番地　高橋俊朗（十年一月一日生）
市内入船町三丁目三ノ二　山下哲也（九年十二月八日生）
新市街新發中大同自治館　矢野毅（九年十一月二十五日生）
市内錦町四丁目一ノ二　山田保（九年七月十日生）

▲優良兒
後藤孝雄、中川榮、船木恒美、小島障夫、福田堯子、奥尾順子、川上隆司、中川侃、松村緑、小林妙子、舞木亮二

▲選外最優良兒（三名）
篠原陽子、林光子、美馬淑子

薄着で通した
大谷さんの談

【新京】最優良兒の選に入つた大谷さんを訪ふと滿面に包みきれぬ喜びを湛へながら語る

私共は元奈良に住んでゐましたので氣候の不順な當地に參り相當子供に苦心しましたが一年中薄着で通すやうに心懸け母乳で育てゝ來ました、これの兄に當る今年四歳の哲也は昭和七年に奈良縣下の優良兒として表彰されたことがあります

標準よりよい
長田醫師談

【新京】一週間餘の兒童の審査を終へてホツとした滿鐵小兒科長田中醫師は語る

西尾參謀長

【營口】關東軍參謀長西尾中將は十二名の隨行員を伴ひ十一日午後二時十八分着列車で來營、直に營口憲兵分隊を檢閲し海邊警察内を視察營口ホテルに一泊した

昨年と略同樣成績は良好だつた皆一樣に立派な體格の持主で非の打ちどころがなく全く合格不合格は紙一枚の差で審査に困つた文部省の標準より平均身長においては六糎程、體重は二キロ程高かつた、全部の約八〇パーセントは母乳で育てたもので兩親に對して注告することは母乳で育てること、衞生的取扱ひに注意すること、子供に對する觀察を鋭敏にすることだ

何右の表彰式は來る十七日擧行される筈である

哈市の食糧品販賣
統制に一歩前進
滿露人の對立、不正等を打破
多年の懸案解決へ

【哈爾濱】哈爾濱における食料品檢查問題は舊東北政權時代以來屢次問題化されたが諸種の事情が複雜して實現するに至らなかつた、併し滿洲國成立、哈爾濱特別市實施と着々軌道に乘つたので最早不衞生な放任を許さぬ時代となり市當局にてもあらゆる困難を排して實現に邁進し曩に屠殺場に對する嚴重取締り酒類の統制等實行したが今度は更に一歩を進め哈爾濱食料品業の癌とされてゐた露滿人

對立 を高壓的に打破し從來の行きがかりに頓着なく斷行することになり統制、檢查、價格と市が積極的に干渉的態度に出で多年の懸案を一擧に解決し市民の輿望に副ふことゝなつた、先づその第一歩として露滿人の別なく麵麭製造業者の組合を結成させ粗惡な麥粉や玉蜀黍粉の混入など粗製品の販賣を禁じ嚴重な檢查をすると共に價格の人爲的吊上げを極力防止する、又近來松花江魚類の需要が增加し且つ漁撈期に入つたので之亦哈爾濱市中に供給する漁夫及び魚商の組合を作らせて取締ることゝし肉類販賣業者も同樣統制を

實施 して中央卸市場問題解決に備へる、又哈爾濱には露滿人合せて約二百軒の牧場があつてそれ〳〵市中に牛乳を賣出してゐるが從來屢々市民から統制が叫ばれたに拘らず實現するに至らなかつた、これが爲めに中には粗惡な無消毒な牛乳を賣り出すものもあつて健康を害した例は極めて多いこれが品質及價格の統制は最も急務とされてゐたので市が今度之を嚴重取締ることに決したことは市民から大いに好感を以つて迎へられてゐる

全市を五區に分ち
新京特別市防護團
十二日編成を決定

【新京】附屬地及び特別市の兩防護團から編成された新京聯合防護團中附屬地防護團の編成は既報の如くであるが特別市地防護團の編成は十二日左の正式決定を見た

一、特別市地區防護團（本部新京特別市公署）團長植田市公署總務處長、副團長谷口首都警察廳警務科長、東田在郷軍人第五分會長、庶務係主任平野市公署庶務科長、警防係主任吉本省首都警察廳、配給係主任竹内長春公署參事官、會計係主任宇山市公署經理科長、衞生係主任松井首都警察廳、工作係主任黑木市公署土木科長

二、防護分團編成　▲長通路分團（同團長同署々長）▲大經路分團（同團長秋山同署々長）▲四道街分團（同團長康同署々長）▲南關分團（同團長金同署々長）▲寬城子分團（同團長佟同署々長）

三、▲第一班（長通路分團）班長郭德揚▲第二班（大經路分團）班長董喜眞▲第三班（四道街分團馬俊峰）▲第四班（南關分團）班長德永司機▲第五班（寬城子分團）班長濱伍千郎

實業會役員會

【遼陽】遼陽實業會では十三日午後四時から評議員會を開催

第二十回全滿商議聯合會の經過報告、第二回鮮滿商議聯合事務協議會出席の件、新加入會員會費査定並に既加入會員中會費變更の件、職員旅費規程制定其の他に付協議すると

尚は新任會長高木儀三郎氏は會議終了後評議員及び顧問相談役其の他を玉家本店に招待披露宴を催すと

3A—1
大連實業勝つ
◇……對全新京野球戰

【新京】全新京對大連實業の野球戰は十二日午後三時二十五分から西公園球場で全新京の先攻で開始されたが三A對一で實業勝つ、閉戰五時（球審）岩井（壘審）赤木、高橋

新京 000　000　010＝1
實業 000　030　00A＝3A

◇一回　新京無爲▼實業二死後松尾の右中間二壘打だけ
◇二回　兩軍凡退
◇三回　新京依然走者無く▼實業も二死後内田遊擊右に單打しただけ
◇四回　新京凡退▼實業一死後宇多村中堅單打し鈴木二直後野田の三遊間單打で二進したが佐藤投邪
◇五回　新京古賀中前單打したが高橋左飛大田原投前▼實業稻田遊擊上田遊匍▼實業稻田右翼線に單打し井上の投手強襲單打に二進内田二度バントを失して三振に退き松尾初球を中堅右に單打して稻田還り井上三進松木の中飛に井上も還る宇多村遊匍失に生き松尾二進鈴木の遊匍も野手一壘に高投して松尾も還る野田三邪飛
◇六回　新京無死藤戸左前單打したが後援なし▼實業（新京高橋退き藤井投手となる）二死後井上一、二間單打内田三越二壘打につゞいたが松尾カーブに攻められて三振
◇七回　新京淺香投手強襲單打し古賀の三前野手二壘に高投して新京の好機來る高橋の三側バント絶好の單打となつて無死滿壘（實業成松投手となる）大田原初球を二飛して淺香を迎へたが高橋と併殺され藤井投飛で一點を入れたゞけ▼實業二、四球と三壘凡失に二死滿壘となつたが稻田右飛
◇八回　新京藤戸二壘不規則バウンドの單打しただけ▼實業一死後内田遊越テキサスして二盜したゞけ
◇九回　新京川田四球に出たが淺香三振古賀中飛高橋左飛

戰評　試合はスコアーが示す程緊張したものではなく僅かに八回新京が無死滿壘となつて成松が立つた時多少どよめいたゞけで、實業は充分餘力を殘して勝つた感があり、試合そのものとしては前日の滿洲國戰の方が見應へがあつた▼勿論グラウンドの濕潤も多少影響したとはいへけふの新京軍は試合前から實業の顏ぶれに押されてか生氣少なくシートノックの時から既にアガリ氣味となり勝利への努力が不足したかに見えたことは遺憾であつた、その戰法として實業軍の大量得點を見越し積極的にピツチングに出たのは確かに當を得た作戰であつたがこの戰果の不足が平凡な佐藤投手退却の時期を遲らせることゝなつたとも言へやう

（全新京）

守	氏名	打數	得點	安打	犧打	盗壘	三振	四死	刺殺	補殺	過失
8	小淵	4	0	0	0	0	0	0	3	0	0
6	川田	3	0	0	0	0	0	1	0	4	1
7	淺香	4	1	1	0	0	1	0	5	0	0
2	古賀	4	0	1	0	0	0	0	3	0	0
31	高橋	4	0	1	0	0	0	0	2	1	0
5	大田原	3	0	0	0	0	0	0	1	1	1
3	上田	2	0	0	0	0	0	0	6	1	0
1	藤井	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0
4	藤戸	3	0	2	0	0	0	0	2	0	0
9	三輪	3	0	0	0	0	0	0	2	0	0
	計	31	1	5	0	0	1	1	24	8	2

（實業）

守	氏名	打數	得點	安打	犧打	盗壘	三振	四死	刺殺	補殺	過失
4	井上	5	1	2	0	0	0	0	3	3	0
6	内田	5	0	3	0	1	1	0	2	5	0
9	松尾	5	1	2	0	0	1	0	1	0	0
3	松木	5	0	0	0	0	0	0	11	0	0
7	宇多村	3	0	1	0	1	0	1	5	0	0
5	鈴木	3	0	0	0	0	0	1	3	3	1
2	野田	4	0	2	0	0	0	0	1	2	0
1	佐藤	3	0	0	0	0	1	0	0	1	0
1	成松	1	0	0	0	0	0	0	0	2	0
8	稻田	4	1	1	0	0	0	0	1	0	0
	計	38	3	11	0	2	3	2	27	16	1

▲二壘打　松尾、内田▲併殺　井上—内田—松木▲試合時間一時間三十五分

吉林の野球
リーグ戰

【吉林】東滿吉林も愈々春だ野にも山にも若葉の薫り紛々として萌え出た緑葉は飽迄人々の氣分を爽快に導く春に芽立つた若人の胸も早くも血に燃えて此處彼處では連日野球や庭球の猛練習が開始されて居る例年の如くオール吉林の野球リーグ戰も愈々來る十八日の土曜日から開始される事となつた、本年の參加チームはどんな顏觸れか未だ確定しないが領事館AB、實業のキネマ、黑ダイヤ、國際、九重、滿鐵、事務所、大同林業、學校、東洋醫院、滿洲國警官クラブ、總務廳國立病院、電々會社、電業會社鐵路局工務段、電氣段、大同セメント、守備隊等ザツト二十チームは下らぬ模樣で春期スポーツの劈頭を飾る本年のリーグ戰こそ期待が大きい

四平街にも
野球チーム設立
十九日對全新京戰

【四平街】全四平街野球チームは昭和十四年を最後として消滅したが最近四平街在住野球愛好者の間に再び野球部設立の意見が興り、殊に滿州外都市の如きは一般に娛樂が少く冬籠りから解放されてからの娛樂としては最も健全な運動競技が奨勵されるべきであるとの見地からこの意見は急速に具體化し、かつて滿洲野球界にその名を馳せた瀧崎（元滿倶投手）竹中（元滿倶投手）川上（元全新京投手）和田（元滿倶外野手）のOB諸氏が中心となつて正式に野球部を設立處女試合として來る十九日の日曜全新京を四平街に迎へて戰ふことになつた、十二日朝來京した瀧崎氏は語る

世間の人は殊更らに私が野球をしたがつてゐるやうにいはれるが迷惑なことだ、沿線の驛など勤務すると誰しもが感じることですがそれは運動以外には娛い娛樂が無いといふことです、冬籠りから解放された氣分を野外で思ふ存分に發散するといふことは私達にとつては最も大切なことで、自分達は健全な娛樂を奬勵しようといふ意味から誰言ふとなく自然にチームを作ることになつたのです、幸ひ私達の意見にほかの人達が贊成して各方面にかうした趣旨から運動團體が生れるやうになると好いと思つてゐます

京都慰問團

【チチハル】京都府駐滿部隊慰問團一行十三名は京都府總務部長中村國太郎氏引率の下に十日午後二時五分チチハル着、日の丸旅館にて少憩の後、滿本部隊司令部を訪問して伊藤參謀長と會見慰問の挨拶をなし同夜は一泊、十一日早朝よりチチハル駐市中の郷土各部隊を慰問の上、十二日北安へ向ふ豫定である

吉林建設の第一歩
護岸工事開始
六月上旬から着工

【吉林】大吉林市建設の第一着手工事として期待されて居る新吉國道を結ぶ市内東萊門、西關門の護岸工事は目下既に着手期に接して市政當局及び省公署其の他各關係機關では土地買收及び家屋立退の評價委員會其他種々具體案を研究中であつたが、愈々諸般の準備完了したので愈々來る六月上旬を期し大々的工事に着手する事となつた、本工事は普通の道路改修工事等と違つて相當技術を要する關係上全般的に國道局が責任を以て之に當り苦力及び普通工事は適宜國道局の責任者が之を監督して他の請負業者になさしめる樣になつて居るので國道局では本月下旬頃省公署内に事務所を設置し先づ本年は河岸への擴張工事より着手する事となつた

詔書奉戴式
十日吉林にて擧行

【吉林】吉林省公署の省下各縣々長に對する詔書奉戴式は既報の如く十日午前十時より禮堂において在吉各關係機關代表及び全省各縣長參事官等多數列席のもとに式は詔書捧讀式より擧行された、定刻一同着席を終るや式は嚴かに開かれ國旗敬禮に次いで李省長の詔書捧讀あり、續いて列席者一同に訓諭して同十時四十分嚴肅裡に捧讀式は終了、更に同十時五十分より省長室において各縣長に對し詔書傳達式を擧行し史上に新しき一頁を飾る同日の詔書傳達式は嚴肅盛大裡に同十一時十分終了した

終了後十二時より吉林クラブにおいて省長の招宴があり一同杯を擧げて今日の良き日を祝福したが同午後三時より同じく禮堂において南軍司令官の訓示傳達式を擧行し在吉文官多數列席し盛況裡に同三時五十分式を閉ぢた

巡回映畫
奉天教育廳が
農村民開發に

【奉天】奉天教育廳では省下各縣の僻陬の地にあつて從來極めて文化程度の低かつた農村住民に對し近代的科學文明の粋を鼓吹し、圓滿なる常識の發達向上を期するには先づ映畫を應用してといふので、此の程數千元を投じてトーキー映寫機を購入した、而して既報の如く各縣下の巡回映寫を開催することになり準備中のところ愈々十二日より數週間に亘り先づ瀋陽縣を振り出しに順次各縣を巡回することになつた、映畫は這般の皇帝陛下御訪日の狀況、滿洲國の全貌、その他

日滿要人も參觀
新京の二科展覽會

滿鐵地方部主催、新京日々、大新京日報及び我社三社の後援に係る二科展覽會は十一日より記念公會堂にて開催されたが、當日は招待日のため丁交通部大臣をはじめ日滿各界の要人等多數來觀、石井、藤田、田口、栗原各畫伯等の説明で觀覽して居た十日夜高等女學校に開催した石井、藤田、田口の三畫伯の講演會は來聽者五百名田口畫伯の二科作品に對する解説、石井畫伯の泰西名畫幻燈利用による現代美術の動向及び藤田畫伯の渡佛二十年所感等何れも香り高きその講演に滿喫十一時盛會裡に散會した

吉林民會記念日
創立三十周年を迎ふ

【吉林】五月十日は吉林邦人居留民會が成立した記念すべき日なので例年民會當局では此の日を吉林デーとして各機關休業の上市民の大運動會を開催して居たが本年は之を慶協に移管したので十日は只各機關及び市民は一日を休業し心計りの記念祝宴を催したのみであつた、而し行事こそ質素であつたが民會創立以來三十年の今日吉林の姿は全く過去の片影を認めぬ迄に一新さるゝと共に其の發展も又驚異すべきものがあり數名草分けの人々も過ぎし當時を偲んで何れも感慨深げだつた

北安白家農場
着々ご準備

【北安】北安領警分署並に鮮人民會が本年こそは一肌ぬいで本格的の農場にせんと試みつゝある北安郊外にある白家農場は解氷期に入らんとする四月中旬頃より再度の水田耕作の準備に着手し既に約百名の鮮農を送り而して從來の匪害を考慮した結果治安維持會方面より武器彈藥を借り受けるなど好意的援助に依り自警團を組織して匪襲に備へ着々と好成績裡に邁進しつゝある

チチハルの
慶祝大會

【チチハル】龍江省公署では來る十五日午前十時よりチチハル龍沙公園において詔書奉戴慶祝大會を擧行に決定、目下準備中であるが一方居留民會並に在郷軍人分會でも十四日午後五時半及び十五日午後三時半の二回に亘り皇帝陛下御訪日記念講演と映畫の會を開催することゝなつた、當日は恰もチチハル神社の春季大祭にあたり、日滿市民あげて慶祝一色の□□に彩られ感激の坩堝と化すであらうなほ慶祝大會の式次は次の如くである▲開會の辭　永井總務廳長▲國旗掲揚▲御眞影拜賀▲國歌及日滿交驩歌合唱▲詔書捧讀　孫省長▲祝詞朗讀　楊市長▲祝辭▲日滿兩帝國萬歳三唱▲閉會の辭　永井總務廳長

龍江省公署では來る十五日全國一齊に擧行される詔書奉戴慶祝大會を前に、主旨を管下一般に徹底せしむるため十日午前九時より會議室に梁龍江以下各縣長を招集し縣長會議を開催したが、詔書奉戴式の後、慶祝大會に關する打合せをなし正午少憩、御訪日映畫を謹映の上午後二時再開春耕資金貸附に關し、省當局の方針を指示し同四時閉會した

北鮮水產移出
近來著しく不振

【清津】北鮮主要水産市場の狀況は開鰯は四月末から香港南洋方面の需用旺盛となり一月來の下向相場を一氣に恢復し百斤二圓方の昂騰を告げたが鰮〆粕、同粉末肥料共に取引閑散を告げ相場も引續き軟弱にして重要仕向地である神戸へ三千五百俵、大阪へ七百五十俵敦賀へ六百俵といふ未曾有の少量の移出に過ぎず粉末鰮も亦神戸へ一萬七千俵に過ぎず相場も沖渡十貫三圓四十錢といふ安値を上下して居る、四月中の平均相場は左の如し

開鰯十八圓（百斤）鰮〆粕五圓（百斤）同粉末五圓二十八錢（百斤）鰮荒粕四圓（同）魚油一罐二圓八十六錢

青島、天津間
長距離電話
十一日より開始

【青島】國府交通部では過般來青島、天津間の長距離電話の架設を急いでゐたが愈々完成を見、通話試驗の結果も頗る良好であつたので十一日より本格的に通話を開始した

敦化の花祭り

【敦化】敦化佛教團主催、三新聞支局（大連新聞、新京日々、滿洲日報）合同後援にて西本願寺にて八日午後一時より大々的な花まつりが擧行された、前夜來の雨に道路泥濘の中を參詣するもの御堂をうづめ非常な盛會であつた、式の後兒童の爲の有益な童話甘茶菓子の接待等あり午後四時散會した

銀行團一行

【清津】小竹日銀理事外十四名のシンジケート銀行團一行の滿洲視察團は十八日雄基羅津を經て清津着市内を視察した上朱乙溫泉に一泊京城に向ふ筈である

碧波塘

◇大野關東局新總長　魚釣りの道樂だけは奥儀を極めてゐるが記者團との初會見に白狀に及んだ一條「魚釣りが出來んのが殘念だ、今まで内密にしてゐたが先年ヨーロツパからの歸り大連で三、四日コツソリ釣りで暮らしたが流石の記者諸君も全然知らなかつたらしい」

◇遠藤柳作氏　鮮かな身捌きに好評を博してゐるが、運惡く食當りか何かで身體中に發疹が出來て大弱り場合が場合だけに色眼鏡をもつて見る向もあるが正眞正銘の病氣

◇長隈さんの滿洲國入りで「あんたも行くそうですね」と各方面から聽かれて困つてゐるのが武部司政部長「こちらに來る時、あつちは流言蜚語の本場と聞かされて來たが、なるほど思ひ當つたよ」

スポーツ

全國・體育運動主事會議に臨みて（13）

滿鐵體育係主任　齋藤兼吉

視察事項（上）

次に神戸アイスケート場に行く。此處では觀覧券十錢を拂つて見學し、場内の見取圖をとり規定を貰つて退出。日本の若き男女が外人のやうに手に手を取つて滑る樣は哈爾濱のリンクを彷彿させました。兩リンクともアイスホッケーを行ふには狹いやうである。

◇

九日は兵庫縣學務課に電話して神戸市中の小學校の體操の授業を參觀する爲め優秀校名を尋ねました。先づ入江校に到り、縣體育主事も來て授業を參觀しました。次に大開小學校に到る。二千餘名の兒童在籍の當校にて第三次限に一組の體操授業もありません。都會校體操授業のサボ?體育主事は可成り辛辣にその理由を追及しました。四次限に四クラスの授業を參觀しました。午後北野小學校を參觀十名ばかり優秀兒童に器械使用の二種目を見せられ、楠公六百年祭に行ふ合同體操の一職を見せられました。滿洲お上りは少々馬鹿にされる感があります。

神戸市の小學校體操は、東京の三橋研究所の三橋氏の影響多しとのこと、然し、三橋氏も小學校の體操を如何ともすること出來ず、從來の文部省要目體操教材にニルスブックの教材を處々に挾んだゞけで、何等の進歩も打開も無いやうであります。

◇

九日夕大阪に到り、大朝のルーフにあるリンクに行きました。幸ひにも、稻田悦子の練習を見ることが出來ました。悦子は十四歳位の全く少女です。スクールフイガーは識らぬがフリースケーチングは實にうまいやうです。全く完全に自由自在だ。一九三〇年の女子歐洲選手權を見ましたが、フリーで此の悦子位の者は無かつたといへませう。其時は△二標は出場してはゐませんでしたが、悦子が世界選手權を取るのは日本にコーチがゐるか何うかの問題です。末恐ろしき少女ではあります。

◇

大朝のリンクは十三間の十間位の狹いものであるが、設立は日本でも早い方である。氷の厚さ一吋から一吋半、一日三回撒水撒水後一時間は使用禁止。メチレンクロフカイド式マシンはリンクの下百三十呎の所にある。朝七時より（冬は六時）十時まで、一週一回氷面をけづる。リンクの上方は矢野の三重大幕、高さ一丈半位、三百燭光二十位冬季の入場者多し。收支相償ふ右のやうな說明をして吳れました。（つゞく）

加奈陀チームとアイスホッケー【六】

滿洲醫大　十川彌市

日本選手の體格的缺陷

▼…現在如何に最負目に見ても體格的には大なるハンデイキヤツプのあることはどうすることも出來ない、從つて日本選手は此の不利を初めから無條件に負擔せねばならない。人种もするとアイスホッケーは輕快なる滑走の競技であつて、決して相撲の如き或は柔道の如き直接行動の競技でないから體格の大小など問題でない、況んやルールには接觸することを禁止されて居るではないかと云ふ樣であるけれども、それは競技の實體を知らざる皮相の見方であつて、現行はれて居る競技と云ふ競技は一として身體の矮小なるものがよいと云ふものはない。アイスホッケーに於てはルールに接觸を禁じてあると云ふことは故意の夫れを意味するものであつて、避くべからざる自然の接觸は常にあるのである。否斯くの如き複雜にしてスピーデイな競技にありては寧ろ接觸するのが當然である。

▼…然らば接觸はお互であるから何等差支へないと云ふかも知れないが、それがスケートに於ては大なる問題である。即ち氷上に於ては實に僅かなる接觸衝突であつても、選手の動作を阻害することは非常に大きいのである。今若しスケーテイングの技術同樣にして然かも同樣な狀態にて二人が衝突したと假定するならば必ず身體の小なるものが轉倒するのであるさうして若し轉倒したものと然らざるものと何れが有利であるかは最早說明するまでもない。特にスケートに於ける滑走中の轉倒程其の後の調子を崩してしまふものはない。此處には單に接觸或は衝突の場合のみを簡單に例證したに過ぎないが、其他如何なる場合に於ても優秀なる體格の所有者が常に有利であることは云ふ迄もない。

▼…ロジャースコーチは「日本は今後重量選手に着眼せよ」と云つたが、もとより吾々の既に望む所であるけれども一般的に矮小なる日本人を斯く云つて見ても容易に實現するものではない。故に私は現在の體格を以て如何にすべきかを考へねばならないと思ふ。遺憾乍ら體格的缺陷は遂に精神に影響しカナダと試合した何れのチームも彼れの猛烈なる攻撃を受くるや恐怖心を起すものか上體は立ち氣味になり、隨つて動搖或は轉倒する場合が多くなつて居る樣であつた。

▼…この問題は可成り重大問題であつて、又カナダの特徴を述べんとするのが私の本心でもあるから此處に多く述べる意思は無いのであるが、餘り現實に大なる差を見せつけられて大なる衝動を受けたのみならず偶々滿大對カナダの試合の場合、遣り方に依つてはある點まで補つて行けるなと云ふヒントを得たから此處に附記的に記することにしたのである。即ち滿大對カナダの試合の際に於ける西田選手の遣り方であつた。西田選手は元來ラグビーの選手であつてアイスホッケーとしては滿大中左程優秀な選手でもなく、かゝる大試合に出場したのも勿論初めてゞある。初陣の彼はデフエンスとして出場したが、顏色蒼白となる程緊張して夢中に戰つて居たが、カナダの猛襲を受くる毎に本人は或は無意識ならんも本職のラグビー試合の場合においてルーズの中を猛進するが如く、敵が近づくや上體を前にかけ頭を下げてバックを目標としつゝも實は身體は敵の身體を目標として猛烈に突き込んで行くためカナダのウイングは屢々轉倒してアッケに取られて居つたのである。勿論故意に人體に向つて突入することは反則であることは云ふ迄でもないが、西田の場合は結果から見て極めて妥當に行はれて居た爲め罰則を課せらるゝなどのこともある筈なく、大に日本人の溜飲を下げたのである。之れは偶々起つた一例に過ぎないが、斯樣にして種々研究して行くなれば日本人如何に矮小なりといへども或る程度に其の不利を減ずることが出來ると思ふ。

▼…さすがはアイスホッケーを以て國技として居る程の國だけあつて、輝かしい歷史と惠まれたる環境の中に、しかも優秀なる體格と體力を以て練磨に練磨を積んだ一切の好條件のもとにあるチームであつて、其の偉大なる實力は實に敬服羨慕に堪へないと同時に、日本としては彼等の來朝に依つて實に大なる收獲を得た事を心から感謝しなければならぬ。

▼…現在にあつては斯く大なる相異ある彼等に對して近き將來に於て彼等のレベル否彼等を征服せんとする大なる希望を有する日本としては、今後如何にすべきかと云ふことは實に大なる課題である。此のことに對する卑見並に今回參加せんとするオリムピック大會に對する日本アイスホッケーのことなど聊か述べて見たいが他日に讓ることゝする。（をはり）

本社特選　高段棋戰【其六】

平手　先　六段　飯塚勘一郎
　　　　　六段　平野信助

【圖は四四同銀迄の局面】

△三五銀　▲四三歩
△同　步　▲六五步
△四六銀　▲四八角成
　　　　　▲八六步
（飯塚氏持駒　步）
△同　角　▲六六步
△五七金　累計六十九手

講評　土居八段

△飯塚君は敵の六五步に對し、この局面では角換へをしては四八角打が嚴しいので、譜の如く六五同步と穩かに指して敵角を侵入させたは已むを得ない。

▲平野君の八六步突き捨ての目的は、敵若し同步なら八五步打の繼步の手段を用ひ、桂活用の意味であつて、要するに六筋と連絡を保つての好い攻め筋である。

觀戰記　七段　萩原淳

◇平野氏の善戰

平野氏は六五步と、いよ〳〵攻擊に移る。

飯塚氏の同步は、四五桂の攻擊も大した効果がない（前局四四步の突きは、六五步の輕視の現出）そこで、敵に六六步と取られて、同金（同角では同角、同金、四八角で面白くない）六五步、六七金四八角成で、六五步と打たれるだけ惡い。そこで、六五同步と取つたのであると思ふ。

斯くして平野氏は、四八角と成つて、しかも八二飛の活躍を聯想して、次に八六步の輕手となつて現出したのである。

飯塚氏の八六同角は、同步では八五步と打たれて一層面白くない

平野氏は八、六兩筋からの攻擊が効を奏して、次に六六步の一擊となつて、ために飯塚氏の陣容は頽みに亂れたやうである。しかし平野氏も二二銀の形で自玉も薄いから、樂觀するには未だしの局面と見るべきであらう。

日本棋院　大手合戰譜（卅八局）

互先　初段　五十川正雄
先番　初段　松浦勝治

制限時間各六時間（但し一分以内は切捨）

いろはにほへとちりぬるをわかよたれそつ

―【8】―

●一二一と十三　○一二二…
●一二五と十四　○一二四へ十五
●一二九へ十七　○一二八ほ十五
●一三三り十七（5分）　○一三二と十七（8分）
●一三七ろ　五（1分）　○一三六い　八
●一四一ほ十一　○一四〇に十二（2分）
●一四五ろ　十（6分）　○一四四へ　十（5分）
●一四九い　九　○一四八い　十（4分）
●一四七り十三　○一四六ち十五　○一五〇り十五

所要時間累計白一時二十一分黑二時四十五分

對局者の言葉

（白）黑百二十一、百二十三などの手段では覗くない積りでしたが―

（黑）百二十九とツイで白百三十と出させて戰ふのは、無理なのですが、騎虎の勢ひとして已むを得ません

（白）その爲百二十九、百三十一と大きく取りかけに來られたのには驚きました

（黑）百三十三も眼を取るためには仕方がありません

（白）百三十四あたりで（に十七）に切りを入れて樣子を見る手順でした

（白）百三十六以下百四十八の劫まで必至の勢ひですが、とにかくこんな石を劫にしてしまつたのは不覺といふより外はありません

（白）百四十六は劫材に使用するものかも知れませんが―

（黑）百四十七で（ぬ十三）は白（ち十六）黑（ち十七）白（ぬ十五）とツケコさせる筋が殘つて厭です

戰の跡

◇百二十一、百二十三と愈々爪牙を露はし、取らずんば已まずの堅き決意の程は窺はれるが、その強行は否定出來ないる、譜のやうにツイで白百三十が斷點があつて白の活は容易である。

◇黑百二十九で百三十に押へたい進出を許し、百三十一、百三十三の非常手段に訴へて此の大石を屠り盡さんとする◇白百卅四で（に十七）に切りを入れるのだつたといふ對局者のことばは味ふべきである、此の遣りの有無が後の攻合ひに及ぼした影響は小さくない◇黑百四十九の劫にまで漕ぎつけたのは成功といへやう、かくて勝敗はこの劫爭にかゝる事になつて來たが、白樂觀にすぎた爲と黑必死の肉薄が報はれたものと見られる

ラヂオ　十四日

新京百キロ（MTCY五六〇KC）（午後六時―同十時迄）

六・〇〇（東京）ニュース
六・二〇　政府公報（滿語）
六・三〇（哈爾濱）國民慶祝大會講座（第三講）「日滿兩國之共存共榮」滿洲國協和會理準揚貫三、通譯哈爾濱協和會事務長赤嶺義臣
七・〇〇（大阪）義太夫「眞如（駿河大宮の段）文樂座（淨瑠璃）豐竹つばめ太夫（三味線）鶴澤猿糸
七・四五（東京）落語「富久」談洲樓燕枝
八・〇五（東京）常磐津「恩愛瞞守」淨瑠璃常磐津松尾太夫、三味線常磐津文字兵衛外
八・三〇　時報、ニュース、氣象通報、番組豫告

◆佛蘭西至米國際放送◆

八・五〇（東京）解說及國內放送
九・〇〇（パリ）第一部獨唱（一）愛の言葉を（二）お、可愛いゝ（三）差向ひ（四）新しい言葉＝リユシエンヌ・ボアイエ▲第二部管絃樂（一）「アルルの女」前奏曲（二）牧神の午後への前奏曲（三）「ペレアスとメリサンド」のシシリー風舞曲（四）交響詩「死の舞踏」コロンヌ管絃樂團、指揮ポオル・パレー
九・三〇（東京）國內アナウンス
九・三五（奉天）戲調「六月雪」奉天小友俱樂部員
一〇・〇〇（哈爾濱）北滿の時間（滿語）一、脫出者の談＝ウスチーノフ少年二、詩の朗讀三、ニュース

大連（JQAK　六五〇KC）

午前の部

六・〇〇（新京）ラヂオ體操（滿語）
六・一五　ラヂオ體操、入港船のお知らせ
六・三〇　中等滿洲語講座「テキスト第四十課」滿鐵總務課秩父固太郎
七・〇〇（奉天）中等日語講座奉天南滿中學堂　近藤壽助
七・二〇　氣象通報
七・二三　朝の音樂（レコード）
一〇・〇〇　料理獻立

午後の部

一二・〇〇　時報
〇・〇一　經濟市況、ニュース、レコード
一・〇〇（奉天）滿洲戲劇（清唱）「武家坡」唱（老生）楊寶秋（青衣）韋艷芳、胡琴韋傑山
一・二〇（新京）ニュース（滿語）
三・〇〇　ニュース
五・〇〇（奉天）子供の時間　童話「太郎ちやんも五市君も日本人です」奉天平安尋常小學校倉橋一郎
六・〇〇　ニュース、告知事項、職業紹介事項
六・三〇（東京）講演（一）遞信大臣床次竹二郎（二）題未定「放送開始十周年並に聽取加入二百萬突破を記念して」日本放送協會會長　岩原謙三
七・〇〇―九・三五迄新京百キロと同じ

奉天（MTBY　八九〇KC）

午後の部

三・〇〇　ニュース、職業紹介事項
三・二〇（東京）夏場所大相撲五日目實況（第二放送に依る）兩國々技館より中繼
五・〇〇（名古屋）物語「鳥居強右衛門」（テキスト三六ページ）中村道太郎
五・二〇（東京）コドモの新聞　村岡花子
五・二五（大阪）青年の時間「南極捕鯨より歸りて」アンタークチック船長　小林省三
六・〇〇　ニュース、天氣豫報
六・三〇　講演「氣候と人生」城大敎授醫學博士　水島治夫
七・〇〇（大阪）義太夫
七・四五　ピアノ獨奏（一）ソナタ…第一樂章アレグロ・アンダンテ、第二樂章アンダンテ・コンモート、第三樂章アレグロ・マ・ノン・トロッポ（二）二つの練習曲…ショパン作曲＝竹井春子
八・一〇　長唄「雨乞其角」（唄）杵屋美乃志、杵屋佐奥志（三味線）杵屋佐多枝、杵屋佐代枝
八・三〇―九・三五迄新京百キロと同じ

七・四五　箏曲（一）櫻川（箏高音）小松雅蓉（低音）小林政之都（三絃）中島雅樂之都、瀧谷雅樂代（尺八）小野滌山、江幡喝峰（二）千鳥の曲（箏本手）中島雅樂之都（尺八）小野滌山
八・一〇　チエロ獨奏（1）アンダンテ（2）セレナーデ・エスパニヨール（3）G線上のアリア（4）ロンド（5）母の歌へ給ひし歌（6）スケルツオ＝高勇吉

▼…右のほか晝夜間とも定時放送を除き新京百キロ並に大連と同じ

新京　定時放送を除き晝夜間とも新京百キロ並に奉天と同じ

京城（JODK　九〇〇KC）

午前の部

五・〇〇（東京）ラヂオ體操
五・三〇（東京）基礎獨語講座（十六）武內大造
六・〇一（東京）朝の修養「法然上人法語鈔」（終）一枚起請文＝文學博士　矢吹慶輝
九・〇〇　氣象通報
一一・〇〇　時報、今日のプログラム發表
一一・〇五　浪花節「公用織立道中かゞみ」東瀬菊一文字
一一・四〇　ニュース

午後の部

一・〇〇　婦人講座「產前產後の注意」（二）醫學博士　武田正房

滿日敗退聯珠（卅局の四）

先番　四段　大橋秋峰
後手　六段　奥村隆次
（奥村氏三人勝四人目）

對局者の感想

大橋四段曰く「十五は作戰で打つて見たのですが矢ッ張りいけませんでした。これはどうしても（甲）を叩いてあくまでも力戰に出るより仕方のない所でした人見て法殺けとはよく云つたものです」

奥村六段曰く「十九殊は（乙）に來られることゝ思つておりました。そして白二十を二十に黑二十一を十九の後、白廿二は（丙）に呼珠する積りでおりましたのは、單に十九に打たれて一寸面喰ひました」

講評　鹿南　水人

白に十六殊と打たれては以下はどうしても後手勝になる形ちだ。黑十七、白十八の交換の後十九と糊塗しても白に二十と突き出す巧い手があつては最早や餘程の失着のない限り黑に勝利は望めまい。黑二十一と叩いたのは止むを得ない隣だが、白の二十二は流石に奥村君らしい大局線を示してゐる。

家庭

鋭い子供達の感受性
日常生活中に轉がつてゐる
教育上の重大な問題

「僕のお父さんはかういつたんだぞ」といつた調子で子供にとつてその父親は世界一に偉い人だし英雄である場合が多いのですが、かうした子供の心に對して父親はどんな態度を執るべきか、母親は、どんな役割を持つてゐるか、また子供にとつて同じく尊嚴を持つた學校の先生の言葉と家でお父さんの言ふことが矛盾することはないか、日常茶飯の生活の中に子供の教育上重大な問題が澤山ころがつてゐます。子供の感受性は大きな花のやうに一杯に開いて兩親のどんな小さな動作言葉にも注意と觀察の眼を向けてゐます。これに就いて視學であり童話の小父さんである石森延男氏のお話し。

まづ母親第一主義
巧みに誘導すること

父親が子供達と話をするのは夕飯の食卓に就いた時ですがこの時父親の方で自分の生活や世間にあつたことを、とやかくと話をするより子供の方から話を引き出して巧に誘導するやうにしたいものです。然し實際には宴會などの多い父親はさうした機會も少いので子供のいろ〳〵な意味での常識を作つて行くのはどうしても母親です。母親のさうした問題に對する注意こそ重要でせう。

ゲーテの母親はゲーテ自身の回想によると眠る前に出鱈目な話ばかりして聞かせたさうですが、それがみな天文の話だつた。ゲーテはよく判らないので嫌に踊り、青筋を立てて聞いてゐたが、後成長してからも天文の事には大へん興味を持ち、さうした母親の話から大きな想像力を養成されたといつてゐます。母親といふものは多く父親より教養が少いので子供に嘘を教へたりすることもありますが、これを聞いて父親が訂正すべきものか、どうか、私は母親のいつたことをその場で直したりしない方がよいと思ひます。子供の前ではあくまで母親に花を持たせておくのが本當でせう。

母親の叱つた事を父親が褒めたりするのも感心しません、子供には先づ母親第一です。父母の間の意見の相違は家庭の尊嚴に對する觀念を動搖させるものですロイドがまだ有名でない町醫者をしてゐた頃、一人の少女が突然啞になつたといつて連れて來られ、どうしてもその原因が分らなかつたが、よく調べて見るとその子が小さい時、母親の背中に蛇が這つ

てゐるのを見て卒倒したことがある、その恐怖が後まで潜在してかうした病氣を起す誘因になつたと見てゐますが、とにかく子供は幼稚園に出る頃など殊に感受性が鋭敏で、その當時受けた恐怖とか歡喜とか驚きとかはその子の一生を支配するものです。

智慧の輪

▲仙臺平……初め精巧平と稱へましたが、仙臺が本場なので、この名稱に變つたのです、昔は彌右衛門とも稱へましたが、それは伊達正宗の御用を承はつてゐた京都の吳服商岩井八兵衛が、同地西陣の織工小松彌右衛門に命じて織らせたので、この名稱が起つたと傳へられてゐます

仕立てる前
湯通し、ませう
洗濯しても狂はない

いよ〳〵セルの時候です。どちらの家庭でもお仕立にかかることでせうが、セルは仕立てる前に一度湯通しをして置かねばなりません考へてゐられる家庭ではもう實行されてゐませうが、お氣附のない方へご注意までに。セルを湯通ししないで仕立てますと、後に洗濯をした時狂ひが來てどうにもならない場合が起ります

上質のものならそれ程狂ひませんが、それでも身巾や丈がつまつてお困りの經驗がございませう、湯通しをすれば地質も柔かくなり汚點なども落ち易くなつてよいものです。これはわざ〳〵湯のしに出さないでも家庭で極く簡單に出來ることです。霧噴きで充分に水を吹き、アイロンで丁寧にのばせるだけのばして置くだけでも結構ですが、少し手間をかけるとすれば次のやうに致します。先づ布が充分浸せる位の容器に微温湯を入れ、一反につき約小盃一杯の醋酸を混ぜ布を浸します。十分ばかりそのまま置きますが、布の中で液から顏を出してゐる所などがあるとあとでムラになりますから、よく手で押へた上、輕い板などをのせて置きます

引上げたら同じく微温湯で二、三回よくすすぎ最後の水はグリスリンを四五滴たらして、その中でふり出し、絞らないで竿に乾かします。いくらか濕りのある中に取込んで熱目のアイロンで仕上げますが、アイロンは縱にかけないで横に巾通りにかけます。毛織物はアイロンがぬるいと利かず、熱いと焦げますから白金巾を當ておかけになることをお忘れにならないやう。

サロン
臭いお話
申譯がない

大連市民の日々の生活廢滓は市衛生課で始末して下さいますが、屎尿の方はまだよいとして屎尿「切は全く申譯ないと恐縮してゐると案外、この仕事にも面白い半面があるらしい。話の品が大分落ちるが洩れ承はる所によると、屎尿といつても、そこから出て來るものは、もとより屎尿ばかりではない、紙、綿、布、財布などとイロ〳〵なものが入つてゐますが、その混入物が町の區劃と階級によつて違つて來る。裏から見た市民生活といふイタイ所を握つてゐるのが、この仕事、中でもゴムの袋など、どの邊が一番多いかと申せば、山手のN街ですなどと、あゝうつかり物は訊けません。

お手の美容法
かうする事

手はその人の性格を現し、年齢を現すといはれます。顏の美容には氣をつけても、手脚を忘れてゐる人が案外多いものです。手の美容は常識として持つてゐなければなりません。ご注意までに申上げれば

▲手を洗つたら化粧水をすりこみながら乾かしていくこと（クリームはベト〳〵します）

▲爪は鋏で切るとヒビが入るから爪ヤスリで形を整へること

▲小指の爪は絶對に伸さないこと（非衛生だし陳腐です）

▲爪には爪紅又は薄色のエナメルを塗り、赤いエナメルは特殊な職業の人以外は絶對に用ひないこと

▲エナメルはエナメルで落し後をアルコールで拭ふ、剝げた上に再び塗らないこと

▲マッサージは決して往復に行はないで心臓に近い方へ向つて輕くマッサージすること

▲入浴の際皮の柔くなつた時を利用してあま皮を爪で搔き寄せておくこと

▲就寢前に手を洗ひ、化粧水をすりこんでおくこと

釣天狗秘帖（一）

こんな時には
まだ待つてる前兆
大物である點に興味がある

太刀魚釣りの〝コツ〟

◆語る人◆
南滿工專教授
林　明先生
鷲尾弘圓先生

アカシヤの花の咲く頃と共に釣り天狗待望のシーズンが訪れて參りました、そこで市内におけるその道の大家を訪問して魚釣りの秘訣を訊いてみることにいたしました、勿論、釣りは魚の習性により、それ〳〵に適つた〝コツ〟があるものです、まづ第一に太刀魚について……その〝コツ〟を訊ねてみることにしませう。

工專の先生方には釣りの好きな方が澤山おいでです。〝先生と魚釣り〟は漱石の〝坊ちやん〟頃から相應しいものなのでせうか。食堂にお晝の時間を襲撃して、まづ太刀魚の話を受持つて頂きます。

太刀魚はアカシヤの花の咲くと共に釣れ始め、十月まで。但し眞夏は餘り食ひません。日出、日没の二回、太陽と海との別離の頃、三十分から一時間までの間と定つたもので、眞暗になつて了ふと、もう駄目です。眞晝間も全然ダメです。場所は露西亞町防波堤外、老虎灘、傅家庄、黒石礁の沖合、傅家庄なら岸と島との中間の邊り（小魚を食ひに出るのですから、さうした場所を狙ひます）を糸が三十度に傾斜する程度で舟を流します。

◇

糸は麻糸、七番ぐらゐ、先は針金につけた長い鈎で、どういふ餌または太刀魚の尻尾、はぜなどでも構ひません。せいぜい二匹か三匹持つて行けば結構です。餌を刺したら細い針金でしばりつけ、尾を割つて眞直ぐに伸ばして投じ糸を持つ手は絶えず前後にひいてゐます。上手も下手もありません不意に岩にかゝつたやうな感觸があつて、これをたぐると大きいのは一米位のが上つて來ます。水ぎはで首を掴まへ、引上げて二、三度舟端へ頭をぶつければノビてしまひます。太刀の齒は鋭いものですから、この時指をやられぬ注意が必要です。

この魚は共喰ひをする魚ですから一尾上げて尻尾が喰はれたりしてゐると、まだ大分待つてゐる前兆です。どうかは滅多に食はれてしまふ事はありません。食つた當にひつかゝるといふより針の邊まで來てゐる時、絶えずゆるめたり引いたりしてゐるので、外からひつかける場合が多いので、顎や、頤など所嫌はずかゝつて來るものです。一時間位の間に大漁のときは三十尾ぐらゐで、さうなると持つて歸るのが大へんです。僅かの時間の間の釣りですから特に日曜でなくとも行けるところがよく、大物である點に興はありますが、釣りとしては面白いといふ方ではなく「玄人は仕方がないから太刀でも」といふ所です。

◇

持つて歸つても、この魚は餘り美味しくはないので近所へ貰つて頂くやうなもの、刺身にするのが一番よく、焼いてもよいやうです（寫眞は太刀魚釣りの仕掛け、長い鉛から先は針金です。針の長さは約二寸）＝カット（上）鷲尾先生（下）林先生

◆甘い良藥……お腹工合が惡くて下痢をするやうな場合には二寸角ぐらゐの分量の餅二切れを土鍋に入れ白砂糖を大匙に山盛一杯程加へ、お湯をひたひたに入れ是を弱い火にかけて氣永にごとごと煮てゐるとお餅の形がくづれて軟かくなります。それを茶碗に盛つて温かいうちに頂きます。不思議に下痢がとまります。

滿洲國
國語制定の緊急（六）
啊　慶　徒

中國では讀書統一の必要からも民國に入りてより「注音字母」といふ簡易表音文字が作成せられ、一時は相當の努力で其盛行が計られたが、本來この「注音字母」は其編成極めて疎漏杜撰、到底實用に適せざるものであつて、今日に在つては殆ど死滅の運命に在る。今日尚之が教授に熱心なるかに見ゆるは、却て東京外國語學校教授及び滿鐵支那語先生の一部を中心とする日本人に留まるが如き、頗る滑稽なる狀態に在る。滿洲國における國語教育に際して其發音記法としては、宜しく歐洲一般に用ひらるる（近年トルコ國も大英斷により採用實施したる）ローマ字を應用して一段の工夫を加ふれば能く其目的に副ふであらうし、ローマ字は音の分解に適切なる音標文字であり、且つ其世界に實用さるゝこと廣きが爲め、新に之を採用するとして其習得にも、印刷等にも甚だ便利簡易である。筆者は滿洲國語記音法としてローマ字の應用が採用さるべきことを主張し且つ必然に其期の到來することを信ずる者である。

漢字ローマ字記法が適切に工夫實用せられたとすれば、僅に三十字未滿のアルハベットの記法讀法に習熟せば其後は之を以て未習の漢字をも自習すること容易なるは、日本の小學生が「ふりがな」によりて新聞雜誌を讀み、漸次に漢字の讀法を自習するの現狀に徵するも瞭らかなる事であるし、發音の統一も之によりて期せられ、教師の教授も頗る容易となる。既に漢語の如く今日外國人の支那語學習に當りてはトーマス・ウエード（威妥瑪）式を基本とするローマ字記法が廣く用ひられ居れども（日本に於ても然り――例へば未だに「注音字母」の採用に熱心なる人々の編纂に係る辭書類すら、ローマ字記法を主として用ひ居れり）國語教育の實際に當りては四聲表示の工夫を加へ（注音字母には其工夫無し）更に一層の簡易化を評るべきであると思ふ。（つゞく）

海外文學の〝新動向〟展望
（三）ロシア　外村史郎氏

作家大會前後のソ聯文學情勢

ソウエート文學の新方針を決定した昨夏の作家大會は世界文學と違つた新文學を世界に報告した意味で歷史的意義があります、この大會の二年前、三二年四月にソウエート作家同盟中央委員會でラップ（ロシア・プロレタリア作家聯盟）解消の決議がされてゐます、三〇、三一年には第一次五ケ年計畫は完成を告げ、資本主義的要素の淸算、富農の撲滅など階級鬪爭の形態も變化し、五ケ年計畫の成功と世界資本主義經濟の恐慌といふ對照的事實を認めた技術インテリ學校教師などは新情勢に順應し、大衆的に轉向し、農民も農業の集團化、社會化により小所有者的氣持は次第に淸算され、プロレタリアに接近し、ソウエート政權の支持に傾いて來、それに物資の豐富と共に、文化方面も發展し、無學文盲もなくなり、文學運動は大衆の間に入り、工場、農村（集團農場、國營農場）トラクター・ステーションには文學細胞、演劇細胞が生れて來ました。

ラップの誤謬克服

中心的なラップは復興期、建設期における戰鬪的なブルジョア、小ブルジョアに向つてイデオロギー的鬪爭を進め、同伴者を自分の側にひきいれ、黨の方針を反映したのですが、ラップには組織上、理論上缺陷があり、新情勢に應じきれなくなつたので、一九三二年四月の決議に基づいてラップを始め、その他の文學團體を解散し、高度の情勢に應じ得る新しい單一のソウエート作家同盟を組織するに至つたのです、十一月の組織委員會第一回總會數ケ月前スターリンがゴリキーを訪問し、作家代表の集まつた席上で、社會主義的リアリズムを創作スローガンとすべき意見を述べ、ラップの唯物辯證法的創作方法のスローガンの誤謬を指摘した、また組織委員會でもグロンスキーなどは社會主義的リアリズムの正しいことを強調してゐます、アウエルバッハ、エルミーロフ、キルシヨン等々の舊ラップ正統派がキルポーチン、グロンスキー及びその他のラップ反對の批評家及び作家から痛烈に批判され、リベヂンスキー、ファヂエーエフ、チュマンドリン等は勇敢に自己批判をしました、ラップによると世界觀と方法とは同一視されプロレタリア世界觀を我がものにしてゐないものはプロレタリアに益する文學を生まないといつたのは非プロレタリア文學との鬪爭スローガンとしては一面の眞理を含むものではあつたが、このセクト的な政治主義は唯物辯證法の通俗化であつて、こゝに批判さるべきものがあつたのです。

社會主義的リアリズム

社會主義的リアリズムは辯證法的唯物論のイデオロギーの特殊領域として文學への正しい適用ですソヴエートの新しい現實の生んだ新しい人間を描くには新しい創作方法によるべきであり、この新しい資本主義から解放された社會主義的人間の感情、思想、空想を完全に描き得る方法が社會主義的リアリズムなのです、さらに三四年二月第二回組織委員會總會ではドラマツルギーの任務が論じられ、その深い具體的な解釋がソヴエートのドラマに適應され、典形的な諸事情における典形的な諸性格の描寫を目指す所謂社會主義ドラマの創造の問題にまで立ち入つて論ぜられてゐます。

浪漫主義の問題

リアリズムとロマンテイシズムの問題ではラップはこの二つを截然と區別し、プロレタリア文學はリアリズムであるべきだといふ主張に對し社會主義的リアリズムはロマンテイシズムとリアリズムとを機械的に切離さず、この二つのもの、綜合的スタイルである點に過去の文學との大きな發展的差異を見出してゐるのです、レーニンもよきソシアリストは、よき空想家でなければならぬ、しかし、その空想は科學的に實現され得る空想であるといつてゐます。この赤色ロマンテイシズムの問題は批評の方面では、もう解決ずみで、たゞ、それが具體的作品に如何實に現されるかゞ問題になつてゐるのです（續く）＝寫眞はスターリン＝

あふれこ
困つた人種だ

江戸時代から殘つてゐる講釋や落語で寄席なんかでも聞けなくなつてゐるもの――いはゞ講釋師や落語家の發聲禁止もの――を講談師や落語家を自宅に招いて聞かう、と思ひついたのが大衆文壇の鬼才牧逸馬氏……去年十一月竣工したばかりの鎌倉の豪壯な邸宅これは工事にかゝる前に設計圖を一見に及んだ鎌倉町會議員久米正雄氏「牧逸馬は支那料理屋でもはじめる氣かも知れん」と聲歎せしめた程だからそれがどんなに豪壯な邸宅だか想像出來るであらう――で、その第一回試聽會を催した、ところが、こんな耳寄な會だのに、招待狀を出した三十幾名のうち集まるもの僅かに五名、牧逸馬夫妻クサルまいことか「日本人なんて實にどうもしやうのない人種だ」＝寫眞は牧逸馬夫妻

ブック・レヴユウ

滿洲國通貨問題の研究並に資料（滿洲經濟研究會）大連にかける銀問題の泰斗たる古田熊三郎、西一雄、常深隆二南鄕龍音、龜本莊一、岡島富丸諸氏の日滿通貨問題、鈔票制度、錢鈔取引所、特産と金融、金圓本位化論に對する論策を集めたもので滿洲國通貨問題の歸趨について世論囂々たる際だけに現地のエックスパートの意見として一讀に値する（大連愛宕町その會、實費五〇錢）

▲世界と我等（五月號）東京丸ノ内日本國際協會、一〇錢
▲作文（十二輯）大連滿鐵東
館青木方、二〇錢
▲核心（五月號）東京小石川水道端直心道場内其社、三〇錢
▲大タイムス（五月號）東京澁谷千駄ケ谷四大小タイムス出版所、二五錢

宣撫工作と共に空陸協力の大攻撃

赤木、光岡兩隊が行動開始

三常樂の匪團を撃つ

【錦州特電十三日發】錦州省朝陽縣並に熱河省凌南縣境山嶽地帶における匪賊討伐中の松井〇隊主力は、その後附近村落を虱潰しに捜査すると共に極力宣撫工作中であるが一部赤木〇隊は山海關東北方八十キロ要路溝附近に三常樂の率ゆる約三百名の匪賊が出現したとの情報を得たので直に行動を開始し要路溝西方二十四キロの山中に追込み光岡〇〇〇隊の應援を得て十三日早朝より空陸協力の攻勢を開始した、目下盛んに戰鬪中

無期懲役

チチハル强盗殺人犯人

使込みの發覺を懼れ昨年四月七日深更チチハル永安街六三山田商會出張所主任西眞男氏を慘殺した上兇行一切を馬賊の所爲の如く見せかけるため、自分で自分の頭を傷つけて警官の眼を晦まさんとした同商會員新潟縣生れ地濃英二郎（二九）にかゝる强盗殺人被告事件は十三日午前十時から關東地方法院中里裁判長係開廷、前公判において立會池內檢察官から死刑の求刑があつたのに對し裁判長は無期懲役の判決言渡し被告は感激に滿ちて退廷した

人質日本人の慘殺死體發見

＝四十四、五歲の二等乘客＝

哈爾巴嶺の山中で

【新京電話】哈爾巴嶺における列車顛覆事件に際し人質として拉致された日滿鮮人に對しては我が軍隊が極力これが奪回並に共匪の討伐に目下急追の形で哈爾巴嶺の山奧にある松井〇隊より十三日哈爾巴嶺驛長への入電によれば哈爾巴嶺山奧において去る十日 拉致 された日本人の慘殺死體一個を發見した、この男は推定年齡四十四、五歲の二等客で純毛ラクダのシャツ及びズボン下を着し身長五尺四寸位で頭髮は左分けにして白髮をまじへ眼は二重瞼で鼻高く死後數日を經過して居り追擊軍の士氣頗る昂り目下急追中である、なほ死體は鄭重なる土葬に附し所持品は隊に保存してゐると

移動警備隊

間斷なく出動

新京鐵路局の努力

【新京電話】京圖線における反滿分子の策動はソ聯側が新手の反滿工作に觸手し其の實際的方法として「革命軍」を組織し、同沿線の襲擊を指令したものと云はれ、更に最近に至つてまた〳〵同線襲擊の報が頻々と傳へられるので、滿洲國官憲では十分の監視をなすと共に新京鐵路局では新に有力なる移動警備部隊を組織し、不定期的に間斷なく警戒に當らしむることゝなつた

汚れた大連の壯麗化を急ぐ

竹下州廳長官が視察の結果

官民合同で對策協議

曾てはその綺麗さに於て內地人は勿論外人をさへ感歎させた國際都市大連は今は汚いこと第一番の折紙が附けられるに至り心ある人々をして寒心せしめてゐたが、竹下州廳長官は去る十一日の土曜清水土木課長、石橋保安、衞生課長を帶同親く汚い大連の姿を隈なく視察したところ、塵埃箱は一杯に溢れて路上にはみ出し

荷車 は折重なつて交通を妨げ鋪道を倉庫と心得るものや、不潔な塵埃が積上げられ馬糞は點々黃金の花を道路一杯に咲かせ一陣の風にこれ等の塵埃は四方に飛散するといふ異常の汚らしさに長官もすつかり呆れ返つてしまひ歸廳と同時に清水、石橋兩課長に命じて至急大連市內の淸淨化について具體案を作るべく督勵する所あつたが兩課長においてもこの點を

痛感 すること久しく長官の督勵にあつて愈〻具體案の作成に着手することになつた、大連市の清掃については警察當局や土木課、民政署、市役所等と實行方法について打合せを行ふ必要あり近く各關係者の協議會が催される、その結果實行案を練つた上で今度は大連市民の協力を求めるため各區長町內會とも諮り官民一致を以て汚れた大連を元の美しさ淸さに

引戻 すことゝなつた、右について竹下長官は語る

全く恐れ入つてしまひました、全力を擧げて大連を清潔にする必要があります、大連には驚く程多くの結核病患者が居るといふのはあの狀態では無理はない實に寒心すべきことです、大連の清掃は私に取つても重大な任務です、斷乎として行ふ積りです、しかし官廳だけでは到底行はれませんから市民諸君の御協力を是非ともお願ひしなければなりません、中には倉庫代りに道路を使用して居る人がゐますが、それ等の人々には少し犧牲を覺悟して貰はなければならぬかも知れません、一日も忽せに出來ないことです、民衆衞生の上からも國際都市の大連から云つても官民一致徹底的にやりたいと思つてゐます

と非常な意氣込であつた

傳統二百年

『靑年宿』の漁船

海洋上でスパルタ式敎育

大戎、小戎大連へ

連綿と續く傳統二百年漁民の道場として萩が誇る「靑年宿」の漁船大戎丸、小戎丸の二隻が珍しくも十三日早朝、靑葉に薫る五月の海風を切つて颯爽と大連港に入港した、山口縣萩市の西隣玉江浦の靑年宿とは靑年漁民のスパルタ式敎育道場で有名であり、飮酒、喫煙は勿論

妻帶 も許されず、漁業日本の名に恥ぢず海に生れて海に育つ彼等は獨特のはへ繩漁法によつて遠く北は樺太沿海州沿岸、南は臺灣沖まで乘出してその水揚げ高は年產百萬圓を下らぬといふ仲よく二隻が二十一區に繫留された上には赤銅色に日燒けした靑年漁民が薪水の補給に立働いてゐる樣は全く初夏に相應しい若鮎のやうな

潑剌 たる生氣を與へ初夏の暖氣を一杯に撒いて、薪水の補給が終るや午前九時半一休みする間もなく再び下關に向つて出港した

原篠機關士の遺骸と判明

十三日、鄭重に葬る

【安東電話】十一日大孤山領事館警察分署へ屆けられた「首無し死體」は過般の遭難旅客機の機關士原篠喜久郎氏の遺骸であることが確定した、同遺骸は此日、大孤山南方大邪里、揚家臺村の入江に打ち揚げられたもので、飛行服の內側に「原篠」と記されてあつたので判明するに至つた、原篠氏は機體と共に叩きつけられた際、頭部を分離して波間に漂つてゐたものらしく航空會社では、十三日午前中に遺骸を引取り最も鄭重に葬つた、淸水飛行士の遺骸は未だ不明である

日本庭園研究團

【橫濱十三日發國通】米國庭園俱樂部員二十名の一行は、日本庭園研究と日本觀光を兼ねて十三日秩父丸で來朝した、

出動の消防自動車

眞逆樣に顚覆大破

地方法院前で圓タクと側面衝突

重輕傷者數名を出す

十三日午前十時五十五分ごろ大連消防署小崗子出張所の消防自動車が（消防曹長因藤喜七、班長磯部惠作、消防手補級長隅學毅、消防手補龍連枝、于治福の五名同乘し消防手峰義男（二七）が運轉）譚家屯大佛山の山火事に出動すべくサイレンの音勇ましく逢萊町一番地關東地方法院前を

疾走 電車道路に出た刹那星ヶ浦から四人の乘客を乘せて大連方面に向ひ驀進して來た吉野町九六番地大正自動車「大一五六九」＝運轉手靑井力雄（二二）＝乘客西公園町二〇一測量建築設計監督清水潔（三九）惠比須町七三古賀弘人（四三）長生街一七七番地濱崎鹿造（四三）惠比須町七三、川井彬博（三九）＝がアツといふ間に側面衝突し消防自動車ははづみを食つて眞逆樣に顚覆大破し圓タクは車の前部側面を滅茶々々に破壞した、負傷者は直に赤十字病院に

擔込 み手當中であるが消防自動車に乘組中の隅學毅は頭部打撲重傷を負ひその他の人々は輕傷圓タクの乘客中濱崎氏は胸部を强壓されて重態であり、川井氏は肋骨骨折してこれも重傷である尙消防自動車の損害は約七百圓の見込である

磐城町の火事

三戸を燒いて鎭火

十三日午前三時五分市內磐城町六十三番地大連縫紉貿易洋服部河野小七郎方階下一室より發火、折柄通りかゝつた市內春日町五十四番地自動車運轉手熊藤幸藏君が發見消防署及び西廣場派出所に急報され、大連、沙河口、明治町等各消防署員が消火に努めた結果、火元並に隣料理店さゞなみ事小石ユリ方及び右隣菓子製造業金華堂こと石渡政次郎方を燒いて午前三時五十分鎭火した

損害は總計二萬四千圓で、河野方約一萬圓小石方八百圓、石渡政次郎方三千圓、建物所有者奥村福次郎三千圓の內譯であるが保險金は河野方では一萬五千圓、小石方では一萬三千圓、建物所有者奥村福次郎氏は一萬五千圓を何れも三井火災保險に契約して居る、なほ同建物は何れも奥村氏所有で一棟になつて居る、原因は目下取調べ中である

三人組强盗

【奉天電話】十二日午後七時半ごろ奉天工業區警察署向陽街分署管內牛店西胡同門牌二號紀春田裏宋義典方にブローニング拳銃所持の三人組滿人强盜押入り國幣一圓札五十枚、現洋三十五圓、金票十圓銀貨銅貨取混ぜ五、六圓、其他當陽警察署用自轉車一臺、衣服一枚を强奪逃走したが未だ逮捕に至らず目下嚴探中

"吳泉"と名乘り

吳清源君歸化

日本人となる願望成就

【東京十三日發國通】棋界の麒麟兒吳清源六段は昭和三年十五歲の時、時の駐支公使芳澤謙吉氏に連れられて、日本に來たものであるが高段者連をころり〳〵と打ち負かし、今では木谷六段と共に棋界の双璧と謳はれてゐる、同君は好きな棋道研究の爲め、日本に骨を埋め度いとの希望から、切に歸化を望み、日本在留五ヶ年、自立自治の生活を營む事、滿二十歲を超えた等々歸化に關する一切の條件が整つたので、先頃歸化の手續を執り、愈々近く正式に日本人になる事になり「吳泉」と名乘ることゝなつた（寫眞は吳淸源君）

映畫となる

靖國神社の女神

川添夫人の事績をロケに

合同映畫一行來滿

滿洲事變の生んだ非常時日本の典型的烈婦關東廳巡査川添忠治郎氏夫人しま子＝當時（二三）＝さんの映畫作製に當りロケーションのため合同映畫社責任者中川紫郎氏に引率されて小川國松（二九）川島奈美子（二五）平野吉美（二五）竹久康久（三二）の一行が十三日入港あめりか丸で來連した、この映畫は關東州廳警務部の原作案に依るもので「靖國神社の女神」と題し全音響版として太秦發聲の配給になるものである一行を代表して中川紫郎氏は語る

映畫は八卷乃至十卷程度のもので、滿洲のロケーションは夫人が來滿上陸の樣子から滿鐵沿線の和やかな風景をうつす位のものです、その他は內地でセットによつて撮影することになつてゐますが、范家屯では全署員の警備狀況を撮します、音響の錄音は大々的に警察官の應援を得て全部にしますが、完成して上映するのはどうしても九月頃になると思ひます

尙一行は市內東鄕旅館に落着き午後旅順に要塞司令部を訪れたが、十四日午前埠頭において川添夫人上陸の樣子をロケーションする筈である（寫眞は小川と川島）

東京夏場所

五日目取組

【東京十三日發國通】東京大相撲五日目取組左の如し

越の海　錦岩　國光　常陽山
楯甲　出羽嶽　磐城　源氏山

中入後

金湊　三熊山　太刀岩　九州山
駒の里　伊達花　大浪　土州山
瓊の浦　和歌島　射水川　錦華山
筑波嶺　大八州　齊藤山　防長山
玉の海　磐石　能代潟　富の山
出羽湊　番神山　綾昇　出羽花
綾川　大邱山　幡瀨川　巴潟
松前山　海光山　双葉山　高登
武藏山　大潮　鏡岩　玉錦
旭川　淸水川　男女川　新海

東京外語十五日會

來る十五日正午吉野町大連亭において例會開催の筈に付多數會員の出席を希望してゐる（會費は八十錢）尙會員の異動、消息等一切はその都度滿日田口（電二一―六三四八）か埠頭車務課寺田（電二一―六〇〇五）迄報告を煩したいと

坐漁莊侵入の怪靑年捕はる

背後關係嚴重訊究

【淸水十三日發國通】十二日午後六時二十分靜岡縣庵原郡興津町所在西園寺公在住の別邸坐漁莊裏手の海岸から石垣を乘越え侵入せんとした怪少年があつたのを警備の警官が發見、大格鬪の末取押へて訊すと本籍愛知縣愛知郡下之一色町太田萬吉（一九）（假名）と云ひ五・一五事件等に刺戟され、若槻男のロンドン會議の失敗を指摘、政界の腐敗墮落は園公にも責任の一半がある旨の血書斬奸狀を所持、順當に會見を申込んだのでは面會出來ぬため庭內に侵入、公に直接面會を强要せんとしたもので、係官は身柄を淸水署に移し、目下背後關係を嚴重追究中

南滿陸上競技

州內爭覇……州內外對抗豫選

十九日大連運動場で

南滿洲陸上競技協會では來る十九日午後一時より大連運動場に於て州內選手權大會兼州內外對抗競技州內豫選會を開催するが今十三日を以て申込みを締切ることになつて居るから參加希望者は至急滿鐵本社地方部庶務課調查係氣付南滿陸協宛申込れたしと

全滿洲官民の同情援助を謝す

日下（臺中州）知事より本社へ來狀

臺灣震災の中心地區たる臺中州の日下知事から本社宛左の要旨の來狀があつた

今般當州下震災に就ては深大なる御心痛と多大の御同情を賜はり且早速御鄭重なる御見舞を給はり感銘に不堪御芳情の段厚く御禮申上候災害の報傳へらるゝや畏くも　天聽に達し特に多額の御內帑を下し賜ひて救恤の資に充てしめ給ひ且侍從を御差遣遊ばされて災害地の實況を視察せしめ罹災民を慰問せしめ給ふ　皇恩の宏大無邊なる　罹災民は素より州下官民一同の眞に恐懼感泣の至りに不堪次第に有之候又中央政府諸官を始め臺灣各地內地各府縣、朝鮮及滿洲各地官民各位より寄せられたる絕大なる御同情と御援助とは均しく感激に不堪ところに有之候當州下の震災は彰化市及大屯、豐原、東勢、大甲、彰化の五郡に亘り就中豐原、東勢、大甲の三郡は被害最も激甚にして全滅に瀕したる部落十五に達し全體の被害狀況は死者一、五四九人、重傷者一、九六三人、輕傷者五、八七九人、罹災者見込總數一四九、五〇〇人に及公共營造物の破壞一三六件、損害見積額五六六、九一三圓、民屋の破壞一四、二三二戶損害見積額家財を併せて九、〇七八、三〇〇圓によるの慘狀を呈したる次第に有之之が救助救護に付ては直に關係職員を總動員し軍隊、各醫院靑年團、保甲壯丁團等の協力を得て治安の維持、死傷者の收容治療、罹災者の收容炊出其他應急救護並秩序の回復に懸命努力遺漏なきを期し候本日（五月五日）に至りては震災地の秩序略整ひ罹災民は漸次家屋及生業の再建復舊に着手致し又傳染病其の他災後の餘殃全く無之狀況に有之候、而して今後の救護及復舊に就ては一視同仁の聖旨を奉體して監督官廳指導の下に管下官民協力內臺人一致して最善の努力を拂ひ以て　皇恩の萬一に酬い奉り併せて各方面の御同情御援助に應へ度期し居候

瀆職暴露

保安科長

【新京電話】建國早々における滿洲國にありてはなほ幾多の醜類の跋扈を見醜る遺憾とされてゐるが國都新京しかもその保安警察の職に在る者が職能を利用して市中地方民と結託建國以來引續き醜關係を續けてゐたところこのほど當地憲兵隊の探知する所となり遂に身柄を拘束目下嚴重取調中であるがその自白によつて更に事件は擴大するものと見られ成行注目されてゐる、卽ち首都警察廳保安科長の要職にある王肇澄氏は豫てより市中馬車組合との間に醜關係を結び每月一定の金額を提供せしめてゐたが、この事實を內偵した憲兵隊では同人を逮捕取調の結果「當然のことだ」とペラ〳〵自白に及びその罪狀を明るみに曝け出すと共にこれに連累した幾多醜事實をも自供するに至つた、この思ひがけない自供により一方檢察院でも徹底的內査の手を下すと共に憲兵隊側でも王科長腹心の部下數名を逮捕取調べると共にこれ等醜類の根絕を期するため嚴重取調べを續行してゐる

天氣豫報
（十四日）
南の風　曇

異人劍法（82）

伊東行男
金子清之介畫

ながれ（その五）

ありとあらゆる力をふりしぼつて、疊の上に倒れたのが、初音の最後の努力だつた。そして、最後の希望だつた。

初音は新九郎のアッといふ聲を聞くと、

（あゝやつぱり想ひはとゞいたか）

と泣き崩れたいほどの喜びにふるへて、なほも全身を耳にした。

（新九郎さまが何と云ふか、今にもこの襖を蹴破つてくれるか）

と、泪に濡れた頰を疊にこすりつけて、息をのんで、初音は新九郎の次の言葉を待つてゐた。

だが、その瞬間に聞えたものは

「なアに何でもございません」

と打消して、笑ひにまぎらす岩太郎の聲であつた。

「いや、誰か倒れたやうな音がしたが……」

「あはゝゝ、また小市でも居睡りをしてゐやアがるんでございませう、だらしなく醉つぱらやアがつて、のんきな野郎だ。おうい小市つ」

襖に向つて、岩太郎が叫んだ。

初音はあふれこぼれてくる口惜し泪を、拭ふ事すら出來ないのである。

「小市つ、先生がおたちになるんだいゝ加減に起きて來ねえかつ」

「いや、それなれば……」

と新九郎も笑つて、

「勘太、參らうか」

いきなり初音は奈落へつき落された感じがした。目の前が眞暗になつてしまつた。

女の身の一人旅に、屈辱を忍び辛酸をなめ、やつと尋ねる人にめぐりあつて、やれ嬉しやと思ふ間もなく、またたちまち東西に別れねばならぬのだ。

同じ屋根の下にあり乍ら、たつた襖一重の障礙で、それとも知らず尋ねる人は、再び行方定めぬ遠い旅に出て行つてしまふのだ。

（此處まで來て、此處まで來て）

と初音はあまりのはがゆさに、縛めの苦痛も忘れて、のたうち廻つて、神を怨み、おのれの運命のつたなさを呪ふのだつた。だが疊に押しつけた初音の耳には、新九郎を送り出す人々の跫音が、入亂れて冷酷なひゞきを傳へてくるのであつた。

身も世もあらぬ悲しみとはこの事か。

（待つて、待つて、新九郎さま…）

いく度となく、疊に軀を打ちつけて、初音は叫んだが、新九郎の跫音は遠のいて行つた。

（あゝ駄目か）

もしやといふ空頼みも煙と消え希望の綱はプッツリと斷たれてしまつた。

そしてそのまゝ、倒れたまゝ、初音は氣が遠くなつて行つたのである。

…………

「雨がやんだと思つたら、いつの間にか、すつかり星空になつてしまやアがつた」

「うむ」

と新九郎も勘太の眼を追つて、港の夜空を仰ぎ見たが、心は何故か重苦しく沈んでゐた。送り出された大浦の家に、不思議に心殘りをおぼえるのだつた。

「あつ、流れ星！」

思はず新九郎は立止つた。空に流れた一閃は、さながら凶兆のやうに、新九郎の胸中に、一抹の不安をしたゝらせた。不安は濡れ紙に墨を一滴落したやうに、にじみひろがつてくるのであつた。

だが新九郎は、うつむいて腕をくみ、默々と勘太について歩き出した。